

- 本大会のイベント企画 -

- ・公開講演：「映画・アニメが進化する - デジタルで変わる映像表現の世界 -」（聴講無料）
篠田 正浩（映画作家），モンキーパンチ（漫画作家），りんたろう（アニメ作家） 司会：金子 満（東京工科大）
- ・招待講演（1）：「The IEEE Computer Society -Implementing the Vision-」 Steve Diamond（IEEE-CS 会長）
- ・招待講演（2）：「大学改革とIT人材の育成」 相磯 秀夫（東京工科大学学長）
- ・特別トラック（1）ユビキタスコンピューティング - 都市と，家庭と，自動車内と -
- ・特別トラック（2）IPv6を基盤としたインターネットの新展開
- ・特別トラック（3）セマンティックWebとWebサービス
- ・特別トラック（4）ウェアラブルコンピューティング
- ・特別トラック（5）マイニングとサーチング - 情報洪水時代における情報発掘と情報検索 -
- ・特別トラック（6）言語バリアフリー技術
- ・特別トラック（7）バーチャル・ヒューマン
- ・特別トラック（8）デジタルコンテンツ制作とIT
- ・特別トラック（9）消費者のためのセキュリティ - 技術開発と普及活動 -
- ・特別トラック（10）e-Japanの進展 - 企業活動や社会生活に変革をもたらす電子政府・電子自治体 -
- ・特別トラック（11）情報技術国際標準化
- ・シンポジウム：情報および情報関連分野のアクレディテーション活動報告 - IS領域の試行審査を中心として -

- 会場別プログラム -

【メイン会場（研究所棟B1F B01）】		
日	時間	内容
25 日 (火)	10:00-10:40	[10:00-10:20] 開会式 / 第64回全国大会優秀賞・奨励賞表彰式 開会の挨拶：鶴保 征城（本学会会長） プログラム委員長挨拶：横井 俊夫（東京工科大） 第64回全国大会優秀賞・奨励賞表彰状授与：鶴保 征城
		[10:20-10:30] 情報処理学会フェロー認証式 表彰状授与：鶴保 征城
		[10:30-10:35] 情報処理学会感謝状贈呈式 表彰状授与：鶴保 征城
		[10:35-10:40] 優秀教育賞 優秀教材賞表彰式 表彰状授与：鶴保 征城
	10:40-11:40	招待講演（1）：The IEEE Computer Society - Implementing the Vision - Steve Diamond（IEEE-CS 会長）
	13:00-14:30	T3 特別トラック（3）基調講演：XML，WEBサービス，セマンティックWEB 溝口 理一郎（阪大）
26 日 (水)	10:30-12:00	T2 特別トラック（2）パネル討論（1）：ブロードバンドとコンテンツ流通 司会：櫻井 智明（キールネットワークス） パネリスト：桑名 栄二（NTT-BB），今井 祐二（富士通研），櫻井 智明（キールネットワークス）
	13:00-15:00 聴講無料	公開講演：映画・アニメが進化する - デジタルで変わる映像表現の世界 - 司会：金子 満（東京工科大） 講演者：篠田 正浩（映画作家），モンキーパンチ（漫画作家），りんたろう（アニメ作家）
27 日 (木)	13:00-14:00	招待講演（2）：大学改革とIT人材の育成 相磯 秀夫（東京工科大学学長）
	14:30-17:30	シンポジウム：情報および情報関連分野のアクレディテーション活動報告 - IS領域の試行審査を中心として - 司会：牛島 和夫（九州産業大 & ISIT） [14:30-14:35] あいさつ 牛島 和夫 [14:35-14:50] 情報および情報関連分野の分野別要件と領域例示（J97，CC2001） 筧捷彦（早大） [14:50-15:05] 情報システム標準カリキュラム 神沼靖子（前橋工科大） [15:05-15:17] 岩手県大学のJABEE審査試行報告（審査長） 神沼靖子（前橋工科大） [15:17-15:29] 同 受けた側の立場から 渡邊慶和（岩手県大） [15:29-15:41] 新潟国際情報大学のJABEE審査試行報告（審査長） 都倉信樹（鳥取環境大） [15:41-15:53] 同 受けた側の立場から 竹並輝之（新潟国際情報大） [15:53-16:05] 採用側の立場から 繁野高仁（KDDI） [16:05-16:20] 2002 ABET 年次大会参加報告 掛下哲朗（佐賀大） [16:20-17:00] 総合討論

【T1A会場（研究所棟4F401）】特別トラック（1）ユビキタスコンピューティング - 都市と、家庭と、自動車内と -

日	時間	内容
25 日 (火)	13:00-13:05	特別トラック（1）開会挨拶 天野 真家（東芝）
	13:05-14:00	基調講演（1）：ユビキタスコンピューティングの目指すもの：将来像と現状 徳田 英幸（慶大）
	14:00-15:00	基調講演（2）：ユビキタスコンピューティングテストベッドの目指すもの 森川 博之（東大）
	15:15-17:15	パネル討論（1）：ユビキタスコンピューティングのインフラストラクチャ及び関連技術の構想と展望 司会：伊藤 日出男（産総研） [15:15-15:35] 無線 LAN のビジネスモデルと Wi-Fi ZONE 小野田 哲也（NTT-ME） [15:35-15:55] マルチホップ無線ネットワークとユビキタス時代のアプリケーション 梅田英和（スカイリーネットワークス） [15:55-16:15] Yahoo! BB の無線 LAN 及びモバイル戦略 中村 圭祐（ソフトバンク BB） [16:15-16:35] 複合型インフラによる YOZAN の新たな無線サービスの展開 長谷 良裕（鷹山） [16:35-17:15] 討論
26 日 (水)	9:30-12:00	チュートリアル（1）：誰でもできる日曜プログラミング（1） - 自分だけのインターネットブラウザを作る - 天野 真家（東芝）
	15:30-17:30	特別講演：情報家電における混合音認識の重要性：聖徳太子コンピュータ 奥乃 博（京大）
27 日 (木)	9:30-12:00	チュートリアル（2）：誰でもできる日曜プログラミング（2） - 自分だけの Java アプレットを作る - 瀬川 淳一（東芝）
	14:30-17:00	パネル討論（2）：ユビキタスコンピューティング：都市と自動車内と 司会：森川 博之（東大） [14:30-14:50] 人間中心の都市生活情報支援とそのインフラ 中島 秀之（産総研） [14:50-15:10] 家から自動車ヘシームレスな情報家電 屋代 智之（千葉工大） [15:10-15:30] HotSpot ローミングとその展望 船橋 哲也（NTT コミュニケーションズ） [15:30-15:50] ユビキタスコンピューティング時代の位置情報取得技術 安田 豊（KDDI） [15:50-16:10] ユビキタスコンピューティング時代のセキュリティ 瀬戸 洋一（日立） [16:10-17:00] 討論

【T2会場（研究所棟4F402）】特別トラック（2）IPv6 を基盤としたインターネットの新展開

日	時間	内容
26 日 (水)	9:30-12:00	チュートリアル（1）：IPv6 技術の概要と現状 江崎 浩（東大）
	15:30-17:30	パネル討論（2）：IPv6 ビジネス展開 司会：江崎 浩（東大） 1. RF タグ & ミューチップ 神牧 秀樹（日立） 2. Building Automation 藤原 憲明（松下電工） 3. センサーネット 矢野 和男（日立） 4. Mobile IP 高木 康志（NTT）
27 日 (木)	9:30-11:00	パネル討論（3）：インターネット電話の現状と今後の展開 司会：砂原 秀樹（奈良先端大） パネリスト：村田 利文（ソフトフロント）、平山 義明（フュージョン・コミュニケーションズ）、 奈須野 裕（日本テレコム）
	11:00-12:00	基調講演：実空間インターネット：日本での役割・世界への責任 村井 純（慶大）
	14:30-16:00	チュートリアル（2）：ピアツーピアアーキテクチャ 斉藤賢爾（慶大）

【T3 A会場（研究棟 A 5F 502）】特別トラック（3）セマンティック Web と Web サービス		
日	時間	内容
25 日 (火)	13:30-15:00	チュートリアル（1）: E-Learning と知識管理 清木 康（慶大）
	15:15-17:15	パネル討論（1）: セマンティック WEB はこう使いたい 司会：津田 宏（富士通研） パネリスト：野村 直之（法政大），杉本 重雄（筑波大），佐藤 宏之（NTT），山名 早人（早大），池田 満（阪大）
26 日 (水)	10:30-12:00	チュートリアル（2）: WEB サービスとその現状 細見 格（NEC）
	15:30-17:30	パネル討論（2）: セマンティック・WEB・サービス 司会：武田 英明（国立情報学研） パネリスト：小倉 弘敬（日本IBM），萩原 正義（マイクロソフト），浦本 直彦（日本IBM），秋藤 俊介（日立）
27 日 (木)	10:30-12:00	チュートリアル（3）: W3C の活動とその成果 萩野 達也（慶大）
	14:30-17:00	パネル討論（3）: セマンティック WEB の次に来るもの 司会：橋田 浩一（産総研） パネリスト：山口 高平（静岡大），横井 俊夫（東京工科大），内田 裕士（国連大），武田 英明（国立情報学研）

【T4 A会場（メディアホール 1F 大教室）】特別トラック（4）ウェアラブルコンピューティング		
日	時間	内容
25 日 (火)	13:00-14:00	基調講演（1）: ネイチャーインタフェースへ向かうウェアラブル技術 板生 清（東大）
	14:00-15:00	基調講演（2）: ウェアラブルコンピューティングの可能性 志水 英二（大阪市大）
	15:15-17:15	パネル討論（1）: ヘッドマウントディスプレイの屋外利用 司会：遠藤 諭（アスキー） パネリスト：井場 陽一（オリンパス），草場 匡宏（クアルコムジャパン），中原 康博（島津製作所），上田 裕昭（ミノルタ），元日田 融（ソニー）
26 日 (水)	9:30-12:00	チュートリアル（1）: モバイル/ユビキタス時代のインタフェース技術 増井 俊之（ソニー CSL）
	15:30-16:30	招待講演（1）: ウェアラブルコンピューティングのビジネス展開 山村 道男（ザイブナー）
	16:30-17:30	招待講演（2）: 複合現実型情報強化環境 - モバイル，ウェアラブル，ユビキタスの次に来るもの - 田村 秀行（キヤノン）
27 日 (木)	9:30-12:00	チュートリアル（2）: ウェアラブル情報機器の例と応用，活用方法 海老名 修（日立）
	14:30-17:00	パネル討論（2）: ウェアラブルコンピューティングによる文化・ファッション大革命 司会：石井 威望（東京海上研） パネリスト：中津 良平（関西学院大），大江 瑞子（上田安子服飾専門学校），サエキ けんぞう（ミュージシャン），曾根 美知工（Cube-f）

【T5A 会場（研究棟 A4F 402）】特別トラック（5）マイニングとサーチング - 情報洪水時代における情報発掘と情報検索 -		
日	時間	内容
25 日 (火)	13:00-15:00	チュートリアル（1）: ビジネス分野でのデータマイニング - データマイニング，テキストマイニング入門 - 荒 和志（エス・ピー・エス・エス）
	15:15-17:15	チュートリアル（2）: ビジネス分野でのデータマイニング - ビジネス分野での実際の事例と応用 - 清水 聡（明治学院大）
26 日 (水)	15:30-16:30	招待講演（1）: Web 情報検索の新技术と動向 風間 一洋（NTT）
	16:30-17:30	招待講演（2）: Web 構造マイニングと Web コミュニティ発見 村田 剛志（国立情報学研）
27 日 (木)	10:30-12:00	招待講演（3）: ビジュアルな情報検索/テキストマイニング 武田 浩一（日本IBM）
	14:30-15:30	招待講演（4）: XML データのための検索技術 石川 佳治（筑波大）
	15:30-16:30	招待講演（5）: マルチメディア情報のための検索技術 片山 紀生（国立情報学研）

【T6会場（研究棟A 4F 403）】特別トラック（6）言語バリアフリー技術		
日	時間	内容
26 日 (水)	15:30-16:30	招待講演（1）：ユビキタスコンピューティングを利用した外国語学習システム 山田 玲子（ATR 人間情報研）
	16:30-17:30	招待講演（2）：痴呆症などの高次脳機能障害と工学的支援 安田 清（千葉労災病院）
27 日 (木)	14:30-15:30	招待講演（3）：言語横断検索技術の最新動向 岸田 和明（駿河台大）
	15:30-16:30	招待講演（4）：UNL（Universal Networking Language）とその将来 内田 裕士（国連大）

【T7A会場（研究棟A 3F 302）】特別トラック（7）バーチャル・ヒューマン		
日	時間	内容
25 日 (火)	13:00-14:00	招待講演（1）：言語理解と行動制御：プログレスレポート 田中 穂積（東工大）
	14:00-15:00	招待講演（2）：マルチモーダルエージェントコンテンツ作成を誰にでも - 記述言語 MPML とその周辺 - 石塚 満（東大）
	15:15-16:15	招待講演（3）：VRの医療応用と人体モデリング 高橋 隆（京大名誉教授）
26 日 (水)	15:30-17:30	パネル討論（1）：バーチャル・ヒューマンに求められる技術とキラーアプリケーション 司会：角所 考（京大） パネリスト：森島 繁生（成蹊大）、渡辺 富夫（岡山県大）、乃万 司（九工大）、 徳永 健伸（東工大）、大野 澄雄（東京工科大）、斎藤 豪（東工大）
27 日 (木)	14:30-15:30	招待講演（4）：An Event-Driven Approach for Human Crowd Simulation Sung Yong SHIN（KAIST）
	15:30-17:00	パネル討論（2）：virtual human / augmented human / mixed human 司会：角 康之（ATR） パネリスト：小林 宏（東理大）、長尾 確（名大）、葛岡 英明（筑波大）、土肥 浩（東大）

【T8D会場（講義実験棟 7F701）/T8B会場（メディアホール1F映像スタジオ）/T8C会場（スタジオ棟1FDMC）】特別トラック（8）デジタルコンテンツ制作とIT		
日	時間	内容
25 日 (火)	13:00-15:00	T8D会場（講義実験棟 7F 701） チュートリアル：モデリングチュートリアル 岡本 直樹（東京工科大）
26 日 (水)	10:00-17:00	T8B会場（メディアホール1F映像スタジオ） アトラクション（1）：バーチャルセット体験 説明者：植木 隆文（東京工科大）
	10:00-17:00	T8C会場（スタジオ棟1FDMCスタジオ） アトラクション（2）：リアルタイムMOCAP体験 説明者：川島 基展（東京工科大）

【T9会場（研究所棟 3F 302）】特別トラック（9）消費者のためのセキュリティ - 技術開発と普及活動 -		
日	時間	内容
25 日 (火)	13:00-13:45	招待講演（1）：Webセキュリティの虚と実 高木 浩光（産総研）
	13:45-14:30	招待講演（2）：キャンパスネットワークの運用管理 三木 哲也（電通大）

【T10会場（研究所棟 2F202）】特別トラック（10）e-Japanの進展 - 企業活動や社会生活に変革をもたらす電子政府・電子自治体 -		
日	時間	内容
26 日 (水)	9:45-10:45	基調講演：e-Japanの行方と展望 大山 永昭（東工大）
	11:00-12:00	チュートリアル：次世代電子政府技術 国分 明男（ニューメディア開発協会）
	15:30-17:30	パネル討論：電子政府・電子自治体の基盤整備 司会：前川 徹（早大） パネリスト：平井 卓也（衆議院議員）、猿渡 知之（総務省）、牧内 勝哉（経済産業省）、 三谷 慶一郎（NTTデータ）

【T11会場（講義棟D 3F 301）】特別トラック（11）情報技術国際標準化		
日	時間	内容
25 日 (火)	SC17 14:50-17:15 「個人識別カードの標準化と最新の利用動向」	
	14:50-15:10	講演(1): SC17の標準化組織と各WGの規格開発状況/林 義昭(ニューメディア開発協会)
	15:10-15:40	講演(2): ICカードの特徴とセキュリティ構造/寄本 義一(凸版印刷)
	15:40-16:10	講演(3): コンタクトレスICカードの特徴と規格開発動向/大谷 佳光(NTT)
	16:15-16:45	講演(4): JR東日本におけるICカード(Suica)の導入とIT戦略/片方 聡(JR東日本)
	16:45-17:15	講演(5): 運転免許証の標準化状況とわが国の対応/牧野 忠由(松下通信工業)
26 日 (水)	SC37 9:30-12:00 「バイオメトリクス技術の国際標準化と日本の対応」	
	9:30-9:50	講演(1): 国際標準化活動SC37の概要/瀬戸 洋一(日立)
	9:50-10:10	講演(2): バイオメトリクスアプリケーションプログラムインタフェースの標準化状況/中村 敏男(沖電気)
	10:10-10:30	講演(3): 精度評価のJIS化活動/三村 昌弘(日立)
	10:30-10:50	講演(4): 運用要求仕様策定のJIS化活動/新崎 卓(富士通)
	10:55-12:00	パネル討論: 国際標準化に向けていかに取り組むべきか 司会: 小松 尚久(早大) パネリスト: 辻 義信(経済産業省), 村山 憲治(新東京国際空港公団), 尼子 大介(三菱商事), 鷲見 和彦(三菱), 瀬戸 洋一(日立)
	SC31 15:00-17:30 「データキャリア標準化の最新動向とアプリケーション事例」	
	15:00-15:20	講演(1): 自動認識技術の国際動向/柴田 彰(デンソーウェーブ)
	15:25-16:05	講演(2): バーコード, 2Dコードの国際動向と応用事例/小橋 一夫(松下電器)
	16:15-16:45	講演(3): RFIDの国際動向/渡辺 淳(デンソーウェーブ)
16:50-17:30	講演(4): RFIDの応用事例/大塚 裕(オムロン)	
27 日 (木)	SC34 9:30-12:00 「ISO/IECにおける文書記述・処理言語の標準化動向」	
	9:30-10:40	講演(1): ISO/IECのXMLスキーマ言語DSDLの現状 - 日本発のスキーマ言語RELAXのその後 - 村田 真(国際大)
	10:50-12:00	講演(2): Topic Mapの現状/内藤 求(シナジー・インキュベート), 西川 マリ(シュルンベルジュ)

【特別トラック一般公募】

- 特別トラック(1): T1B会場(研究所棟)
- 特別トラック(2): T9会場(研究所棟)
- 特別トラック(3): T3B会場(講義実験棟)
- 特別トラック(4): T4B会場(講義実験棟)
- 特別トラック(5): T5B会場(講義実験棟)
- 特別トラック(6): T5A, T6会場(研究棟A)
- 特別トラック(7): T7A, T7B会場(研究棟A)
- 特別トラック(8): T8A会場(研究棟A)
- 特別トラック(9): T9会場(研究所棟)
- 特別トラック(10): T10会場(研究所棟)

【一般セッション: A~L会場(研究所棟, 講義実験棟, 図書館棟)】

【学生セッション: M~ZB会場(講義棟A, 講義棟D, 講義実験棟)】

25日(火)[13:00~15:00, 15:15~17:15], 26日(水)[9:30~12:00, 15:30~17:30], 27日(木)[9:30~12:00, 14:30~17:00]

【デモセッション: デモA会場(講義実験棟3F301), デモB会場(講義実験棟3F302)】

25日(火)[10:00~17:15], 26日(水)[9:30~17:30], 27日(木)[9:30~17:00]

【懇親会会場(研究所棟1F エントランスプラザ)】

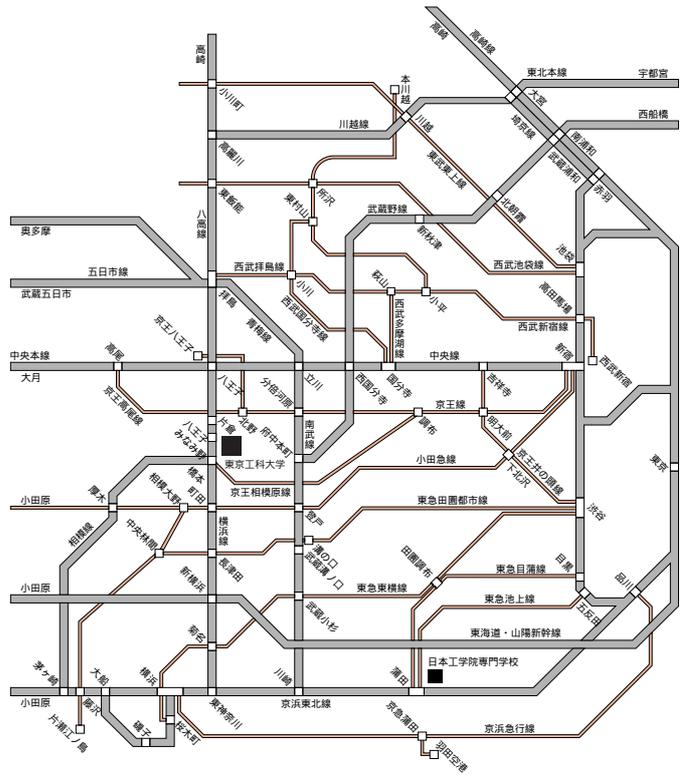
25日(火)[18:00~20:00]

会場案内図

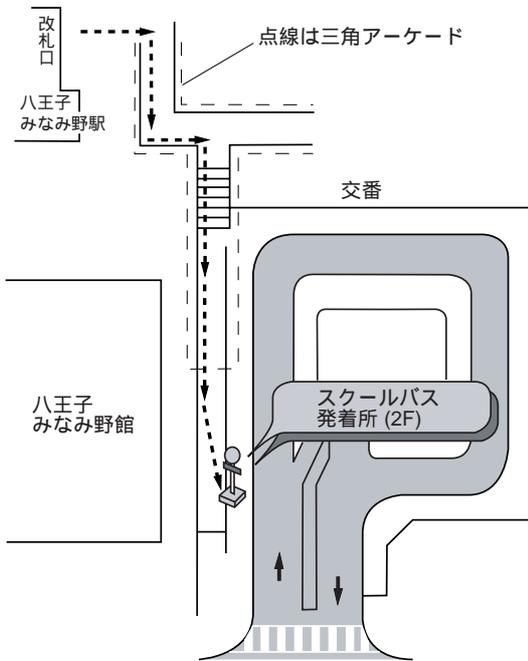
鉄道路線図

交通のご案内(八王子みなみ野駅まで)

- 東京駅から(約70分)
東京(J R中央線) 八王子(J R横浜線) 八王子みなみ野
- 上野駅から(約75分)
上野(J R山手線) 神田(J R中央線)
八王子(J R横浜線) 八王子みなみ野
- 新宿駅から(約60分)
新宿(J R中央線) 八王子(J R横浜線) 八王子みなみ野
- 横浜駅から(約50分)
横浜(J R京浜東北線) 東神奈川(J R横浜線)
八王子みなみ野
- 新横浜駅から(約40分)
新横浜(J R横浜線) 八王子みなみ野
- 大宮駅から(約90分)
大宮(J R京浜東北線) 南浦和(J R武蔵野線)
西国分寺(J R中央線) 八王子(J R横浜線) 八王子みなみ野
- 羽田空港から(約110分)
羽田空港(京浜急行線) 品川(J R山手線) 新宿(J R中央線)
八王子(J R横浜線) 八王子みなみ野

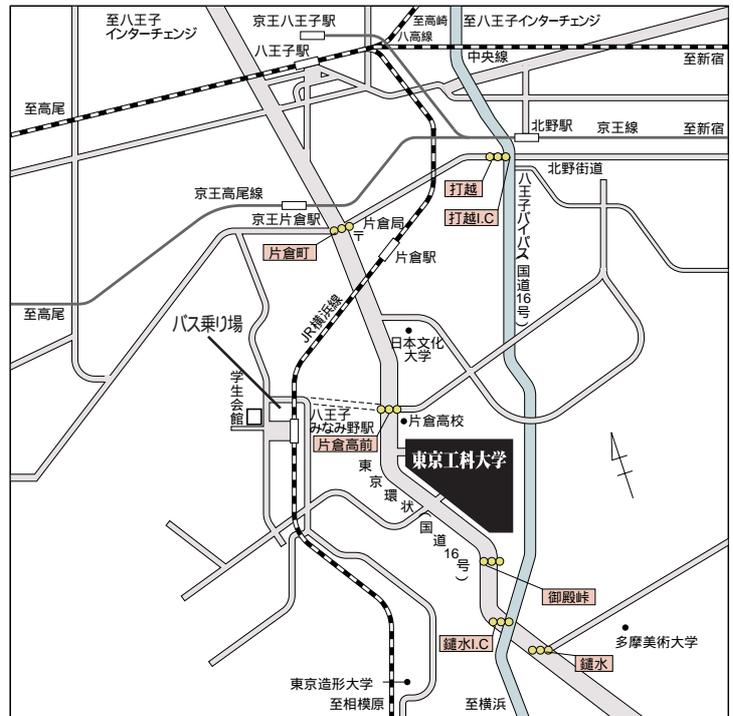


スクールバス乗り場案内図

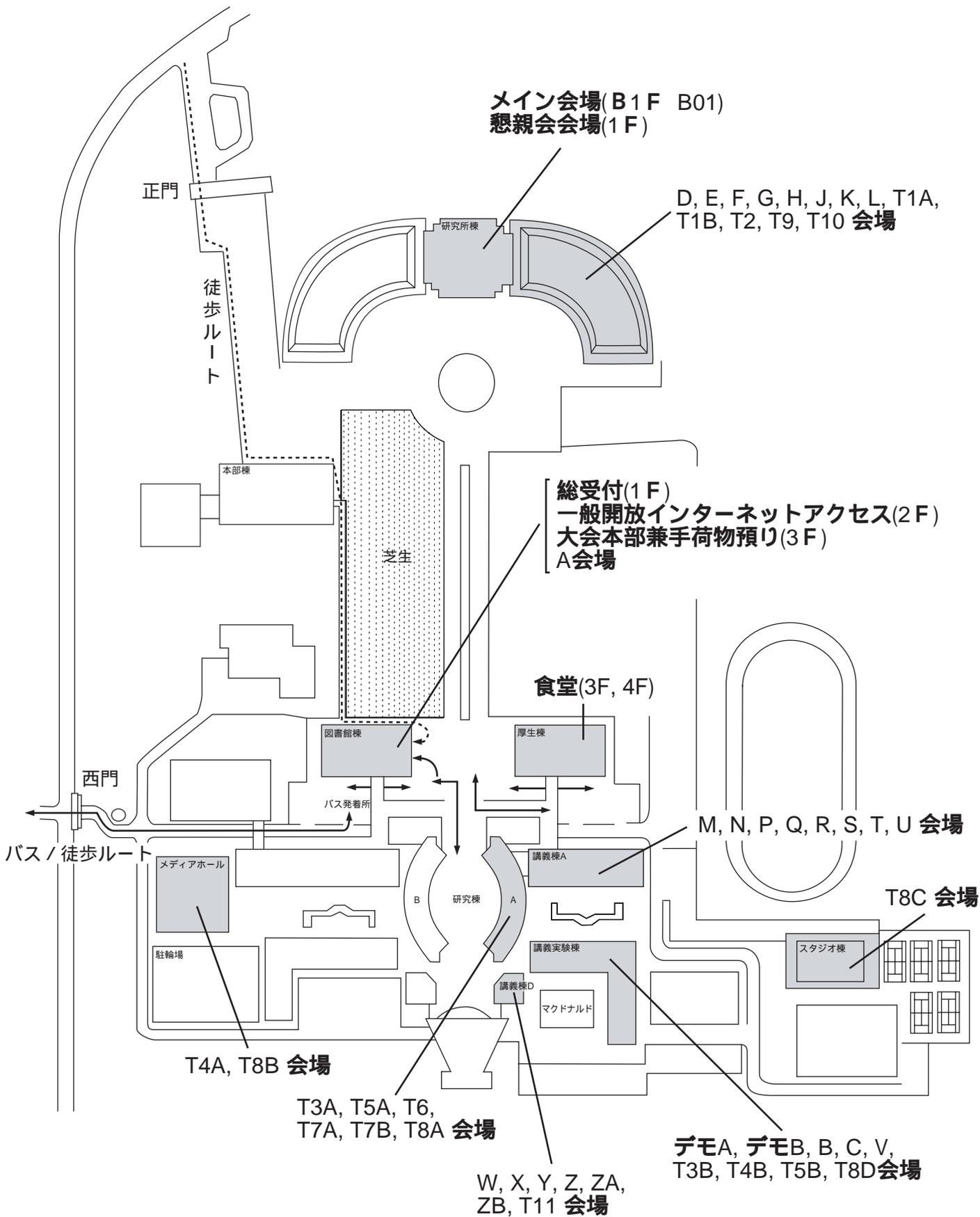


スクールバス所要時間
J R横浜線八王子みなみ野駅より約5分

付近図

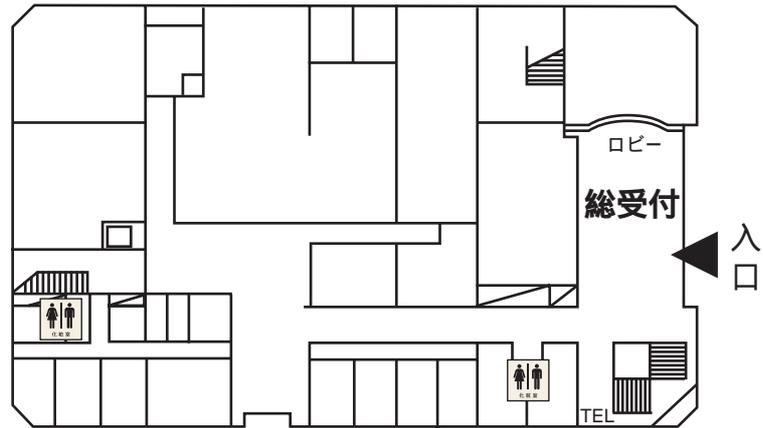


東京工科大学八王子キャンパス図

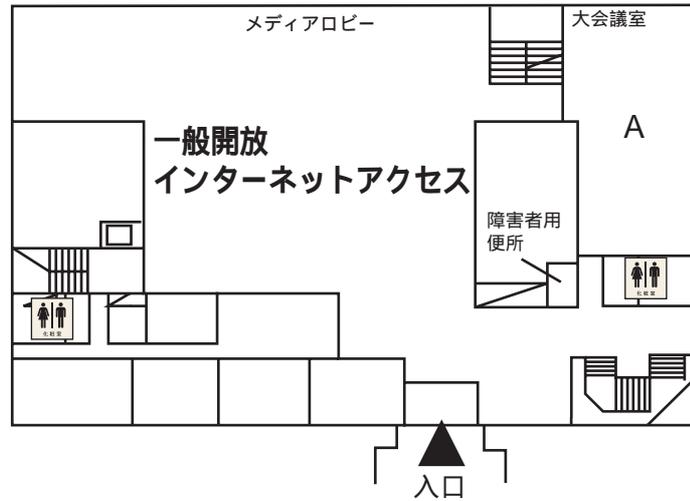


図書館棟

1F



2F

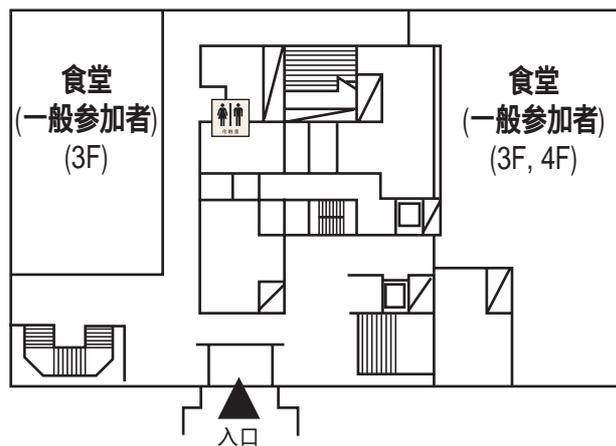


3F



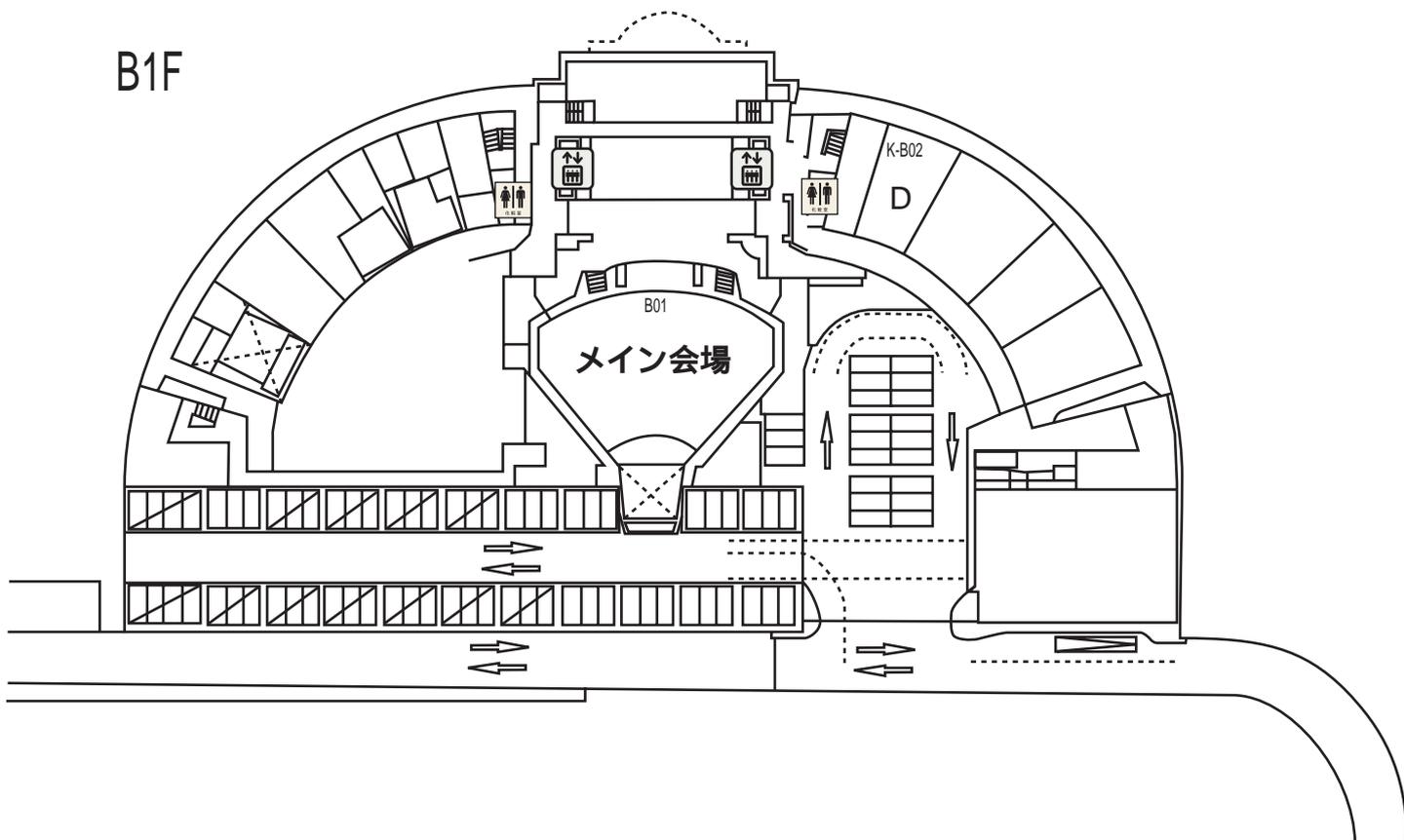
厚生棟

3F, 4F

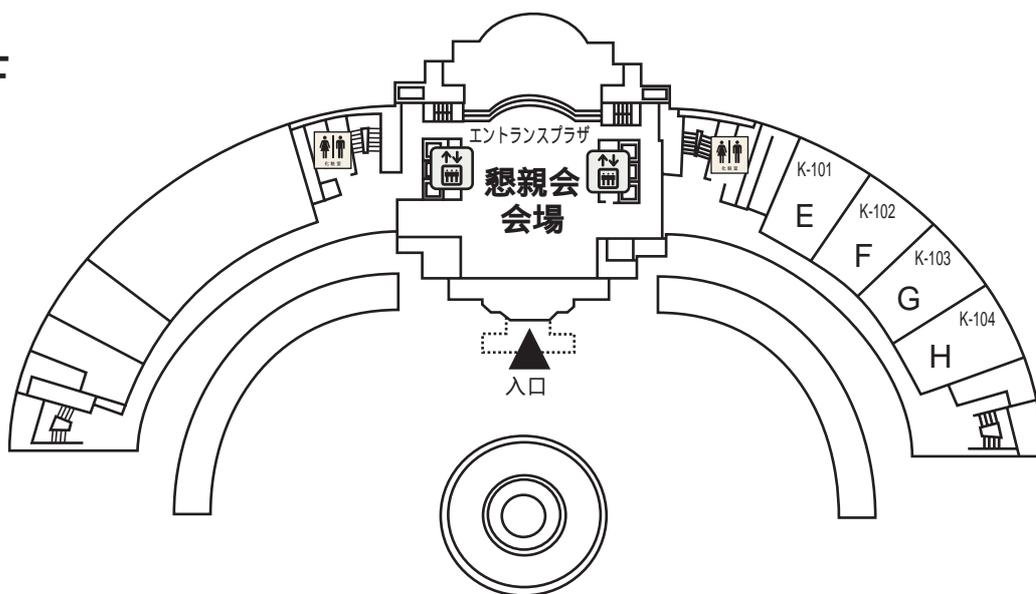


研究所棟

B1F

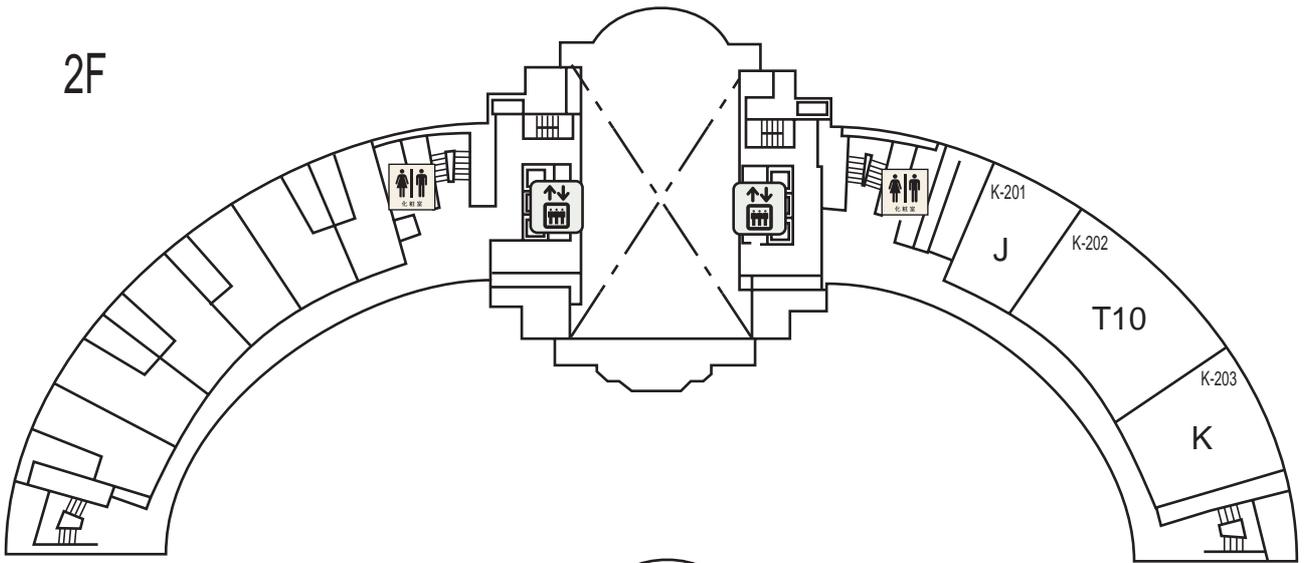


1F

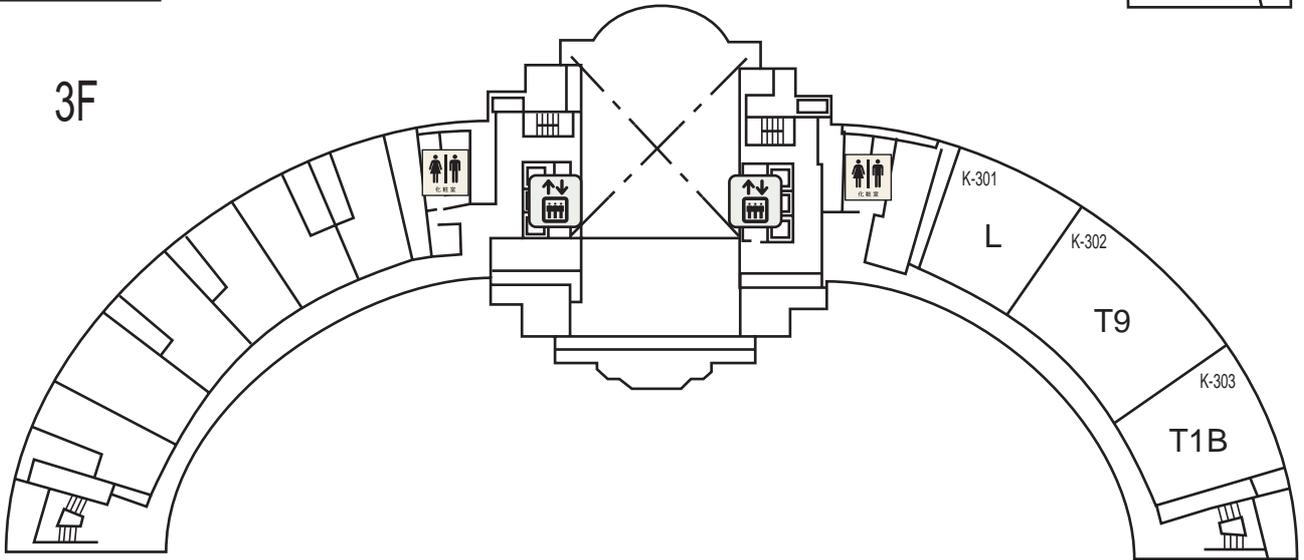


研究所棟

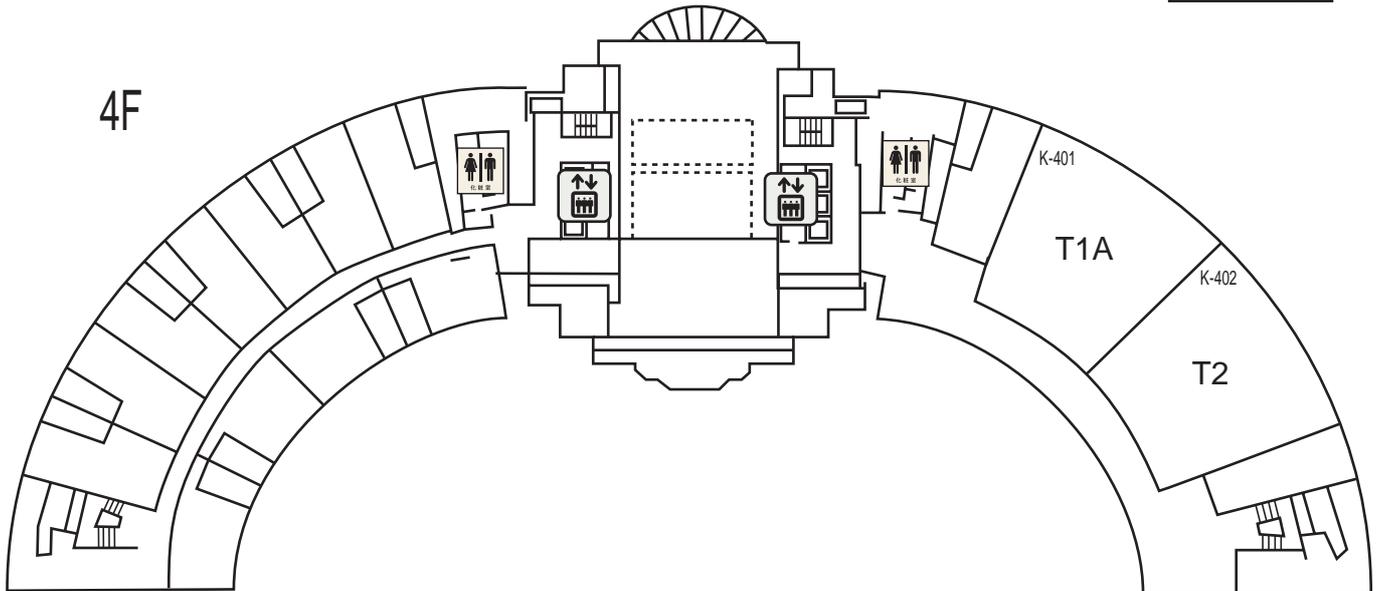
2F



3F

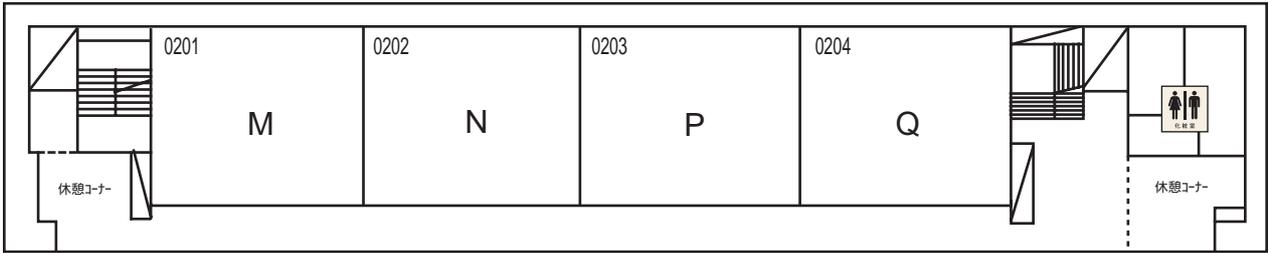


4F

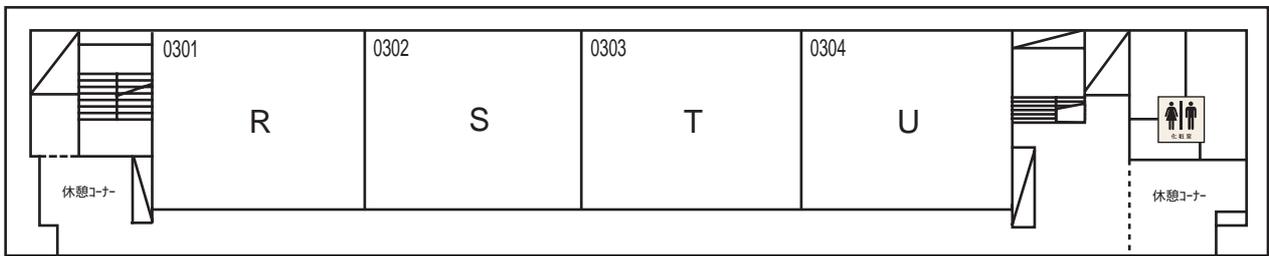


講義棟A

2F

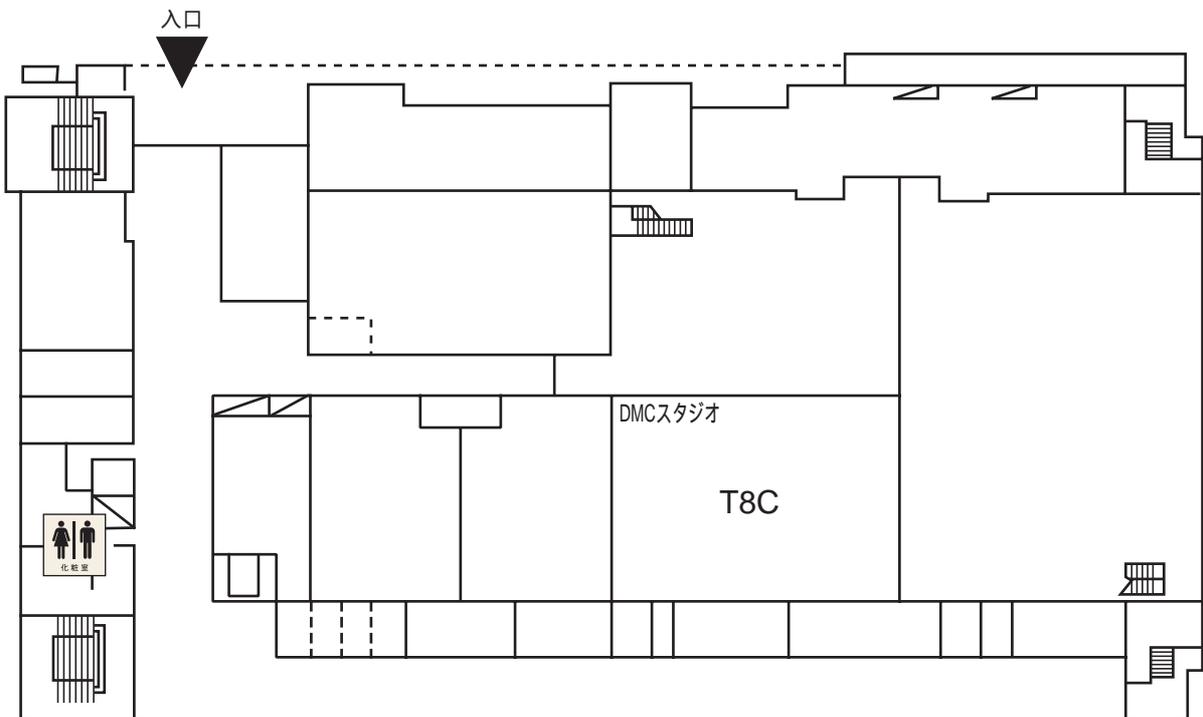


3F



スタジオ棟

1F

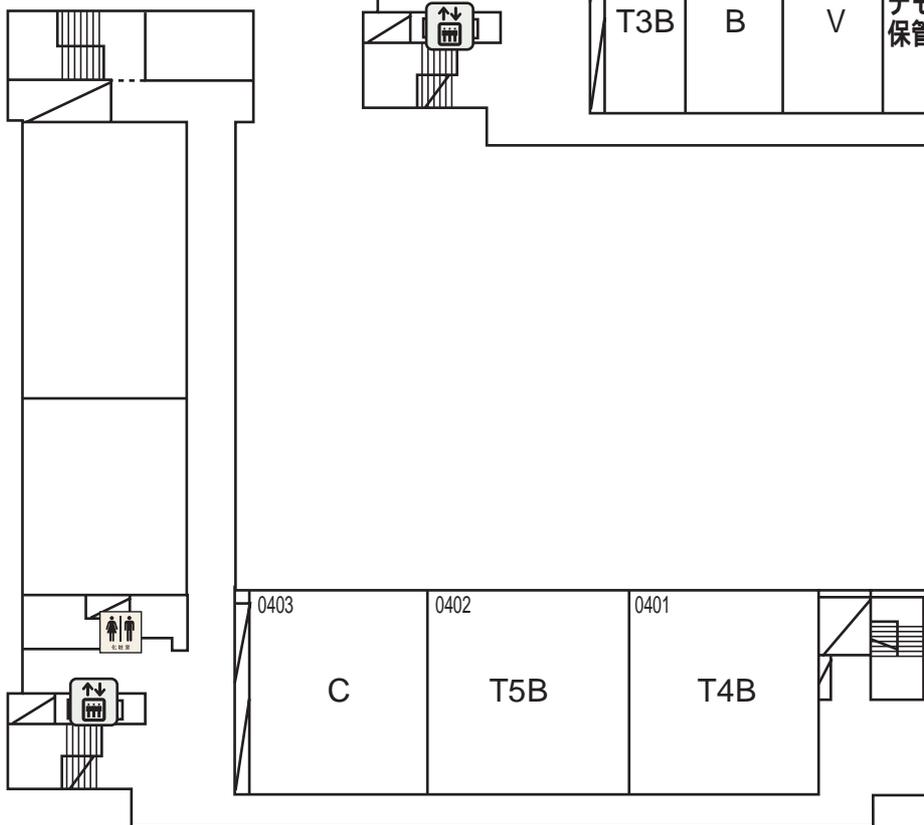


講義実験棟

3F



4F

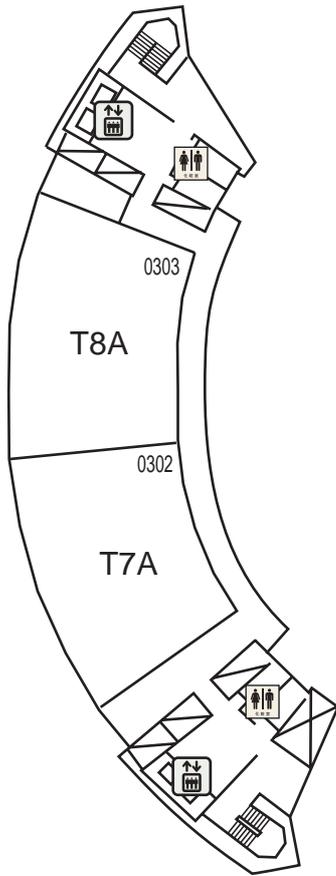


7F

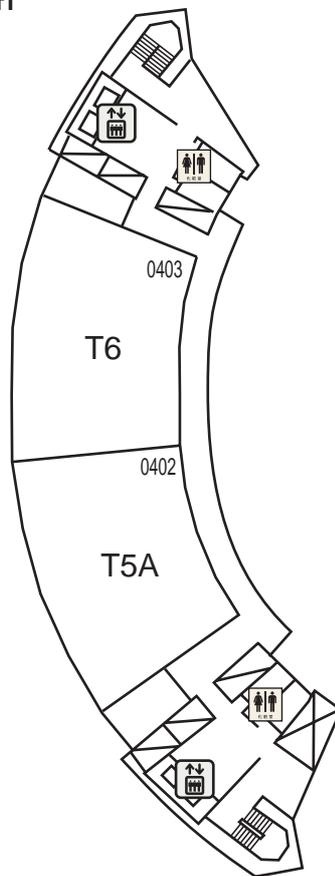


研究棟 A

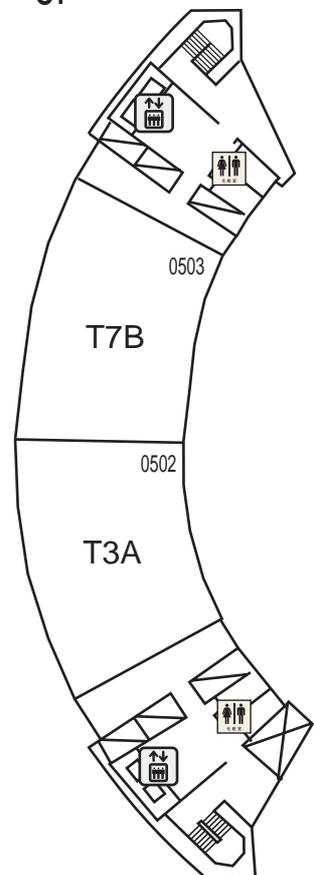
3F



4F

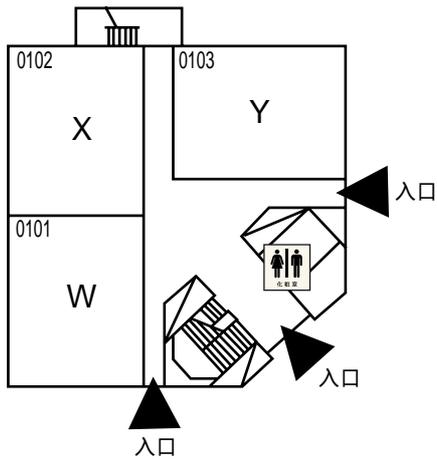


5F

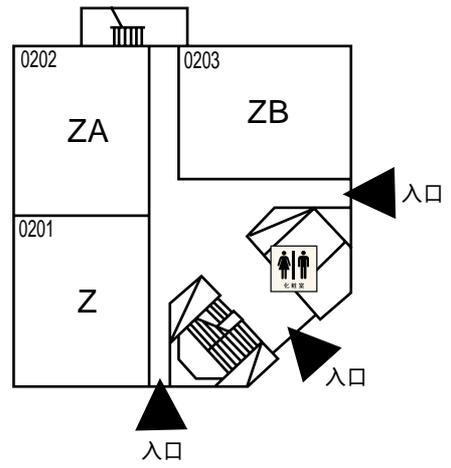


講義棟D

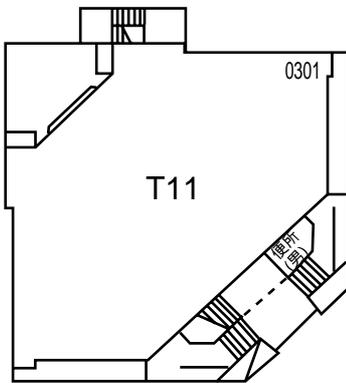
1F



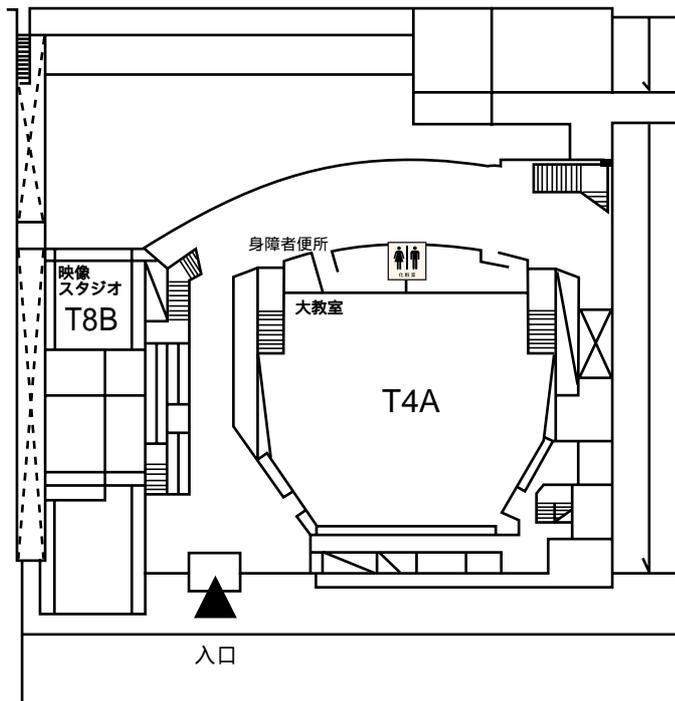
2F



3F



メディアホール



情報処理学会 第65回全国大会プログラム概要

日	会場	メイン 研究所棟 B1F B01	特別トラック(1)		特別トラック(2)	特別トラック(3)		特別トラック(4)	
			T1A 研究所棟 4F 401	T1B 研究所棟 3F 303	T2 研究所棟 4F 402	T3A 研究棟A 5F 502	T3B 講義実験棟 3F 306	T4A メディアホール 1F 大教室	
3月25日(火)	10:00	開会式 表彰式 認証式							
	10:40								
	11:40	招待講演(1) The IEEE Computer Society -Implementing the Vision- Steve Diamond (IEEE-CS会長)							
	13:00	13:00-14:30 特別トラック(3) 基調講演 XML, WEBサービス, セマンティックWEB 溝口理一郎(阪大)	13:00-14:00 基調講演(1) ユビキタスコンピューティングの 目指すもの: 将来像と現状 徳田 英幸(慶大)			13:30-15:00 チュートリアル(1) E-Learningと知識管理 清木 康(慶大)		13:00-14:00 基調講演(1) ネイチャーインタフェイスへ 向かうウェアラブル技術 板生 清(東大)	
15:00		14:00-15:00 基調講演(2) ユビキタスコンピューティング テストベッドの 目指すもの 森川 博之(東大)					14:00-15:00 基調講演(2) ウェアラブルコンピューティングの 可能性 志水 英二(大阪市大)		
15:15		パネル討論(1) ユビキタス コンピューティングの インフラストラクチャ 及び関連技術の 構想と展望	コミュニケーションと インタフェース 山田 敬嗣 (NEC)		パネル討論(1) セマンティックWEBは こう使いたい	e-learning 斎藤 信男 (慶大)	パネル討論(1) ヘッドマウント ディスプレイの 屋外利用		
17:15									
3月26日(水)	9:30	10:30-12:00 特別トラック(2) パネル討論(1) ブロードバンドと コンテンツ流通	チュートリアル(1) 誰でもできる 日曜プログラミング -自分だけのインターネット ブラウザを作る- 天野 真家(東芝)	モバイル アプリケーション 木村 哲郎 (東芝)	チュートリアル(1) IPv6技術の 概要と現状 江崎 浩(東大)	10:30-12:00 チュートリアル(2) WEBサービスと その現状 細見 格(NEC)	オントロジーと 知識管理 塚本 亨治 (東京工科大)	チュートリアル(1) モバイル/ユビキタス時代の インタフェース技術 増井 俊之(ソニーCSL)	
	12:00								
	13:00	公開講演 映画・アニメが進化する 篠田 正浩(映画作家) モンキーパンチ(漫画作家) りんたろう(アニメ作家) 司会・金子満(東京工科大)							
	15:30		特別講演 情報家電における 混合音認識の重要性: 聖徳太子コンピュータ 奥乃 博(京大)		パネル討論(2) IPv6ビジネス展開	パネル討論(2) セマンティック・ WEB・サービス		15:30-16:30 招待講演(1) ウェアラブル コンピューティングの ビジネス展開 山村 達男(サイバー)	
17:30								16:30-17:30 招待講演(2) 複合現実型情報強化環境 -モバイル, ウェアラブル, ユビキタスの次に来るもの- 田村 秀行(キヤノン)	
3月27日(木)	9:30		チュートリアル(2) 誰でもできる 日曜プログラミング -自分だけの Javaアプレットを作る- 瀬川 淳一(東芝)	10:00-12:00 モバイル エージェント 三ツ井幹一 (日本IBM)	9:30-11:00 パネル討論(3) インターネット電話の 現状と今後の展開 11:00-12:00 基調講演 実空間インターネット: 日本での役割・ 世界への責任 村井 純(慶大)	10:30-12:00 チュートリアル(3) W3Cの活動とその成果 萩野 達也(慶大)	10:00-12:00 セマンティック WEBの基礎と 応用 橋田 浩一 (産総研)	チュートリアル(2) ウェアラブル情報機器の 例と応用、活用方法 海老名 修(日立)	
	12:00								
	13:00	招待講演(2) 大学改革とIT人材の育成 相磯秀夫(東京工科大学長)							
	14:30	14:30-17:30 シンポジウム 情報および情報関連分野の アクレディテーション 活動報告 - IS領域の試行審査を 中心として -	パネル討論(2) ユビキタス コンピューティング: 都市と自動車内と		14:30-16:00 チュートリアル(2) ピアツーピア アーキテクチャ 斎藤 賢爾(慶大)	パネル討論(3) セマンティックWEBの 次に来るもの		パネル討論(2) ウェアラブル コンピューティングによる 文化・ファッション大革命	

表中の 囲み数字は、講演論文集の掲載冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の掲載ページ番号です。

情報処理学会 第65回全国大会

日	会場	特別トラック(4)	特別トラック(5)	特別トラック(5)	特別トラック(6)	特別トラック(7)		特別トラック(8)		
		T4B 講義実験棟 4F 401	T5A 研究棟A 4F 402	T5B 講義実験棟 4F 402	T6 研究棟A 4F 403	T7A 研究棟A 3F 302	T7B 研究棟A 5F 503	T8A 研究棟A 3F 303	T8B メディアホール 1F 映像スタジオ	T8C スタジオ棟 1F DMCスタジオ
3月25日(火)	10:00									
	10:40									
	11:40									
	13:00		チュートリアル(1) ビジネス分野での データマイニング - データマイニング - テキストマイニング入門 - 荒 和志 (エス・ピー・エス・エス)	Web検索と Webマイニング 河野 浩之 (京大)	字幕・要約作成 鈴木 雅実 (ATRメディア研)	13:00-14:00 招待講演(1) 言語理解と行動制御: プログレスレポート 田中 穂積(東工大) ⁶² 14:00-15:00 招待講演(2) マルチモーダルエージェント コンテンツ制作を誰にでも - 記述言語MPMLと その周辺 - 石塚 満(東大) ⁶²				
15:00										
15:15	映像利用 堀 雅和 (インテック・ウェブ アンド・ゲーム・ インフォマティクス)	チュートリアル(2) ビジネス分野での データマイニング - ビジネス分野での 実際の事例と応用 - 清水 聡 (明治学院大)		機械翻訳と異文化間 コミュニケーション 菊井玄一郎 (ATR音声言語研)	15:15-16:15 招待講演(3) VRの医療応用と 人体モデリング 高橋 (京大) ⁶³ 16:30-19:00 VR環境構築技術 角所 考 (京大)	16:30-19:00 対話エージェント 徳永 健伸 (東工大)	コンテンツ 制作技術 金子 満 (東京工科大)			
17:15										
3月26日(水)	9:30	デバイスと マーカー 河野 恭之 (奈良先端大)	特別トラック(6) 手話・障害者支援 乾 健太郎 (奈良先端大)	マイニング 応用 廣川佐千男 (九大)	語学学習支援 奥村 学 (東工大)	動作生成 乃万 司 (九工大)	実世界と 言語使用 飯田 仁 (東京工科大)		10:00-17:00 アトラクション(1) バーチャルセット 体験	10:00-17:00 アトラクション(2) リアルタイムMOCAP 体験
	12:00									
	13:00									
	15:00									
15:30		15:30-16:30 招待講演(1) Web情報検索の 新技術と動向 風間 一洋(NTT) ⁵⁹ 16:30-17:30 招待講演(2) Web構造マイニングと Webコミュニティ発見 村田剛志(国立情報学研) ⁶⁰		15:30-16:30 招待講演(1) ユビキタスコンピューティングを 利用した外国語学習システム 山田玲子(ATR人間情報研) ⁶¹ 16:30-17:30 招待講演(2) 痴呆症などの高次機能障害と 工学的支援 安田 清(千葉労災病院) ⁶¹	17:30-19:00 パネル討論(1) バーチャル・ヒューマンに 求められる技術と キラアアプリケーション 山田玲子(ATR人間情報研) ⁶³ 17:30-19:00 動作の計測・分析・格納 斉藤 豪 (東工大)	17:30-19:00 バーチャル・ ヒューマン システム 土肥 浩 (東大)	コンテンツ制作 システムと 制作手法 三上 浩司 (東京工科大)			
17:30										
3月27日(木)	9:30	応用 大野 健彦 (NTT)	10:30-12:00 招待講演(3) ビジュアルな情報検索/ テキストマイニング 武田 浩一(日本IBM)	マルチメディア 検索と表示 森本 康彦 (広島大)	多言語情報アクセス 菊井玄一郎 (ATR音声言語研)	顔表情と感情の表現 角 康之 (ATRメディア研)	対話における 音声処理 大野 澄雄 (東京工科大)			
	12:00									
	13:00									
	14:00									
14:30		14:30-15:30 招待講演(4) XMLデータのための 検索技術 石川 佳治(筑波大) ⁶⁰ 15:30-16:30 招待講演(5) マルチメディア情報の ための検索技術 片山紀生(国立情報学研) ⁶⁰		14:30-15:30 招待講演(3) 言語横断検索技術の 最新動向 岸田 和明(駿河台大) ⁶² 15:30-16:30 招待講演(4) UNL(Universal Networking Language)とその将来 内田 裕士(国連大) ⁶²	14:30-15:30 招待講演(4) An Event-Driven Approach for Human Croud Simulation Sung Yong SHIN(KAIST) ⁶³ 15:30-17:00 パネル討論(2) virturl human / augmented human / mixed human ⁶⁴					
17:00										

プログラム概要

特別トラック(8)	特別トラック(9)	特別トラック(10)	特別トラック(11)	デモセッション	デモセッション	一般セッション	一般セッション	一般セッション
T8D 講義実験棟 7F 701	特別トラック(2) T9 研究所棟 3F 302	T10 研究所棟 2F 202	T11 講義棟D 3F 301	デモA 講義実験棟 3F 301	デモB 講義実験棟 3F 302	A 図書館棟 2F 大会議室	B 講義実験棟 3F 305	C 講義実験棟 4F 403
チュートリアル モデリング チュートリアル 岡本 直樹 (東京工科大)	13:00-13:45 招待講演(1) Webセキュリティの 虚と実 高木 浩光(産総研) 65 13:45-14:30 招待講演(2) キャンパスネットワークの 運用管理 三木 哲也(電通大) 66			デモセッション	デモセッション	情報教育の 現状と将来 大岩 元 (慶大) 40	対話処理、 機械翻訳 田中 英輝 (ATR) 27	
	消費者のための セキュリティ 村山 優子 (岩手県大) 47		14:50-17:15 SC17 個人識別カードの 標準化と最新の利用動向 講演 5件 67			教師支援 システム 立田 ルミ (獨協大) 40	学習支援 システム(1) 佐野 洋 (東京外語大) 40	モデル化と シミュレーション 上野 修一 (東工大) 24
	特別トラック(2) ピアツーピア通信 寺岡 文男 (慶大) 44	9:45-10:45 基調講演 e-Japanの行方と展望 大山 永昭(東工大) 66 11:00-12:00 チュートリアル 次世代電子政府技術 国分 明男 (ニューメディア開発協会) 67	SC37 バイオメトリクス技術の 国際標準化と日本の対応 講演 4件 パネル討論 1件 68	デモセッション	デモセッション	グループウェア 市村 哲 (東京工科大) 38	ヒューマン インタフェース 加藤 浩 (メディア教育 開発センター) 38	アルゴリズム 山口 一章 (神戸大) 24
	特別トラック(2) IPv6基盤技術 永見 健一 (インテックネットコア) 44	パネル討論 電子政府・電子自治体の 基盤整備 66	15:00-17:30 SC31 データキャリア標準化の 最新動向と アプリケーション事例 講演 4件 69			Webグループ ウェア 岡田 謙一 (慶大) 38	コミュニケー ション支援 今井 倫太 (慶大) 38	モデルと アルゴリズム 佐藤 文俊 (東大) 25
	特別トラック(2) IPv6モバイル技術 中山 雅哉 (東大) 44	電子政府ポータル 磯部 悦男 (三菱総研) 47	SC34 ISO / IECにおける 文書記述・処理言語の 標準化動向 講演 2件 70	デモセッション	デモセッション	形状モデリング 金井 崇 (慶大) 38	意味文脈解析、 談話理解と要約 島津 明 (北陸先端大) 27	開発管理(1) 玉井 哲雄 (東大) 25
	特別トラック(2) IPv6アプリケーション 砂原 秀樹 (奈良先端大) 44	電子政府実現技術 谷内田益義 (東工大) 47				アニメーション 斉藤 隆文 (農工大) 38	仮想現実と 実世界指向 清川 清 (阪大) 38	開発管理(2) 大木 幹雄 (日本工大) 25

情報処理学会 第65回全国大会

日	会場	一般セッション	一般セッション	一般セッション	一般セッション	一般セッション	一般セッション	一般セッション	一般セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション
		D 研究所棟 B1F B02	E 研究所棟 1F 101	F 研究所棟 1F 102	G 研究所棟 1F 103	H 研究所棟 1F 104	J 研究所棟 2F 201	K 研究所棟 2F 203	L 研究所棟 3F 301	M 講義棟A 2F 201	N 講義棟A 2F 202	P 講義棟A 2F 203	Q 講義棟A 2F 204
3月25日(火)	時間												
	10:00												
	10:40												
	11:40												
	13:00	教育効果・評価 波多野和彦 (メディア教育 開発センター)	XML・ 情報システム 遠山 元通 (慶大)		画像処理 中原 智治 (松下電工)	モバイル 応用技術 石川 憲洋 (NTTドコモ)	ファジィ・ ニューラル ネット 吉田 哲也 (阪大)		新しい 情報技術の活用 辻 秀一 (東海大)			音楽信号処理と 音楽システム 堀内 靖雄 (千葉大)	学習(1) 大和田勇人 (東理大)
	15:00	40	32		27	34	27		40			28	29
15:15	情報・計算機 システム学習 並木美太郎 (農工大)	モバイル環境に おける情報発信 ・情報抽出 細川 宜秀 (名工大)	音声言語情報処理 大川 茂樹 (千葉工大)	視覚・画像処理 杉山 岳弘 (静岡大)	モバイル プロトコル 藤川 賢治 (京大)	文書検索・分類 市瀬龍太郎 (国立情報学研)		医療情報 刀川 真 (NTTデータ)	意味文脈解析 奥村 学 (東工大)		楽音合成・ 音楽生成 小坂 直敏 (NTT)	学習(2) 松平 正樹 (沖電気)	
17:15	40	32	27	27	34	28		41	28		28	29	
3月26日(水)	9:30	ネットワーク・ セキュリティ 村山 優子 (岩手県大)	テキスト間の 関係抽出と分類 安達 淳 (国立情報学研)	OS構成法 西尾 信彦 (慶大)	3次元・ モザイク 千葉 直樹 (三洋電機)	ユビキタス センサー技術 南 正輝 (東大)	知識表現・推論 高間 康史 (都立科技大)	遺伝的 アルゴリズム ・学習 狩野 均 (筑波大)	企業経営と 情報システム 伊東 俊彦 (学習院大)	文解析・生成 用語抽出 久光 徹 (日立)	画像の検索、 可視化 池田 哲夫 (岩手県大)	CG応用システム 山内 康晋 (東芝)	文書処理と インタフェース 坂上 秀和 (NEC)
	12:00	33	32	23	27	34	28	28	41	28	32	39	39
	13:00												
	15:00												
	15:30	音楽情報科学 片寄 晴弘 (関西学院大)	画像検索、 マルチメディア データベース 大森 匡 (電通大)	数値計算法 片桐 孝洋 (電通大)	設計自動化 大石 一幸 (東芝)	Grid 村山 優子 (岩手県大)	分散システム運用 萩原 洋一 (農工大)	P2P 原 英樹 (千葉工大)	情報システムの 分析・設計・構築 内木 哲也 (埼玉大)	談話理解、 文章要約 仲尾 由雄 (富士通研)		ニューラル ネットワーク 伊藤 英則 (名工大)	インタラクション 支援 山崎真湖人 (リコー)
	17:30	27	32	23	23	34	34	35	41	28		29	39
3月27日(木)	9:30	不正アクセス 対策 寺田 真敏 (日立)	ユーザ情報を用いた 情報検索 原田 隆史 (慶大)	シミュレーション と最適化 高橋 大介 (筑波大)	FPGAと 組み込み システム 工藤 知宏 (産総研)	人物・文字認識 長尾 健司 (松下技研)	ネットワーク家電 松浦 敏雄 (大阪市大)	メディア配信 重野 寛 (慶大)	電子商取引と 暗号技術の応用 鷲崎 早雄 (静岡産業大)	XML、問合せ 作成支援 浦本 直彦 (日本IBM)	シミュレーション とモデル化 山田 敦 (日本IBM)	グループウェア 斉藤 典明 (NTT)	仮想現実と ユビキタス 田中 二郎 (筑波大)
	12:00	34	32	23	23	27	35	35	41	32	38	39	39
	13:00												
	14:00												
	14:30	暗号・認証 菊池 浩明 (東海大)	データマイニング、 テキスト マイニング 松永 務 (NTTデータ)		計算機システム 構成法 笠原 博徳 (早大)	ネットワーク プロトコル 水野 忠則 (静岡大)	ユビキタス アプリケーション 狩野 秀一 (NEC)	ネットワーク アプリケーション 渡辺 尚 (静岡大)	情報と社会 阿部 昭博 (岩手県大)	対話 酒井 桂一 (キヤノン)		シミュレーション と可視化 栗原 恒弥 (日立)	Webモバイル グループウェア 星 徹 (日立)
	17:00	34	32		23	34	35	35	41	28		39	39

プログラム概要

学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション
R 講義棟A 3F 301	S 講義棟A 3F 302	T 講義棟A 3F 303	U 講義棟A 3F 304	V 講義実験棟 3F 304	W 講義棟D 1F 101	X 講義棟D 1F 102	Y 講義棟D 1F 103	Z 講義棟D 2F 201	ZA 講義棟D 2F 202	ZB 講義棟D 2F 203
マルチメディア 符号化	知能メカニズムと 応用システム	遠隔教育	動画情報の アニメーション	無線ネットワーク	コピキタス	遺伝的 アルゴリズム(1)	モデル化と評価	UMLとその拡張	情報検索理論	電子商取引
上倉 一人 (NTT)	山川 宏 (富士通研)	阿部 圭一 (静岡大)	飯沢 篤志 (リコー)	太田 賢 (NTTドコモ)	久野 巧 (産総研)	井庭 崇 (千葉商科大)	岡川 正臣 (パスコGIS総研)	五味 弘 (沖ソフトウェア)	原田 隆史 (慶大)	清水 則之 (日本IBM)
35	29	41	32	35	36	30	25	26	33	42
画像応用 システム	マルチ エージェント	履習支援 システム	地図情報、 位置情報	グリッド コンピューティング	Web アプリケーション	遺伝的 アルゴリズム(2)	アルゴリズムと 暗号	ソフトウェア 設計支援	オントロジー、 クラスタリング	情報システムの 分析・構築
中島 康之 (KDDI研)	新谷 虎松 (名工大)	有賀 妙子 (同志社女子大)	有川 正俊 (東大)	馬島 宗平 (NTT)	谷口 展郎 (NTT)	栗原 聡 (NTT)	澤田 清 (流通科学大)	植木 克彦 (東芝)	松本 一教 (神奈川工科大)	繁野 高仁 (KDDI)
29	30	41	33	35	36	30	25	26	33	42
画像領域抽出 および応用	画像認識	学習支援 システム(2)	ユーザモデルを 用いた検索	位置情報サービス	TCP/IP	音声対話システム	プログラミング 言語と実装	数値計算	投機処理と 分岐予測	並列分散システム
益満 健 (日本IBM)	佐藤 俊雄 (東芝)	斐品 正照 (東京国際大)	岩山 真 (日立)	小西 達裕 (静岡大)	串田 高幸 (日本IBM)	松永 昭一 (NTT)	田浦健次朗 (東大)	野寺 隆 (慶大)	安里 彰 (富士通研)	西 直樹 (NEC)
29	30	41	33	36	36	30	25	24	24	24
画像処理一般	人工生命・ 人工社会	教材開発支援	知識抽出	歩行者 ナビゲーション	QoS	音声応用システム	プログラミング 方法論	ソフトウェア 開発環境	Webページの 収集・分類	エージェント モデル
塩原 守人 (富士通研)	松原 繁夫 (NTT)	渡辺 博芳 (帝京大)	猪口 明博 (日本IBM)	屋代 智之 (千葉工大)	関根 徹 (日本TNS)	脇田 由実 (松下電器)	山本修一郎 (NTTデータ)	平井 千秋 (日立)	福島 俊一 (NEC)	小泉 寿男 (電機大)
29	30	42	33	36	37	30	25	26	33	31
シミュレーション とゲーム	コンピュータ グラフィクス	計算機システムの 学習	OS構成法(1)	エージェント	P2P	暗号・認証	最適化 アルゴリズム	性能チューニング	情報検索 アプリケーション	情報と社会
清 慎一 (富士通SSL)	筒口 拳 (NTT)	神沼 靖子 (前橋工科大)	並木美太郎 (農工大)	藤田 茂 (千葉工大)	中川 克哉 (シャープ)	山田 朝彦 (東芝)	潮 和彦 (近畿大)	妹尾 義樹 (NEC)	鈴木 優 (東芝)	刀川 真 (NTTデータ)
29	30	42	23	36	37	37	25	24	33	42
レンダリング 技術	3次元画像処理	講義支援	OS構成法(2)	アドホック ネットワーク	ネットワーク応用	不正アクセス対策	再利用と プログラム合成	マルチメディア 通信	生体計測と インタフェース	位置情報システム
柿本 正憲 (日本SGI)	若林 佳織 (NTT)	竹田 尚彦 (愛知教育大)	石川 裕 (東大)	福田 晃 (九大)	西木 健哉 (日立)	藤井 誠司 (三菱)	岸 知二 (NEC)	渥美 幸雄 (NTTドコモ)	大野 健彦 (NTT)	椎名 洋充 (日立)
40	30	42	24	36	37	37	25	37	40	42

第65回全国大会講演論文集の分類と内容

(括弧内はセッション会場名)

第1分冊

- ・アーキテクチャ
計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング, 設計自動化
(3F ~ 5F, 4G ~ 6G, 5U, 6U, 3Z, 5Z, 3ZA, 3ZB), (デモセッション: デ - 13, 16)
- ・ソフトウェア科学・工学
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング
(2C ~ 6C, 1Y ~ 6Y, 1Z, 2Z, 4Z)

第2分冊

- ・人工知能と認知科学
人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学
(1B, 5B, 4D, 2F, 1G ~ 3G, 5H, 1J ~ 3J, 3K, 2M ~ 4M, 6M, 1P, 2P, 4P, 1Q, 2Q, 2R ~ 5R, 1S ~ 6S, 1X ~ 4X, 4ZB), (デモセッション: デ - 15)

第3分冊

- ・データベースとメディア
データベース, 情報検索, メディアと情報
(1E ~ 6E, 5M, 3N, 1U ~ 4U, 1ZA, 2ZA, 4ZA, 5ZA), (デモセッション: デ - 08)
- ・ネットワーク
マルチメディア通信と分散処理, 分散システム運用, マルチメディア符号化, モバイルコンピューティング
(3D, 5D, 6D, 1H ~ 4H, 6H, 4J ~ 6J, 4K ~ 6K, 1R, 1V ~ 6V, 1W ~ 6W, 5X, 6X, 6Z),
(デモセッション: デ - 02, 14, 18)

第4分冊

- ・インタフェース
ヒューマンインタフェース, グループウェア, グラフィクスとCAD, 仮想現実感
(3A ~ 6A, 3B, 4B, 6B, 5N, 6N, 3P, 5P, 3Q ~ 6Q, 6R, 6ZA), (デモセッション: デ - 03, 17)
- ・コンピュータと人間社会
情報システム, コンピュータ教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, 標準化, その他
(1A, 2A, 2B, 1D, 2D, 1L ~ 6L, 1T ~ 6T, 1ZB, 2ZB, 5ZB, 6ZB),
(デモセッション: デ - 01, 04, 05, 06, 07, 10, 11, 12)

第5分冊

- ・特別トラック(1) ユビキタスコンピューティング - 都市と, 家庭と, 自動車内と -
(2T1B, 3T1B, 5T1B), (デモセッション: デ - 09)
- ・特別トラック(2) IPv6を基盤としたインターネットの新展開
(3T9 ~ 6T9)
- ・特別トラック(3) セマンティック WeB と WeB サービス
(2T3B, 3T3B, 5T3B)
- ・特別トラック(4) ウェアラブルコンピューティング
(2T4B, 3T4B, 5T4B)
- ・特別トラック(5) マイニングとサーチング - 情報洪水時代における情報発掘と情報検索 -
(1T5B, 3T5B, 5T5B)
- ・特別トラック(6) 言語バリアフリー技術
(3T5A, 1T6 ~ 3T6, 5T6)
- ・特別トラック(7) バーチャル・ヒューマン
(2T7A ~ 5T7A, 2T7B ~ 5T7B)
- ・特別トラック(8) デジタルコンテンツ制作とIT
(2T8A, 4T8A)
- ・特別トラック(9) 消費者のためのセキュリティ - 技術開発と普及活動 -
(2T9)
- ・特別トラック(10) e-Japanの進展 - 企業活動や社会生活に変革をもたらす電子政府・電子自治体 -
(5T10, 6T10)

プログラム目次

一般セッション・学生セッション

(第1分冊 アーキテクチャ)

3F	OS 構成法	23
4F	数値計算法	23
5F	シミュレーションと最適化	23
4G	設計自動化	23
5G	FPGA と組み込みシステム	23
6G	計算機システム構成法	23
5U	OS 構成法(1) (学生セッション)	23
6U	OS 構成法(2) (学生セッション)	24
3Z	数値計算 (学生セッション)	24
5Z	性能チューニング (学生セッション)	24
3ZA	投機処理と分岐予測 (学生セッション)	24
3ZB	並列分散システム (学生セッション)	24
	デモセッション	24

(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

2C	モデル化とシミュレーション	24
3C	アルゴリズム	24
4C	モデルとアルゴリズム	25
5C	開発管理(1)	25
6C	開発管理(2)	25
1Y	モデル化と評価 (学生セッション)	25
2Y	アルゴリズムと暗号 (学生セッション)	25
3Y	プログラミング言語と実装 (学生セッション)	25
4Y	プログラミング方法論 (学生セッション)	25
5Y	最適化アルゴリズム (学生セッション)	25
6Y	再利用とプログラム合成 (学生セッション)	25
1Z	UML とその拡張 (学生セッション)	26
2Z	ソフトウェア設計支援 (学生セッション)	26
4Z	ソフトウェア開発環境 (学生セッション)	26

(第2分冊 人工知能と認知科学)

1B	対話処理、機械翻訳	27
5B	意味文脈解析、談話理解と要約	27
4D	音楽情報科学	27
2F	音声言語情報処理	27
1G	画像処理	27
2G	視覚・画像処理	27
3G	3次元・モザイク	27
5H	人物・文字認識	27
1J	ファジィ・ニューラルネット	27
2J	文書検索・分類	28
3J	知識表現・推論	28
3K	遺伝的アルゴリズム・学習	28
2M	意味文脈解析 (学生セッション)	28
3M	文解析・生成、用語抽出 (学生セッション)	28
4M	談話理解、文章要約 (学生セッション)	28
6M	対話 (学生セッション)	28
1P	音楽信号処理と音楽システム (学生セッション)	28
2P	楽音合成・音楽生成 (学生セッション)	28
4P	ニューラルネットワーク (学生セッション)	29
1Q	学習(1) (学生セッション)	29
2Q	学習(2) (学生セッション)	29
2R	画像応用システム (学生セッション)	29
3R	画像領域抽出および応用 (学生セッション)	29
4R	画像処理一般 (学生セッション)	29
5R	シミュレーションとゲーム (学生セッション)	29
1S	知能メカニズムと応用システム (学生セッション)	29
2S	マルチエージェント (学生セッション)	30
3S	画像認識 (学生セッション)	30
4S	人工生命・人工社会 (学生セッション)	30

5S	コンピュータ・グラフィクス (学生セッション)	30
6S	3次元画像処理 (学生セッション)	30
1X	遺伝的アルゴリズム(1) (学生セッション)	30
2X	遺伝的アルゴリズム(2) (学生セッション)	30
3X	音声対話システム (学生セッション)	30
4X	音声応用システム (学生セッション)	30
4ZB	エージェントモデル (学生セッション)	31
	デモセッション	31

(第3分冊 データベースとメディア)

1E	XML・情報システム	32
2E	モバイル環境における情報発信・情報抽出	32
3E	テキスト間の関係抽出と分類	32
4E	画像検索、マルチメディアデータベース	32
5E	ユーザ情報を用いた情報検索	32
6E	データマイニング、テキストマイニング	32
5M	XML、問合せ作成支援 (学生セッション)	32
3N	画像の検索、可視化 (学生セッション)	32
1U	動画情報のアノテーション (学生セッション)	32
2U	地図情報、位置情報 (学生セッション)	33
3U	ユーザモデルを用いた検索 (学生セッション)	33
4U	知識抽出 (学生セッション)	33
1ZA	情報検索理論 (学生セッション)	33
2ZA	オントロジー、クラスタリング (学生セッション)	33
4ZA	Web ページの収集・分類 (学生セッション)	33
5ZA	情報検索アプリケーション (学生セッション)	33
	デモセッション	33

(第3分冊 ネットワーク)

3D	ネットワーク・セキュリティ	33
5D	不正アクセス対策	34
6D	暗号・認証	34
1H	モバイル応用技術	34
2H	モバイルプロトコル	34
3H	ユビキタスセンサー技術	34
4H	Grid	34
6H	ネットワークプロトコル	34
4J	分散システム運用	34
5J	ネットワーク家電	35
6J	ユビキタスアプリケーション	35
4K	P2P	35
5K	メディア配信	35
6K	ネットワークアプリケーション	35
1R	マルチメディア符号化 (学生セッション)	35
1V	無線ネットワーク (学生セッション)	35
2V	グリッドコンピューティング (学生セッション)	35
3V	位置情報サービス (学生セッション)	36
4V	歩行者ナビゲーション (学生セッション)	36
5V	エージェント (学生セッション)	36
6V	アドホックネットワーク (学生セッション)	36
1W	ユビキタス (学生セッション)	36
2W	Web アプリケーション (学生セッション)	36
3W	TCP/IP (学生セッション)	36
4W	QoS (学生セッション)	37
5W	P2P (学生セッション)	37
6W	ネットワーク応用 (学生セッション)	37
5X	暗号・認証 (学生セッション)	37
6X	不正アクセス対策 (学生セッション)	37
6Z	マルチメディア通信 (学生セッション)	37
	デモセッション	37

(第4分冊 インタフェース)

3A	グループウェア	38
4A	Web グループウェア	38
5A	形状モデリング	38
6A	アニメーション	38
3B	ヒューマンインタフェース	38
4B	コミュニケーション支援	38
6B	仮想現実と実世界指向	38
5N	シミュレーションとモデル化 (学生セッション)	38
6N	シミュレーションと可視化 (学生セッション)	39
3P	CG 応用システム (学生セッション)	39
5P	グループウェア (学生セッション)	39
3Q	文書処理とインタフェース (学生セッション)	39
4Q	インタラクティブ支援 (学生セッション)	39
5Q	仮想現実とユビキタス (学生セッション)	39
6Q	Web モバイルグループウェア (学生セッション)	39
6R	レンダリング技術 (学生セッション)	40
6ZA	生体計測とインタフェース (学生セッション)	40
	デモセッション	40

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

1A	情報教育の現状と将来	40
2A	教師支援システム	40
2B	学習支援システム (1)	40
1D	教育効果・評価	40
2D	情報・計算機システムの学習	40
1L	新しい情報技術の活用	40
2L	医療情報	41
3L	企業経営と情報システム	41
4L	情報システムの分析・設計・構築	41
5L	電子商取引と暗号技術の応用	41
6L	情報と社会	41
1T	遠隔教育 (学生セッション)	41
2T	履習支援システム (学生セッション)	41
3T	学習支援システム (2) (学生セッション)	41
4T	教材開発支援 (学生セッション)	42
5T	計算機システムの学習 (学生セッション)	42
6T	講義支援 (学生セッション)	42
1ZB	電子商取引 (学生セッション)	42
2ZB	情報システムの分析・構築 (学生セッション)	42
5ZB	情報と社会 (学生セッション)	42
6ZB	位置情報システム (学生セッション)	42
	デモセッション	42

特別トラック

(第5分冊 特別トラック(1)ユビキタスコンピューティング
- 都市と、家庭と、自動車内と -)

2T1B	コミュニケーションとインタフェース	44
3T1B	モバイルアプリケーション	44
5T1B	モバイルエージェント	44
	デモセッション	44

(第5分冊 特別トラック(2)IPv6を基盤とした
インターネットの新展開)

3T9	ピアツーピア通信	44
4T9	IPv6 基盤技術	44
5T9	IPv6 モバイル技術	44
6T9	IPv6 アプリケーション	44

(第5分冊 特別トラック(3)セマンティックWEBと
WEB サービス)

2T3B	e-learning	44
3T3B	オントロジーと知識管理	44
5T3B	セマンティックWEBの基礎と応用	45

(第5分冊 特別トラック(4)ウェアラブルコンピューティング)

2T4B	映像利用	45
3T4B	デバイスとマーカー	45
5T4B	応用	45

(第5分冊 特別トラック(5)マイニングとサーチング
- 情報洪水時代における情報発掘と情報検索 -)

1T5B	Web 検索とWeb マイニング	45
3T5B	マイニング応用	45
5T5B	マルチメディア検索と表示	45

(第5分冊 特別トラック(6)言語バリアフリー技術)

3T5A	手話・障害者支援	45
1T6	字幕・要約作成	45
2T6	機械翻訳と異文化間コミュニケーション	45
3T6	語学学習支援	46
5T6	多言語情報アクセス	46

(第5分冊 特別トラック(7)バーチャル・ヒューマン)

2T7A	VR 環境構築技術	46
3T7A	動作生成	46
4T7A	動作の計測・分析・格納	46
5T7A	顔表情と感情の表現	46
2T7B	対話エージェント	46
3T7B	実世界と言語使用	46
4T7B	バーチャル・ヒューマンシステム	47
5T7B	対話における音声処理	47

(第5分冊 特別トラック(8)デジタルコンテンツ制作とIT)

2T8A	コンテンツ制作技術	47
4T8A	コンテンツ制作システムと制作手法	47

(第5分冊 特別トラック(9)消費者のためのセキュリティ
- 技術開発と普及活動 -)

2T9	消費者のためのセキュリティ	47
-----	---------------	----

(第5分冊 特別トラック(10)e-Japanの進展)

5T10	電子政府ポータル	47
6T10	電子政府実現技術	47

第1分冊

(アーキテクチャ)

一般セッション [3F 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)

OS 構成法 座長 西尾 信彦(慶大)

- 1 プログラム実行速度調整による通信帯域制御
田端利宏, 乃村能成, 谷口秀夫(九大)
2 複数OSにおけるハードウェア資源の割当て方法
中島雄作, 田淵正樹, 榎本 圭(NTT データ),
乃村能成, 谷口秀夫(九大)
3 PC クラスタを用いたサーバーベースドコンピューティング方式の提案
渡辺英俊, 伊藤健一, 田中一男(NTT データ)
4 (取消)
5 64 ビット OS における大規模メモリ効果
馬重貴志, 高本良史, 大辻 彰, 中島隆夫(日立)
6 高可用化ミドルソフト HA Booster の開発
市川正也, 春名高明, 二瀬健太, 真矢 讓, 三瓶英智(日立)
7 カーネル拡張モジュール機能を用いた OS デバッグの実現
中村哲人, 畑崎恵介, 芹沢 一(日立)

一般セッション [4F 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)

数値計算法 座長 片桐 孝洋(電通大)

- 1 GMRES(m)法の変形版とその収束性について
佐藤洋平, 野寺 隆(慶大)
2 対角閾値を使った前処理付き GMRES 法
渡辺智敦, 野寺 隆(慶大)
3 (取消)
4 カオスモンテカルロ計算における変数精度の影響
月江伸弘, 松永俊雄(東京工科大)
5 ガウス型基底関数を用いた密度汎関数法における分子積分関与ルーチンの高速化
田原才静, 吉廣 保, 佐藤文俊(東大)
6 海洋大循環モデルの高速並列計算法
三村裕一, 田中幸夫,
津川元彦, 鈴木立郎(地球フロンティア研究システム)

一般セッション [5F 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

シミュレーションと最適化 座長 高橋 大介(筑波大)

- 1 タンパク質構造の修正処理:水素原子付加の問題
牟田 元, 吉廣 保, 佐藤文俊(東大)
2 ワークステーションクラスタを用いた放射線治療計画の高速化
- ビーム設計計算と通信評価実験 -
佐藤裕幸, 中川隆文, 東 誠一(三菱), 遠藤真広(放射線医学総研)
3 ProteinDF のための古典 MD エンジンの開発
恒川直樹, 上野哲也, 佐藤文俊(東大)
4 タンパク質全電子計算プログラム ProteinDF を基盤にした次世代量子化学
計算システムの開発計画
佐藤文俊, 上野哲哉, 田原才静, 恒川直樹,
牟田 元, 吉廣 保, 柏木 浩(東大),
稲葉 亨, 村松伸哉, 西川宜孝, 小池秀輝(アドバンスソフト)
5 Direct SCF 法と通常 SCF 法の速度比較に関する研究
大田原一成, 下川信祐(ATR), 寺前裕之(NTT)
6 C 言語 SM 差分ファイル自動生成による高級言語レベルパッチ作成システム
久保田賢治(NEC 通信システム)
7 PRIMEPOWER 向けコンパイラバックエンドの最適化方式
瀧康太郎, 中平直司, 原口正寿, 松山 学(富士通)

一般セッション [4G 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)

設計自動化 座長 大石 一幸(東芝)

- 1 オリジナル DSP の開発環境構築の事例研究
後閑 博, 山口啓太(三菱)
2 フレームワーク手法に基づく制御系シミュレーションの効率化
片岡正俊, 小林正幸, 池田英俊(三菱)
3 SystemC を用いた柔軟で高速な ISS モデルの提案
館 勇紀(静岡大)
4 フロアプラン CAD のための階層型マルチエージェントシステム
システムアーキテクチャ 須藤 重, 峰 正高,
鈴木康弘(富士通キャドテック), 六本木陵, 武田有志, 大津金光,
横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大), 中村義彦(富士通キャドテック)

5 フロアプラン CAD のための階層型マルチエージェントシステム
エージェントの動作機構

六本木陵, 武田有志, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大),
中村義彦, 須藤 重, 峰 正高, 鈴木康弘(富士通キャドテック)

6 O-Tree を用いたレクトリニア多角形パッキングアルゴリズム

高橋俊彦, 西片健也(新潟大),
高橋勇祐(日立マイクロソフトウェアシステムズ)

一般セッション [5G 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

FPGA と組み込みシステム 座長 工藤 知宏(産総研)

- 1 画像処理用プラットフォーム RASH-IP(1)- ハードウェア構成
浅見廣愛, 山岸 陽, 今井照久, 滝本哲也,
天野一彦, 中川雅博, 佐藤裕幸(三菱)
2 画像処理用プラットフォーム RASH-IP(2)- 画像処理の手法
今井照久, 滝本哲也, 浅見廣愛, 山岸 陽,
天野一彦, 中川雅博, 佐藤裕幸(三菱)
3 暗号処理ボード SEBSW-2 用制御ソフトウェアの設計と性能評価
梶崎浩嗣, 黒川恭一(防衛大)
4 組み込み機器における最適な IPsec 実装方式の検討
海老名明弘, 水谷美加, 永井 靖(日立)
5 IPsec のハードウェア実装方式の提案
永井 靖, 鈴木誠人, 海老名明弘(日立)
6 組み込みプロセッサ向け性能向上手法のディスカレイへの適用
八木沢育哉, 松並直人, 西本 哲, 小川純司(日立)
7 コンテキストウェアアプリケーションにおける文脈自由言語による
コンテキスト記述
中西恒夫, 久住憲嗣, 北須賀輝明, 福田 晃(九大)

一般セッション [6G 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)

計算機システム構成法 座長 笠原 博徳(早大)

- 1 YAWARA: メタレベル計算原理に基づく柔構造計算機システム
概要 馬場敬信, 横田隆史, 大津金光(宇都宮大)
2 YAWARA: メタレベル計算原理に基づく柔構造計算機システム
ハードウェア構成 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信(宇都宮大)
3 YAWARA: メタレベル計算原理に基づく柔構造計算機システム
ソフトウェア構成 大津金光, 斎藤盛幸, 高濱健吾,
横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
4 動的最適化のための CPU マイニングの試み
横田隆史, 須賀弘一, 大津金光, 馬場敬信(宇都宮大)
5 並列処理教育用 PC クラスタの構築 山崎勝弘, 三浦晋大(立命館大)
6 SMP クラスタ向け分散共有メモリシステム SMS2 - 設計と実装 -
菊池康祐, 緑川博子, 飯塚 肇(成蹊大)
7 分散共有メモリ SMS における分散割付 API 使用時の性能評価
片野真吾, 緑川博子, 飯塚 肇(成蹊大)

学生セッション [5U 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

OS 構成法 (1) 座長 並木美太郎(農工大)

- 1 マルチメディアアプリケーションに適した仮想記憶管理手法
五條多紀子, 瀧本栄二(立命館大),
芝 公仁(龍谷大), 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
2 ストリーミングサーバ向き通信機構の設計と実装
清水雅純, 勝部弘嗣, 御田村晃, 瀧本栄二,
毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
3 多様な接続形態を実現するスタック可能なデバイスアクセス機構
姜 亨明, 小林良岳, 紅谷 順, 中山 健, 前川 守(電通大)
4 データ構造の変化に対応するモジュール差し替え機構
紅谷 順, 小林良岳, 姜 亨明, 中山 健, 前川 守(電通大)
5 アプリケーションのレスポンス時間を用いた PC の性能評価
堀井 洋(早大)
6 Linux システムの解析を可能とする命令トレーサ:TURUNG の開発
内藤義郎, 小宮山彰一郎, 吉澤康文(農工大)
7 命令トレーサ:TURUNG を用いた WWW サーバの性能分析
小宮山彰一郎, 内藤義郎, 吉澤康文(農工大)

学生セッション [6U 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
OS 構成法 (2) 座長 石川 裕(東大)

- 1 連続メディア配信システム:S³におけるメモリ管理機構の開発
浅見和男, 帆波幸二, 高野了成, 吉澤康文(農工大)
- 2 連続メディア配信システム:S³におけるディスクスケジューリング方式
帆波幸二, 浅見和男, 高野了成, 吉澤康文(農工大)
- 3 仮想マシンを用いた組み込みオペレーティングシステムのデバッグ環境の開発
吉田幸二, 山本茂樹, 早川栄一(拓大)
- 4 小規模ネットワーク環境におけるサーバのマシン間移動機構の設計と実装
中村禎宏, 安田絹子, 多田好克(電通大)
- 5 マルチメディア処理に適したリアルタイムファイルシステム
荒川智史, 勝部弘嗣, 御田村晃,
瀧本英二, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
- 6 アドホック分散システムのための資源管理手法
藤田耕作, 瀧本栄二, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
- 7 分散オペレーティングシステム AG における通信機構の設計と実装
西村昌俊, 瀧本栄二, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)

学生セッション [3Z 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
数値計算 座長 野寺 隆(慶大)

- 1 高速 Fourier 変換を用いた多倍長乗算器の構成法とハードウェア実装法の検討
矢崎俊志, 阿部公輝(電通大)
- 2 ニューラルネットワーク残差最小化法によるポアソン方程式系の解法
関根暁史(茨城大)
- 3 モンテカルロシミュレーションにおけるルジャンドル多項式重み付サンプリング
宮崎洋平, 鈴木卓真, 堀江育也,
三橋龍一, 北守一隆(北海道工大)
- 4 FDTD 法による電磁界解析の並列化
黒澤昌敏, 埴 敏博(東京工科大)
- 5 微分方程式の境界値問題の精度保証付き数値計算における丸め誤差
金井章浩, 久保田光一(中大)
- 6 適応的に k を決定する ML(k)BiCGStab 法
五条方昇, 野寺 隆(慶大)
- 7 不完全 QR-GMRES(k)法による線形最小二乗問題の解法
伊藤徳史(東大), 速水 謙(国立情報学研)

学生セッション [5Z 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
性能チューニング 座長 妹尾 義樹(NEC)

- 1 高速自動微分に向けたポインタを含むプログラムの遊行手続き
井上盛宏, 久保田光一(中大)
- 2 高速自動微分用記憶領域削減法
片岡幹雄, 久保田光一(中大)
- 3 数値情報システムの評価と改良
千葉洋輔, 久保田光一(中大)
- 4 発行・購読 モデルを用いたシミュレーション環境の構築
井部雅章, Xavier Defago, 小長谷明彦(北陸先端大)
- 5 MPI プログラムの簡易実行による実行時間予測
岩淵寿寛, 堀井 洋, 山名早人(早大)
- 6 一時的プロファイルによるホットパス検出法の精度とオーバーヘッドの検討
加藤文彦, 野中雄一, 青木政人,
大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 7 プロファイルを利用した DSM プログラムのパフォーマンスチューニング
堀内律之, 吉川克哉, 城田祐介,
吉瀬謙二, 本多弘樹, 弓場敏嗣(電通大)

学生セッション [3ZA 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
投機処理と分岐予測 座長 安里 彰(富士通研)

- 1 バイナリ変換による投機的マルチスレッド化方式の検討
横田昌之, 安瀬隆弘, 佐藤智一, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 2 投機的にコヒーレンス制御を行う DSM システムの性能評価
鈴木圭介, 多田野陽介, 乗貞由華, 古川文人,
大津金光, 横田隆史, 馬場敬信(宇都宮大)
- 3 投機的なハードウェア処理を行うシステムの SpecC による性能評価
高済健吾, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信(宇都宮大)
- 4 投機的実行による難並列化ループの高速化
石川隼輔, 山名早人(早大)

5 分岐命令実行回数に着目した投機的実行支援情報収集機構の設計と FPGA への実装
蛭田智則, 山名早人(早大),
佐谷野健二, 小池汎平(産総研)

- 6 データ依存命令を対象としたデータ値予測
仲沢由香里, 山名早人(早大)
- 7 投機的データプリフェッチを用いたキャッシュ効率化の考察
本田 大, 山名早人(早大)

学生セッション [3ZB 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 12:10)
並列分散システム 座長 西 直樹(NEC)

- 1 マルチクラスタ用ソフトウェア分散共有メモリの提案
吉川克哉, 城田祐介, 吉瀬謙二, 本多弘樹, 弓場敏嗣(電通大)
- 2 (取消)
- 3 分散メモリシステム上での粗粒度並列処理における投機的なプリロード
那須弘志, 本多弘樹, 弓場敏嗣(電通大)
- 4 javar へのループ自動並列化機能の実装
神原公仁, 黒川恭一, 岩井啓輔(防衛大)
- 5 FPGA における非同同期式設計と評価 佐々木明彦, 阿部公輝(電通大)
- 6 マルチプロセッサ型交通シミュレータの同期化手法
五十嵐智也, 中村俊一郎(日本工大), 宮西洋太郎(はこだて未来大),
吉田幸二(倉敷芸科大), 齋藤成一(三菱)
- 7 ベイズ更新を用いたユーザモデルに基づく並列分散画像配信システムの開発
中島朋紀, 池田哲男, 津村徳道, 三宅洋一(千葉大)
- 8 グリッド環境を対象としたログベース・フォールトトレランス手法の提案
服部晃和, 横田隆史, 大津金光, 古川文人, 馬場敬信(宇都宮大)

デモセッション [デモ会場]
デ 13 (3月26日(水))

組み込み Java™ の内部状態の監視機能の実装
井奥 章, 森本義章, 中野正樹, 鈴木貴之, 里山元章(日立)

デ 16 (3月26日(水))
JVMPi を利用した Java 仮想機械の内部状態監視及びメソッド実行監視方法の実装 森本義章, 土井宏治, 川崎進一郎, 里山元章(日立)

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [2C 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 16:55)
モデル化とシミュレーション 座長 上野 修一(東工大)

- 1 A Note on the Implementation of de Bruijn Networks by OTIS
尾形幸祐, 山田敏規, 上野修一(東工大)
- 2 (取消)
- 3 LIDAR データからの地表面標高モデル作成手法について
岡川正臣(パスコ GIS 総研)
- 4 粗視化ニュートン法における探索点の統計的動作
吉澤大樹(早大), 坂野 鋭(NTT データ), 橋本周司(早大)
- 5 生態系における局所的共存の格子モデリング
中桐育之, 吉村 仁(静岡大)

一般セッション [3C 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
アルゴリズム 座長 山口 一章(神戸大)

- 1 総頂点間経路長を最小にする完全 K 分木の深さ同一頂点の代表隣接化
澤田 清(流通科学大)
- 2 頂点がラベルをもつグラフの描画アルゴリズム
阿部 昇, 増田澄男, 山口一章(神戸大)
- 3 Explicit Construction of Optimal Fault-Tolerant Linear Arrays
山田敏規, 上野修一(東工大)
- 4 A Note on the Complexity of Scheduling for Precedence Constrained Messages in Distributed Systems
合田浩二, 山田敏規, 上野修一(東工大)
- 5 Balanced C7-Bowtie Decomposition Algorithm of Complete Graphs
潮 和彦, 藤本英昭(近畿大)
- 6 Balanced C7-Trefoil Decomposition Algorithm of Complete Graphs
藤本英昭, 潮 和彦(近畿大)
- 7 (取消)

一般セッション [4C 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)

モデルとアルゴリズム 座長 佐藤 文俊(東大)

- 1 協調型言語による並列プロセスの時相論理に基づくモデル検証
大塚 寛(愛媛大)
- 2 ばば抜きを例題とした仕様追従性の分析
伊藤貴子, 門田洋太郎, 松原良洋, 佐藤匡正(島根大)
- 3 アジャイルなソフトウェア開発手法の一提案
田尻真英, 嘉藤直宏, 麻生 隆, 天野敏文,
大橋宏之(富士通コミュニケーション・システムズ)
- 4 QCLO 法の並列処理・タンパク質の全電子自動計算のために
上野哲哉, 吉廣 保(東大), 住田豊洲(富士通九州), 柏木 浩(九工大),
村松伸哉, 西川宜孝(アドバンスソフト), 佐藤文俊(東大)
- 5 密度汎関数法プログラム ProteinDF の並列化
-大規模クラスタでの分散並列処理を目指した改良-
吉廣 保, 上野哲哉(東大),
稲葉 亨(アドバンスソフト), 柏木 浩, 佐藤文俊(東大)
- 6 パラメータ付き OL システムプログラミング言語の仕様と実装
西田泰伸(富山県大)

一般セッション [5C 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

開発管理 (1) 座長 玉井 哲雄(東大)

- 1 コラボレーション図を用いてデータの経路を辿る事によるソフトウェア仕様
変更影響追跡方法の検討
服部孝俊(NTT), 山本修一郎(NTT データ), 伊集院正(NTT)
- 2 ソースコード埋め込み型カバレッジツールについて
桐井隆志, 三好辰弥, 岸上 諭, 大里立夫, 曾根原勝(日立)
- 3 eXtreme Programming(XP)の適用に関する考察
岡部隆男, 森田真理(日立),
大山志郎(日立東北ソフトウェア), 齋藤 浩, 石川貞裕(日立)
- 4 GA の利用によるプロジェクト管理支援システムの研究開発
原田将来, 野田寛之, 齋藤 匠, 古谷慶太(芝浦工大),
八重樫理人(埼玉大), 古宮誠一(芝浦工大)
- 5 インタビューによるソフトウェア要求抽出作業を誘導するシステムの研究
木下大輔, 河野優希, 川野芳彦, 関澤隆幸(芝浦工大),
八重樫理人(埼玉大), 古宮誠一(芝浦工大)
- 6 ISO15408 評価・認証支援を目的とした設計情報管理システムの開発
内田吉宣, 平井千秋, 藤波武起, 栗田 博(日立)
- 7 データ連携 Web 画面作成ライブラリーの開発
寺岡照彦, 大崎雅代(三菱)

一般セッション [6C 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)

開発管理 (2) 座長 大木 幹雄(日本工大)

- 1 プログラム品質検証ツールの運用考察
中泉雅行, 田部美智昭, 玉本 亮(NEC 通信システム)
- 2 UML をベースにした GUI 動作テストにおけるテストケースの再利用について
相葉哲也, 小川浩司, 鈴木寿郎, 五味 弘(沖ソフトウェア)
- 3 複数サービス連携におけるテスト手法について
深澤広明, 堀川桂太郎, 小村誠一(NTT)
- 4 UML におけるダイアグラム作成支援のための変換規則の提案
片山徹郎, 田川伸次郎(宮崎大)
- 5 Web コンピューティングシステムにおけるフレームワーク開発と適用事例
五十嵐政志, 土屋 隆, 吉村礼子, 原田雅史(三菱)
- 6 高トラフィックを想定した Web アプリケーションにおけるレスポンス性能
向上のためのアプローチ 宮本啓生, 鶴飼ひろみ, 平澤茂樹(日立)
- 7 ネットワーク接続可能な組込みシステムにおける性能評価の効率化手法の
提案 河村 透, 平山雅之, 植木克彦(東芝)

学生セッション [1Y 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)

モデル化と評価 座長 岡川 正臣(パスコ GIS 総研)

- 1 振幅制限を受けた任意不規則変動波形に関する一信号処理法
江田卓永, 南原英生(岡山理大)
- 2 実世界のサッカー戦術を取り入れたロボカップチームの設計と評価
佐藤友彦, 安田絹子, 多田好克(電通大)
- 3 意味に基づいた Java プログラムの分類手法
渡辺義大, 武田正之(東理大)

4 -domination 戦略による非劣解集合からの解候補の抽出法

金 美和, 廣安知之, 三木光範, 渡邊真也, 奥田 環(同志社大)

5 分子系統樹構成法に関する最新技術動向 益子理絵, 山名早人(早大)
学生セッション [2Y 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)

アルゴリズムと暗号 座長 澤田 清(流通科学大)

- 1 多ノード間ファイル同期アルゴリズムの設計と実装
星野 喬, 田浦健次朗, 近山 隆(東大)
- 2 マルチパスワードのランダム問かけによる本人認証方式の研究
高橋一生, 藤澤公也(東京工科大)
- 3 ID 情報を基にしたメッセージ変更可能な多重署名について
間宮英世, 黒川恭一, 岩井啓輔(防衛大)
- 4 ピース間の配置制約を考慮した平面ポリオミノ箱詰め問題の解法
永田善隆, 村井保之, 辻 裕之, 徳増真司(神奈川工科大)
- 5 (取消)
- 6 木に対するオンラインランキングアルゴリズム 永戸 真(新潟大)

学生セッション [3Y 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)

プログラミング言語と実装 座長 田浦健次朗(東大)

- 1 A Fault Tolerant Task Scheduler supporting Dynamic Task Creation
鄭 思源, 近山 隆, 田浦健次朗(東大)
- 2 逐次プログラムの半自動並列化
早津政和, 田浦健次朗, 近山 隆(東大)
- 3 GridRPC 環境におけるサーバスタブ SHIPPING 機構
渡邊啓正, 本多弘樹, 弓場敏嗣(電通大), 田中良夫(産総研)
- 4 決定木を用いた効果的なメソッド配分器のメタレベルでの実装
池田博之, 檜崎修二(長崎大), 吉田紀彦(埼玉大)
- 5 Ruby による JavaVM の実装 笹田耕一, 並木美太郎(農工大)
- 6 コンテキスト指向例外処理における例外条件検出
山下俊之, 中西恒夫, 福田 晃(九大)
- 7 ネイティブコード安全性を保证するコード照合器付き ECC Scheme システム
乗本英介, 伊藤貴康(東北大)

学生セッション [4Y 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)

プログラミング方法論 座長 山本修一郎(NTT データ)

- 1 A Programming Environment for the Separation Principle
川野 茂, 神林 靖(日本工大)
- 2 振る舞いのルール化によるデザインパターン間の関連抽出
高橋克暢, 丸山勝久(立命館大)
- 3 差分に関する条件を用いたリファクタリング操作の検証
柿本旭彦, 丸山勝久(立命館大)
- 4 シーケンス図を用いたリファクタリング候補の発見
安達高志, 丸山勝久(立命館大)
- 5 メソッドと変数間結合力の可視化によるリファクタリング支援
長谷川智和, 澤田敬太, 大木幹雄(日本工大)
- 6 (取消)

学生セッション [5Y 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

最適化アルゴリズム 座長 潮 和彦(近畿大)

- 1 多地点経由道路案内システムにおける 2 点間道路探索アルゴリズムの検討
村田勇人, 松井伊保里, 長名優子, 松永俊雄(東京工科大)
- 2 (取消)
- 3 略地図描画方法の研究 伊藤雄太郎, 久保田光一(中大)
- 4 (取消)
- 5 連続最適化問題における近傍並列シミュレーテッドアニーリング
三木光範, 廣安知之, 及川雅隆(同志社大)
- 6 適応的温度調節機能を持つ温度並列シミュレーテッドアニーリング
三木光範, 廣安知之, 輪湖純也, 吉田武史(同志社大)
- 7 膜計算アルゴリズムの提案と巡回セールスマン問題への応用
高岡章一郎, 西田泰伸(富山県大)

学生セッション [6Y 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:30)

再利用とプログラム合成 座長 岸 知二(NEC)

- 1 ADL とエージェントを用いたコンポーネント再利用手法の提案
齋藤 晃, 黒瀬誠人, 木村 耕(電通大)
- 2 ワークフローを用いた異種分散コンポーネントの結合に関する研究
日比洋介, 高田真吾, 土居範久(慶大)

- 3 端末資源情報に基づくコンポーネント選択手法
谷沢智史, 中川晋吾(静岡大),
金指文明(カラビナシステムズ), 富樫 敦(静岡大)
- 4 柔軟な接続を実現するコンポーネントモデルの提案
星 大樹, 鷲崎弘宜, 深澤良彰(早大)
- 5 リアクティブ・オートマトンを用いたソフトウェア設計
伊藤聡司(武蔵工大), 松本吉弘(シュツットガルト大)
- 6 端末間通信可能な J2ME アプリケーションプログラムのペトリネット
動作仕様からの自動導出
坂上弘祐, 森 一夫, 岡野浩三, 谷口健一(阪大)

学生セッション [1Z 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)

UML とその拡張 座長 五味 弘(沖ソフトウェア)

- 1 XMI を用いたオブジェクト指向設計モデル測定システムの構築
北野貴稔, 野中 誠, 東 基衛(早大)
- 2 新しい要求定義に対する UML を用いたサポート
中西啓之, 三浦孝夫(法大)
- 3 オブジェクト指向による製品開発プロセスの提案
井上大佑, 安井浩之, 松山 実(武蔵工大)
- 4 Java のための分散システム記述用チャートに関する研究(1)
丸山和輝, 大原茂之(東海大)
- 5 Java のための分散システム記述用チャートに関する研究(2)
梅澤昌志, 大原茂之(東海大)

学生セッション [2Z 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)

ソフトウェア設計支援 座長 植木 克彦(東芝)

- 1 組み込みシステム開発用多機能 behavior モデラーの開発(第一報)
~ Statecharts, シナリオ及び機能モデルの連携による組み込みシステムの
挙動仕様記述手法の研究 ~ 漆原映彦, 金井 理, 岸浪建史(北大)
- 2 Lyee 開発手法を用いた要求仕様分析に関する研究
浦賀宏治, 藤田ハミド(岩手県大)
- 3 ソフトウェア開発におけるの用語の木の作成について
小川 清(名古屋市工業研),
潘 建華, 後田直樹, 伊藤正弘, 吉川直邦(大同工大)
- 4 実行移送機能のあるトランスレータの性能改善
小林正史, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 5 手戻り制御とプロセスの動的生成を可能にした作業管理ツール
安恒寛則, 高木陽平, 大木幹雄(日本工大)
- 6 GUI 部品の間関係を反映した GUI 構築支援に関する研究
鈴木秋生(芝浦工大)

学生セッション [4Z 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 16:50)

ソフトウェア開発環境 座長 平井 千秋(日立)

- 1 JAVA リモート開発環境に関する研究 酒井豊大, 大原茂之(東海大)
- 2 Java における開発者間コミュニケーション支援ツールとしてのソースコード
表現方式の提案 外山雄一, 越田一郎(東京工科大)
- 3 (取消)
- 4 XForms 形式の画面仕様書を用いた対話型ソフトウェアの機能規模測定
- 測定技法の詳細化及び測定支援システムの開発 -
李 臻, 野中 誠, 角頼章広, 東 基衛(早大)

第2分冊 (人工知能と認知科学)

一般セッション [1B 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:20)

対話処理, 機械翻訳 座長 田中 英輝(ATR)

- 日本語音声対話文の統計的係り受け解析とその評価
大野誠真, 松原茂樹, 河口信夫, 稲垣康善(名大)
- 情報量に基づく帰納的学習による音声対話処理手法の有効性について
木村泰知, 荒木健治(北大), 橋内香次(北海学園大)
- (取消)
- 自律的語彙拡充を行う機械翻訳システム
神山淑朗, 伊藤晴美(日本IBM)

一般セッション [5B 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:30)

意味文脈解析, 談話理解と要約 座長 島津 明(北陸先端大)

- 若者語処理方法の未知語獲得システムへの適用
原田俊信, 亀田弘之, 剣持直子(東京工科大)
- 印象に基づく楽曲検索のための自然言語インタフェースの設計と実装
熊本忠彦, 太田公子(通信総研)
- 形態素解析を用いた主題・焦点抽出システム
廣町 潤, 横山晶一, 西原典孝(山形大)
- テキストデータの自動抽象化に関する研究 石塚隆男(亜細亜大)
- Web 新聞記事の携帯端末表示のための自動要約
大森岳史, 増田英孝(電機大), 中川裕志(東大)
- 帰納的学習を用いた電子メールにおける Subject の自動生成手法の提案
康 錦紅, 荒木健治(北大), 橋内香次(北海学園大)

一般セッション [4D 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 16:30)

音楽情報科学 座長 片寄 晴弘(関西学院大)

- 進化的計算手法を用いた変奏曲作成支援 ~ ニッチの概念の導入 ~
藤井公司, 高橋貞夫(芝浦工大)
- Max/MSP と Kyma と LabVIEW による音響処理について
長嶋洋一(静岡文化芸術大)
- SVM を利用した音楽情報検索手法の検討
帆足啓一郎, 井ノ上直己(KDDI 研)

一般セッション [2F 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:35)

音声言語情報処理 座長 大川 茂樹(千葉工大)

- EPG 番組情報検索向け音声インタフェースにおける認識語彙選択手法の検討
井上 剛, 西崎 誠, 小沼知浩, 桑野裕康, 脇田由実(松下電器)
- 映像コンテンツのインデクシングのための音声・言語処理
林 良彦, 松尾義博, 大附克年, 池田成宏, 松永昭一,
林 実, 水野 理, 別所克人, 長谷川隆明(NTT)
- MMI 記述言語 XISL の W3C-MMI フレームワークへの対応について
中島将宏, 中村有作, 桂田浩一, 山田博文, 新田恒雄(豊橋技科大)
- 音声対話による Web フォーム入力システム: FormsTalk
辻野克彦, Rich Charles(三菱)
- 音声対話エージェントによる生駒市コミュニティセンターの案内システム
西村竜一, 西原洋平, 鶴身玲典, 李 晃伸,
猿渡 洋, 鹿野清宏(奈良先端大)
- F₀ 分析による日本人話者の英語発音と英語母語話者の音声の特徴
小張敬之(青学大), 篠永将和, 板橋秀一(筑波大)
- 無発声ないし微弱発声音声認識への活用を目的とした表面筋電波形の調査
永井秀利, 竹下 舞, 中村貞吾, 野村浩郷(九工大)

一般セッション [1G 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)

画像処理 座長 中原 智治(松下電工)

- MRI 脳画像における頭蓋内領域抽出法の検討
黒川圭二, 西田 眞, 苗村育郎(秋田大)
- 色彩情報を用いたファジィ推論による時系列顔画像からの口唇抽出に関する検討
白澤洋一, 西田 眞(秋田大), 栗栖怜史(アルファシステムズ)
- 音声と発話に伴う口唇の動き特徴を用いた話者認識に関する検討
佐藤慶幸, 西田 眞(秋田大), 西 健治(アルファシステムズ)
- 超2次元関数による土器の検索システム 山口宗彦(芝浦工大),
安達文夫(国立歴史民俗博物館), 徳永幸生(芝浦工大)

5 Octree Quantization を用いた高速な画像領域分割手法

田中昭二, 田中 聡(三菱)

6 (6L セッションへ移動)

一般セッション [2G 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)

視覚・画像処理 座長 杉山 岳弘(静岡大)

- 視覚情報量の数理理論的考察 小林富士男, 尾関孝史(福山大)
- デジタルカメラによる織物表面色彩情報の取得と評価
尾崎敬二(国際基督教大)
- 色覚バリアフリーのための Web ページ色補正
Web-Page Color Modification for Barrier-Free Color Vision
市川 学, 田中 清(信州大), 近藤昭治(関東電子応用開発),
廣島康二, 市川一夫(社会保険中央病院), 田邊詔子, 深見嘉一郎(視覚研)
- 色彩定量化手法を用いた絵画の審美的印象度の抽出
黒田 勉, 山崎敏範, 松原行宏, 成行真由美(香川大)
- 代替視野画像を用いた町並み景観の注視行動とその特性
川合康央(文教大)
- 人工網膜 LSI を用いたカラー電子透かし読み取り方法
竹田昌弘, 鹿毛裕史, 田中健一(三菱)

一般セッション [3G 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)

3次元・モザイク 座長 千葉 直樹(三洋電機)

- 3次元点集合に基づく2次元線分制約付き建物モデル復元手法
石川裕治, 宮川 勲, 若林佳織, 有川知彦(NTT)
- 色情報の階層分割による領域分け手法を使った3D 画像演算
榑淵恭男(アンリツエンジニアリング), 木村 剛(アンリツ)
- パノラマカメラを使用したテレビ電話の自動画角調整システム
田口進也, 田中昭二, 田中 聡, 白井澄夫(三菱)
- 拡張型時空間画像投影法によるパノラマ画像制作
松葉靖寿, 徳永幸生(芝浦工大)
- 多重濃度共起行列を用いたシームレステクスチャ生成法とその限界
遠藤康正, 徳永幸生(芝浦工大)
- 下水処理施設用計測支援システムの開発
横山 大, 三小田健治, 小谷野浩明(日立プラント建設)
- M 推定を用いた三次元形状の咬合評価
加納政芳, 橋村恭治, 加藤昇平, 伊藤英則(名工大)

一般セッション [5H 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

人物・文字認識 座長 長尾 健司(松下技研)

- 手話動画の意味的特徴点による手話認識技法の考察
宮尾淳一, 藤原真里(広島大)
- グラフマッチングを利用した顔特徴部位の位置推定と追跡
大室 学, 森島繁生(成蹊大)
- 顔画像における複数の特徴量を用いた性別・年齢推定手法
和泉恭子, 伊賀亮達, 林 尚典, 深野元太郎, 大谷哲也(横河電機)
- 歩行者グループの追尾2色類似性尺度による追尾性能の比較
金吉雅人(三菱スペース・ソフトウェア)
- スナップ写真中の人物の同定, 表情認識, 表情変換
八島 隆, 高橋 悠, 森島繁生(成蹊大)
- 領域指定に対してロバストな帳票内文字列読取方式
関 峰伸, 池田尚司, 酒匂 裕(日立)

7 (取消)

一般セッション [1J 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)

ファジィ・ニューラルネット 座長 吉田 哲也(阪大)

- 障害物回避ファジィロボットの GP 並列化によるメンバーシップ関数
自動生成 村井保之(神奈川工科大), 松村幸輝(鳥取大),
巽 久行(筑波技術短大), 徳増真司(神奈川工科大)
- AHP とファジィ推論による意思決定
大隈千春, 森本義廣(熊本電波高専)
- 情動的意味パタン系の基礎系について(モンドリアンパタン系の基礎系として)
横田 誠(伝子工学研究会)
- GA・ニューラルネットワークによる水中分光反射率を用いた水中物質濃度の推定
雨森道紘(弘前大), 外崎道夫(三菱)

- 5 カオスニューラルネットワークを用いた類似画像検索
長名優子(東京工科大)
- 6 ニューラルネットによって構成された予測器による、適応的な画像圧縮
水田智史(弘前大)

一般セッション [2J 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
文書検索・分類 座長 市瀬龍太郎(国立情報学研)

- 1 マルチエージェントカレンダー情報共有を用いた論文投稿支援システム
磯村厚誌, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 2 研究支援システム Papis における分類システムを用いた論文収集の試作
長谷川友治, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 3 プログラミングヘルプシステムにおける複数ヘルプコンテンツ間の横断的検索機構について
藤巻伸洋, 永田雄大, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 4 動的ページへ適用可能なページ推薦技術の検討
渡邊拓也, 太田 学, 片山 薫, 石川 博(都立大)
- 5 DB2 の全文検索エンジンにおけるセレクトビリティの実装
山本 誠, 是津耕司(日本 IBM)
- 6 相対頻度を利用した不要語除去によるテキスト自動分類
吉田一星(日本 IBM)

一般セッション [3J 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
知識表現・推論 座長 高間 康史(都立科技大)

- 1 制約違反最小化戦略による室内レイアウト変更計画システム
作原宏美, 小野智司, 水野一徳, 福井幸男, 西原清一(筑波大)
- 2 (取消)
- 3 (取消)
- 4 Soar アーキテクチャにおける強化学習によるルール生成機構の実装
保知良暢, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 5 Ruby によるマルチエージェントシステム 岩附拓治(東京工科大)
- 6 不完全情報ゲームにおける並列ゲーム木探索
コンピュータブリッジの高速化 小田和友仁, 野島健一,
小林紀之, 上原貴夫(東京工科大)
- 7 コンピュータブリッジにおけるゲーム木探索と知識ベースの融合
小林紀之, 山下桂治, 上原貴夫(東京工科大)

一般セッション [3K 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
遺伝的アルゴリズム・学習 座長 狩野 均(筑波大)

- 1 知識に基づく遺伝的アルゴリズムを用いた対話型時間割編成システムの開発
坂元悠介, 狩野 均(筑波大)
- 2 配線経路選定問題に対する GA の評価関数の検討
飯田一弘, 高橋 勇, 黒岩文介, 小高知宏, 小倉久和(福井大)
- 3 遺伝的アルゴリズムにおける適応度予測を用いた交叉手法の一提案
武藤敦子, 中村剛士, 加藤昇平, 伊藤英則(名工大)
- 4 多種染色体 GA の人員配置問題への応用 伊藤 強(シーエーシー)
- 5 学会プログラム作成問題におけるハイブリッド遺伝的アルゴリズムの評価
森 靖之, 田中雅博(甲南大)
- 6 遺伝的プログラミングにおける学習過程について 荒関仁志(日大)
- 7 Baldwin 効果を考慮したクラシファイアシステム
井上 豊, 伊庭育志(東大)

学生セッション [2M 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 16:55)
意味文脈解析 座長 奥村 学(東工大)

- 1 言葉の意味に関する類似性判別能力における概念ベースとシソーラスとの性能比較
川島貴広, 石川 勉(拓大)
- 2 国語辞書からの常識知識の自動獲得法
佐々木智彦, 増子公徳, 野中昌行, 石川 勉(拓大)
- 3 自然言語文の意味理解における名詞のオブジェクト化について
松本浩二(帝京平成大)
- 4 慣用的に組み合わせられる助詞・用言句のパターン分析による名詞の意味情報抽出に関する研究
山澤美由起, 佐治伸郎, 稲葉陽子, 深谷昌弘(慶大)
- 5 必須格情報と名詞概念に基づく日本語におけるロバストなゼロ代名詞照応処理
松本芳樹, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)

学生セッション [3M 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)

- 文解析・生成, 用語抽出 座長 久光 徹(日立)
- 1 単語連鎖列書き換え規則を用いた形態素解析後処理とその有効性
佐々木尚人, 宮崎正弘(新潟大)
- 2 日本語文パーザにおける大域的制約を利用した構造的曖昧さの抑止機構
須田ひかる, 宮崎正弘(新潟大)
- 3 文脈自由文法の漸次的学習システム
吉岡 智, 松本雅史, 中村克彦(電機大)
- 4 大域的句型制約を組み込んだ英語文生成
安藤安明, 宮崎正弘(新潟大)
- 5 D-bigram を用いた形態素解析処理からの複合語抽出
倉田岳人, 岡崎直観, 石塚 満(東大)
- 6 大規模コーパスからの可変長 N 項コロケーション自動抽出
内村英彦, 森山 秀, 二村良彦(早大)
- 7 大規模コーパスの任意文字列に対する一般化文書頻度の計数
寺尾健一郎, 梅村恭司(豊橋技科大)

学生セッション [4M 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:10)

- 談話理解, 文章要約 座長 仲尾 由雄(富士通研)
- 1 場面同定システムの開発と談話理解
藤田明日香, 唐澤 博(山梨大)
- 2 一対一の対話事例をもとにした多人数対話の発話関係の推定
小磯拓也, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)
- 3 議論構造の可視化による理解把握支援
加藤 優, 松村真宏, 石塚 満(東大)
- 4 連想に基づく発話内容の自動生成 秋山直樹, 唐澤 博(山梨大)
- 5 アノテーション付き多文書データからの要約生成
綾 聡平(東大), 宮田高志, 橋田浩一(産総研), 石塚 満(東大)

学生セッション [6M 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)

- 対話 座長 酒井 桂一(キヤノン)
- 1 n グラムモデルと名詞カテゴリー情報を用いた事例ベース自由対話システム
関戸 強, 小谷善行, 乾 伸雄(農工大)
- 2 対話行動の人間対話からの学習 川野充宏, 唐澤 博(山梨大)
- 3 自然言語対話におけるユーモアを含んだ応答文の生成
香川茂樹, 唐澤 博(山梨大)
- 4 文中の語義の説明を行う対話的文書読み上げシステム
細野祥代, 長尾 確(名大)
- 5 自然言語による身振り動画像の動的意味付け
太田陽輔, 唐澤 博(山梨大)
- 6 対話型人工知能シミュレータ(IDES)の基本理論
遠藤智彦, 大熊昭広, 高田明典(尚美学園大)
- 7 対話型人工知能シミュレータ(IDES)の開発
筒井俊行, 鴻田 浩, 高田明典(尚美学園大)

学生セッション [1P 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)

- 音楽信号処理と音楽システム 座長 堀内 靖雄(千葉大)
- 1 音響的類似性に基づく楽器音の階層的クラスタリング
北原鉄朗(京大),
後藤真孝(科技団さきがけ研究21/産総研), 奥乃 博(京大)
- 2 音色類似度と定位類似度の統合による自動採譜
櫻庭洋平, 奥乃 博(京大)
- 3 教師なしクラスタリングと認識誤りパターンを利用した打楽器音の音源同定
吉井和佳, 北原鉄朗, 櫻庭洋平, 奥乃 博(京大)
- 4 音楽におけるアノテーションとそれに基づく検索・要約
梶 克彦, 長尾 確(名大)
- 5 複数のパートに分散したメロディを抽出するための一手法
芹澤裕子, 鈴木伸崇, 佐藤洋一郎, 早瀬道芳(岡山県立大)
- 6 メロディーデータベースにおけるインクリメンタル検索
高橋輝圭, 梅津信幸(茨城大)

学生セッション [2P 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 16:55)

- 楽音合成・音楽生成 座長 小坂 直敏(NTT)
- 1 旋律のベクトル表現を用いた事例ベースによる自動和声付け
松井祥峰, 池田 剛, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)

- 2 Web上の演奏データを利用した作曲支援システム
吉原一期, 近山 隆(東大)
- 3 統計的アプローチに基づく即興演奏補正
石田克久(東理大), 北原鉄朗(京大), 柳川貴央, 武田正之(東理大)
- 4 音楽聴取経験に基づく MIDI 音源による自動楽音合成
根岸孝行, 橋本周司(早大)
- 5 楽曲構造に基づくピアノ運指ルールの論理表現
林田教裕, 水谷哲也(筑波大)
- 学生セッション [4P 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
ニューラルネットワーク 座長 伊藤 英則(名工大)
- 1 時間割作成へのニューラルネットワークの応用
小菅智史, 設楽憲一, 上原貴夫(東京工科大)
- 2 忘却を用いたニューラルネットワークによるカオス時系列データ予測に関する研究
真部雄介, 藤田ハミド, 巴サビチャクラバルティ(岩手県大)
- 3 ニューラルネットワークによる時間割りの最適化
潮田壮登, 藤澤公也(東京工科大)
- 4 ニューラルネットワークを利用した論理型推論に関する密結合化手法の提案
加藤 傑(都立科技大), 武田有志(宇都宮大), 村越英樹(都立科技大)
- 5 任意構造神経回路網に基づく不完全知覚自律エージェントの行動決定
田澤和子, 長尾智晴(横浜国大)
- 6 GA, ニューラルネットを用いた株式売買支援システム
山口和孝, 坂井修一, 田中英彦(東大)
- 学生セッション [1Q 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)
学習 (1) 座長 大和田勇人(東理大)
- 1 自律移動ロボットにおける時系列情報の導入による知覚騙し問題の解決
菊池 司, 藤田ハミド, 羽倉 淳(岩手県大)
- 2 マルチエージェント強化学習に基づくエレベータ制御のための報酬分配機構について
新野賢央, 保知良暢, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 3 実機を用いた強化学習による行動獲得に関する研究
三橋秀行, 伊庭育志, 神尾正太郎(東大)
- 4 クラスタ分析を用いたエージェントの状態空間構成法
有福直也, 梶川嘉延, 野村康雄(関西大)
- 5 事例学習を用いたヒューマノイドロボットの椅子からの立ち上がり動作の実現
桑山清丈, 加藤昇平, 伊藤英則(名工大)
- 6 仮説推論を用いた適応的マニピュレーション
海村静也, 加藤清敬(東理大)
- 学生セッション [2Q 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
学習 (2) 座長 松平 正樹(沖電気)
- 1 レイアウト知識を用いた PDF 形式論文からの情報抽出システムの試作
富田陽明, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 2 データ間の類似度に基づくシーケンス分類法
小原正行, 大和田勇人(東理大)
- 3 帰納論理プログラミングにおける背景知識の能動的学習法
白井秀範, 大和田勇人(東理大)
- 4 (取消)
- 5 Prime test を用いた知識獲得手法
久本 賢, ジョージラシキア(岡山理大)
- 6 帰納論理プログラミングによるドラッグスクリーニングシステムの設計
大貫憲一, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
- 学生セッション [2R 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:35)
画像応用システム 座長 中島 康之(KDDI 研)
- 1 環境内の人物監視を行うカメラロボット協調システムの設計
高橋正樹, 西山裕之, 平石広典, 溝口文雄(東理大)
- 2 コンクリート表面の画像解析によるひび割れ計測
伊藤厚史, 橋本周司(早大)
- 3 画像処理を用いた皮膚の老化のシミュレーション
溝口拓治, 平石広典, 溝口文雄(東理大)
- 4 ヒューマンロボットインタラクションにおける視覚センサの設計と実装
石井健太郎, 今井倫太(慶大)
- 5 ACTIT による画像分類システム 榎本雅仁, 長尾智晴(横浜国大)
- 6 市街地における歩行者行動シミュレーションの効果的な可視化
坂本泰彦, 栗山 繁, 橘野俊介, 大貝 彰, 金子豊久(豊橋技科大)
- 7 SOAR:映像空間へのウォークスルー
中村峰子, 藤代一成(お茶の水女子大)
- 学生セッション [3R 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
画像領域抽出および応用 座長 益満 健(日本 IBM)
- 1 動き部分が小さい用途に適した超軽量映像処理方式の提案
橋本正和, 中村勲二, 岩田 誠, 大森洋一(高知工科大)
- 2 テキストからの制約に基づく料理画像中の物体検出
高野 求, 三浦宏一, 浜田玲子(東大), 井手一郎(国立情報学研), 坂井修一, 田中英彦(東大)
- 3 web カメラを用いた画像処理による物体検出の研究
有竹修一, 宮嶋良太, 斉藤英樹, 千種康民(東京工科大)
- 4 サッカー戦術解析支援システムの開発
落町宣文, ジョージラシキア(岡山理大)
- 5 チューブによるオブジェクト表現を用いた動画像の簡易記述と生成
羽賀正信, 目黒光彦, 金子正秀(電通大)
- 6 花画像データベースのための花領域抽出手法
岡村知明, 精蔵幹人(早大), 岩崎雅二郎(リコー), 中村真吾(ベルテック・ジャパン), 青木義満(芝浦工大), 橋本周司(早大)
- 7 セルアニメーションのための曖昧輪郭線に対する塗りつぶし領域の推定のための場の検討
中村亜希子, 齋藤 豪, 中嶋正之(東工大)
- 学生セッション [4R 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
画像処理一般 座長 塩原 守人(富士通研)
- 1 カテゴリカル知覚における色恒常性モデル
矢田紀子, 長尾智晴(横浜国大), 内川恵二(東工大)
- 2 実時間人物発見のための視覚と聴覚を統合した肌色の動的学習
山本俊一, 戸田充彦(京大), 和田俊和(和歌山大), 奥乃 博(京大)
- 3 ガボールウェーブレットに基づく画像からのレイアウト情報の獲得
牧 美照, 高野 茂, 新島耕一(九大)
- 4 円形エッジ抽出フィルタによる円の中心と半径の推定
斉藤英樹(東京工科大), 服部泰造(東京国際大), Hector Sandoval, 千種康民(東京工科大)
- 5 グリッド・コンピューティングによる画像からの顔検索システムに関する検討
通山拓馬, 加藤誠己(上智大)
- 6 画像処理による高速道路合流部における進入支援
森田顕司, 木戸出正継, 近間正樹(奈良先端大)
- 学生セッション [5R 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
シミュレーションとゲーム 座長 清 慎一(富士通 SSL)
- 1 プロの指し手を基準とした山登り法による探索延長パラメータの学習
小城義孝, 後藤智章, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)
- 2 ゲーム木探索の大規模並列化 三輪 誠(東大)
- 3 アマチュア3段の実戦に基づいたパターン認識を用いない囲碁アルゴリズムについて
竹村和絃, 高田寛之, 古市 茂(山口東京理科大)
- 4 囲碁における事例ベース推論を用いた候補手の獲得
玉井賢太郎(芝浦工大)
- 5 大規模災害環境における閉塞予測を利用した経路検索の検討
米田慎吾, 梶川嘉延, 野村康雄(関西大)
- 6 (6M セッションへ移動)
- 7 (6M セッションへ移動)
- 学生セッション [1S 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)
知能メカニズムと応用システム 座長 山川 宏(富士通研)
- 1 P2P 型仮想空間におけるエージェントに基づく情報共有システムの試作とその応用
田代慎治, 服部宏充, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 2 論理型言語 Milog における知的ヘルプシステムの試作について
永田雄大, 藤巻伸洋, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 3 Web プロキシサーバエージェントに基づく制約抽出機構の試作
瀧 寛和, 服部宏充, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 4 研究支援システム PapiTs における文献メタ情報を用いた論文推薦機構の試作
渡邊 倫, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)

- 5 マルチエージェントシミュレーションを用いた時間割作成について
山本友和(芝浦工大)
- 6 既知のアミノ酸配列モチーフの改変による新規モチーフの探索
角 伸哉, 小栗栖太郎, 前田幹夫(岩手大)
- 学生セッション [2S 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
- マルチエージェント 座長 新谷 虎松(名工大)
- 1 強相互作用を持つマルチエージェントによる効率的な問題解決方法
川島千明, 高橋和子(関西学院大)
- 2 ネットワークコミュニティにおける集団形成支援マルチエージェントモデルの試作とその評価
武藤 恵, 長橋和哉(電機大), 澤本 潤(三菱), 小泉寿男(電機大)
- 3 RoboCup における戦略分離のための階層型エージェントの提案
油布広和, 武田正之(東理大)
- 4 RoboCup シミュレーションリーグにおける試合の流れに応じたフォーメーションチェンジの方式
小松 資, 中村克彦(電機大)
- 5 マルチエージェント問題での効率的な協調戦略獲得の検討
松永敬輔, 米田慎吾, 梶川嘉延, 野村康雄(関西大)
- 6 モバイルエージェントを用いた動的ネットワークルーティングシステムの拡張および効率化
河原崎兼介, 高橋和子(関西学院大)
- 学生セッション [3S 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
- 画像認識 座長 佐藤 俊雄(東芝)
- 1 風景画像中におけるオブジェクト認識の研究
高橋弘明, 岡村武士, 上山和宏, 中村 靖(広島工大)
- 2 遺伝的アルゴリズムを用いた動画画像中の顔認識に関する検討
矢部俊治, 加藤誠己(上智大)
- 3 ストローク統計に基づいた柔軟なマッチングによる手書き数字認識
村松洋一, 小林 隆, 杉山岳弘, 阿部圭一(静岡大)
- 4 人の識別
はい島彰一, 松本英起, 中野 警(東京工科大)
- 5 ラベルグラフマッチングを用いた顔画像による個人認証
小野幸真, 村上 真, 米山正秀(東洋大)
- 6 車載ステレオカメラによる夜間車両走行状況の認識
奥野敏明, 木戸出正継, 近間正樹(奈良先端大)
- 7 空中署名動作の特徴抽出による個人認証システムの試作
広木 誠, 木戸出正継, 近間正樹(奈良先端大)
- 学生セッション [4S 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
- 人工生命・人工社会 座長 松原 繁夫(NTT)
- 1 自己組織化システムの研究
板倉伸一, はい島彰一, 中野 警(東京工科大)
- 2 局所パターンの繰り返し構造に着目した1次元CAの分類方式
市場大介, 狩野 均(筑波大)
- 3 合体ロボット
松本英起, 板倉伸一, 中野 警(東京工科大)
- 4 人工社会と人工生命
人工社会における自然発生的進化の適応
中田正雄(東京工科大)
- 5 集団避難行動における行動ルールと性格の考察
安藤広生, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和(福井大)
- 6 マルチエージェント型外国為替市場取引シミュレーションシステム (ForexSim) の開発
棟居義弘, 高田明典(尚美学園大)
- 学生セッション [5S 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
- コンピュータ・グラフィクス 座長 筒口 肇(NTT)
- 1 インタラクティブGAによる仮想日本庭園設計
難波政佳(筑波大)
- 2 解適合格子法を用いた区間型ボリューム等値面
小南英毅(筑波大)
- 3 フラクタル変換とテクスチャシネシスへの応用
長峯 望(筑波大)
- 4 自己組織化理論を用いたBoidのPredator-Preyアニメーション生成
松延直美(筑波大)
- 5 距離画像によるビルの高精度計測とモデリング
阿久津功朗, 星 仰(茨城大)
- 6 モーションキャプチャデータを用いたエージェントの動作に関する研究
松本直樹, 齋藤 豪, Romanos Piperakis, 中嶋正之(東工大)
- 7 技能修得における身体動作のモーションキャプチャを用いた解析
阿部真美子, 山本知幸, 藤波 努(北陸先端大)

- 学生セッション [6S 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
- 3次元画像処理 座長 若林 佳織(NTT)
- 1 因子分解法とステレオの融合による動画からの高精度な形状復元
押方智裕, 金澤 靖(豊橋技科大)
- 2 色情報を用いた多重色分布を持つ物体の3次元画像計測
長 元気, 盧 存偉(福岡工大)
- 3 ビルを含むシーンの距離画像合成システム
野中政嗣, 星 仰(茨城大)
- 4 視差解析法と動的計画法を用いたステレオマッチング
加藤直樹, 小林幸雄, 糸井清晃(千葉工大)
- 5 自己オクルージョンを含む人物姿勢の距離画像による推定
村上智基, 久米 出, 上野敦志, 河野恭之, 木戸出正継(奈良先端大)
- 6 ステレオ画像の視差に基づく距離画像の効率的生成法に関する検討
岩岡敏之, 矢部俊治, 蔭山貴幸, 加藤誠己(上智大)
- 7 視覚障害者支援を目的とした画像解析による歩行可能領域検出に関する検討
蔭山貴幸, 岩岡敏之, 矢部俊治, 加藤誠己(上智大)
- 学生セッション [1X 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)
- 遺伝的アルゴリズム(1) 座長 井庭 崇(千葉商科大)
- 1 心理測定法によるインタラクティブ進化計算の検証
江浦俊彦, 伊庭育志(東大)
- 2 エージェント指向自己適応型GAにおける計算時間が未知の場合の探索に対応させる一手法
高島栄一, 伊藤 実, 柴田直樹, 村田佳洋(奈良先端大)
- 3 ミームによる文化形成・伝達のシミュレーション
水野雄介, 加藤昇平, 武藤敦子, 伊藤英則(名工大)
- 4 並列遺伝的プログラミングにおける島モデルの実験的解析
飛岡良明, 伊庭育志(東大)
- 5 遺伝的アルゴリズムにおける均質コーディングの簡易生成方法の検討
清水祐治(帝京平成大)
- 6 遺伝的アルゴリズムによる人工社会の進化
眞坂友子, 鳥 云, 狩野 均(筑波大)
- 学生セッション [2X 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
- 遺伝的アルゴリズム(2) 座長 栗原 聡(NTT)
- 1 低機能移動ロボットを対象とした遺伝的プログラミングによる制御プログラムの生成
小林 修, 富永和人(東京工科大)
- 2 (取消)
- 3 遺伝的プログラミングによる超越関数を含む微分方程式系の推定
杉本直也(東大)
- 4 遺伝的アルゴリズムを用いた似顔絵デザインツールに関する研究
藤野正真, 大原茂之(東海大)
- 5 遺伝的アルゴリズムを用いた板金加工における作業量低減化に関する研究
嶋津 大, 大原茂之(東海大)
- 6 遺伝的アルゴリズムに基づく電子共同購入における実時間提携形成機構について
兵藤正樹, 松尾徳郎, 伊藤孝行(北陸先端大)
- 学生セッション [3X 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:10)
- 音声対話システム 座長 松永 昭一(NTT)
- 1 音声対話における品詞の遷移と発話現象の確率モデルによる分析
大畑一成, 泉 和幸, 董 偉, 大川茂樹(千葉工大)
- 2 帰納的学習によるペットを対象とした対話処理手法の提案
前田宏幸, 荒木健治(北大), 柄内香次(北海道大)
- 3 演出を用いたロボット用音声対話システムの設計と実装
嶋海真里子, 今井倫太(慶大)
- 4 二重課題法による音声対話システムにおける認知負荷の測定
高山元希, 荒木雅弘(京都工繊大), 西本卓也(東大)
- 5 動詞句に着目した文区間抽出手法に基づく意味構造構築手法の提案
菊池久一, 樽松理樹, 藤田ハミド(岩手県大)
- 学生セッション [4X 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:10)
- 音声応用システム 座長 脇田 由実(松下電器)
- 1 言語情報による音声認識文の誤り訂正
大坪文和, 唐澤 博(山梨大)
- 2 韻律とキーワードによる自由会話の質問発話意図の抽出
南 東紘, 樽松 明, 長井隆行(電通大)

- 3 話題連想辞書の適用による携帯電話音声認識率の向上
津金ミキ, 唐澤 博(山梨大)
- 4 アクセント型を利用した音声入力補完方式の提案
大宮広義, 木田智史, 荒木雅弘(京都工繊大)
- 5 日本語の擬音語表現に着目した環境音自動認識
石原一志, 坪田 康, 奥乃 博(京大)

学生セッション [4ZB 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)

エージェントモデル 座長 小泉 寿男(電機大)

- 1 ヒューマンインターフェイスの役割を果たす Java3D による擬人化エージェントの開発に関する検討
吉田宗史, 加藤誠巳(上智大)
- 2 ドライバの退屈・眠気回避を目的とした会話型CGエージェントに関する検討
廣瀬有紹, 加藤誠巳(上智大)
- 3 自動車内で使用する子供の相手をする会話CGロボットに関する検討
武蔵利行, 加藤誠巳(上智大)
- 4 電子マーケットプレイスにおける擬人化エージェントの論理型言語に基づく制御について 堀 和裕, 服部宏充, 大園志親, 新谷虎松(名工大)
- 5 データベースを用いたコミュニケーションロボットシステムの構築
佐竹 聡, 川島英之, 今井倫太(慶大)
- 6 マルチエージェントを用いたインターネット上の情報探索
井上和範, 永井保夫(東京情報大)

デモセッション [デモ会場]

デ 15 (3月25日(火), 3月26日(水))

音声認識・画像認識のための形状距離パターンマッチング法
神内教博(エントロピーソフトウェア研)

第3分冊 (データベースとメディア)

一般セッション [1E 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)

XML・情報システム 座長 遠山 元通(慶大)

- 1 タグ情報を利用したXML検索システム
松本 亮, 大宮 進, 絹川博之(電機大)
- 2 NewsML プロセッサの実装
森下亜里(日本IBM)
- 3 RDB上のXMLビューに対するDOM操作実現機構
小島 章, 森嶋厚行(芝浦工大)
- 4 携帯機器向けXPath処理系の設計と構築
宮坂集策, 石川佳治, 北川博之(筑波大)
- 5 意味情報を用いたXQuery問合せ生成支援システムの開発
古川夏子, 森嶋厚行(芝浦工大)

一般セッション [2E 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 16:55)

モバイル環境における情報発信・情報抽出 座長 細川 宜秀(名工大)

- 1 ユビキタス環境における個人コンテキスト抽出方法の研究
中西宏彰, 岡田 治, 渋谷正徳, 櫻井恵磨(アルファシステムズ)
- 2 Webテキストからの住所情報自動抽出手法
井ノ上直己(KDDI研), 平田育大, 米山正秀(東洋大)
- 3 携帯電話向けサイト構築方法の提案
小林宏至, 田口雅人, 藤岡秀樹(日立ソフトウェアエンジニアリング)
- 4 テンプレートを用いたコンテンツ変換
田枝 寛(東大)
- 5 インターネット情報監視システムの試作
永井明人, 増塩智宏, 高山泰博, 鈴木克志(三菱)

一般セッション [3E 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:30)

テキスト間の関係抽出と分類 座長 安達 淳(国立情報学研)

- 1 複数新聞記事サイトの横断検索システムの試作
大熊耕平, 山田剛一, 増田英孝(電機大), 中川裕志(東大)
- 2 メタ検索における検索結果の統合方式の検討
大野成義(職業能力開発総合大), 太田 学, 片山 薫, 石川 博(都立大)
- 3 異表記処理能力を備え持つ情報検索システムの評価
久保村千明(山野美容芸術短大), 亀田弘之(東京工科大)
- 4 Belief Learning in Certainty Inference for Text Categorization
曲 衛東, 白井克彦(早大)
- 5 日英新聞記事コーパスにおける対応付けの精度評価
松村繁男, 絹川博之, 山田剛一(電機大), 中川裕志(東大)
- 6 同値関係自動抽出法に関する検討
森本貴之, 後藤智範(神奈川大), 藤原 譲(工業所有権総合情報館)

一般セッション [4E 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)

画像検索, マルチメディアデータベース 座長 大森 匡(電通大)

- 1 統計的な特徴量に基づく動画画像検索手法
精原幹人, 橋本周司(早大)
- 2 データベースの感性語による検索時の検索空間の直接的インタフェースの提案
高山 毅, 池田哲夫, 武田 優(岩手県大)
- 3 MPEG-7メタデータを用いた自動番組制作システムの検討
浜口齊周, 道家 守, 林 正樹(NHK)
- 4 ユーザニーズ最適化可能なコンテンツの開発
鈴木 正, 青木輝勝, 安田 浩(東大)
- 5 アニメーションを用いた並列処理教材の作成
山崎勝弘, 大塚良知, 末富俊樹(立命館大)
- 6 (取消)

一般セッション [5E 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

ユーザ情報を用いた情報検索 座長 原田 隆史(慶大)

- 1 大量のコールセンター対応記録に対するWEBベース検索・分析支援システムの開発
中野治郎(INAX), 大園忠親, 新谷虎松(名工大), 清水 泰, 服部和彦(INAX)
- 2 Web空間解析のためのリンクデータベースの設計と実装
松永吉広, 廣川佐千男(九大)
- 3 情報検索システムにおける高齢者に適応した検索手法
井ノ上直己(KDDI研), 西澤健史, 米山正秀(東洋大)

- 4 コミュニティの動向を反映したリンク集再構成手法
瀬川 修(中部電力), 河井 淳, 西俣憲幸, 坂内和幸(TIS)

5 (取消)

- 6 不完全なユーザ情報を用いた情報推薦
中野知彦, 増田 宏, 大和裕幸, 安藤英幸(東大)
- 7 ユーザの行動履歴を利用した画像検索エンジン
田内 学(東大), 井手一郎(情報学研), 坂井修一, 田中英彦(東大)

一般セッション [6E 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)

データマイニング, テキストマイニング座長 松永 務(NTTデータ)

- 1 オブジェクトDBMSによる生体高分子構造情報データベースの構築
黄 湘文, 稲田 稔, 牧之内顕文(九大)
- 2 RDBMSにおけるSQL/OLAPの実装と評価
原 聖宣, 木村耕治, 近藤洋一(日立)
- 3 概念索引を用いたテキストマイニング-(1)アンケート分析への適用
相川勇之, 伊藤山彦, 高山泰博, 鈴木克志(三菱)
- 4 概念索引を用いたテキストマイニング-(2)対話的マイニング
伊藤山彦, 相川勇之, 高山泰博, 鈴木克志(三菱)
- 5 粒子同定の手法へのベイズ統計の適用
木村彰徳(阪工大), 柴田章博(高エネ加速器研究機構), 高清水直美(島根大), 佐々木節(高エネ加速器研究機構)
- 6 オンラインショッピングサイトにおけるデータマイニングの適用
川崎明彦, 佐藤嘉則, 森田豊久(日立)
- 7 P2Pによる分散データベースマイニング手法の提案
尾身剛史, 太田 学, 片山 薫, 石川 博(都立大)

学生セッション [5M 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

XML, 問合せ作成支援 座長 浦本 直彦(日本IBM)

- 1 XML技術を用いたWebシステムの管理
菊地修一, 吉田龍司, 塚本享治(東京工科大)
- 2 XMLとXMLDBを活用した分散データ管理アーキテクチャの提案
江川純雄, 松本充司, 若原俊彦(早大)
- 3 XML文書変換アプリケーションの開発
寺門正善, 安井浩之, 松山 実(武蔵工大)
- 4 (取消)
- 5 HTMLページ作成時間を考慮したSuperSQLクエリの分割支援ツール
石川恭子, 遠山元道(慶大)
- 6 情報容量を考慮したSuperSQLクエリ作成支援
大澤幸子, 遠山元道(慶大)
- 7 SuperSQLクエリの作成支援ツールの実装と評価
近藤寛一, 遠山元道(慶大)

学生セッション [3N 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)

画像の検索, 可視化 座長 池田 哲夫(岩手県大)

- 1 Webページ構造を考慮したキーワードによる画像の内容特定
大鹿広憲, 山名早人(早大)
- 2 Webページデザインにおける背景色の配色支援
植木久恵, 東 基衛(早大)
- 3 X3Dにおける状況適応型コンテンツの配信
別府伸彦, 武田正之(東理大)
- 4 Web3Dを用いてコンテンツを可視化するデータベース
近田智彰, 山口治男(東京工科大)
- 5 An Implementation of Lightweight VRML Browser for Web3D
小谷野修宏, 宇佐美健司, 武田正之(東理大)

6 (取消)

- 7 色領域分割に基づく部分オブジェクト抽出による画像検索
芝井貴生, 上野義人(創価大)

学生セッション [1U 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)

動画情報のアノテーション 座長 飯沢 篤志(リコー)

- 1 ビデオ・データ配信時におけるシーン分割法の研究
伊藤弘仁, 飯倉道雄, 伊原征治郎, 吉岡 亨(日本工大)
- 2 半自動ビデオアノテーションとそれに基づく意味的ビデオ検索
山本大介, 長尾 確(名大)

- 3 Web テキストから会話アニメーションへの変換サービス
川口 章, 喜多伸行, 千種康民(東京工科大)
- 4 SuperSQL の HTML 出力における時間連結子の実装
笹田麻衣子, 遠山元道(慶大)
- 5 SuperSQL による制限された領域への出力対応
亀岡慎平, 遠山元道(慶大)

- 学生セッション [2U 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
- 地図情報, 位置情報 座長 有川 正俊(東大)
- 1 骨格地図記述言語設計とデータベース試作
田中統一郎, 久保田光一(中大)
- 2 携帯情報端末向けの地図拡大手法の実装と評価
佐怒賀裕, 久保田光一(中大)
- 3 交通流画像計測による交通情報システム
飯田庸介(電機大), 曹 麗(清華大), 小泉寿男(電機大)
- 4 地理情報用 XML スキーマの生成 劉 浜輝(中大)
- 5 確率推論に基づく組織における位置情報推定システムの実現
大栗和久, 伊藤孝行(北陸先端大)
- 6 ナビゲーションと Web の連携のためのコンテンツ記述言語 NWCDL の提案
中南和宏, 柴田史久, 馬場口登(阪大)

- 学生セッション [3U 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 12:10)
- ユーザモデルを用いた検索 座長 岩山 真(日立)
- 1 ユーザの検索履歴を用いた情報検索システムの提案
三浦典之, 山名早人(早大)
- 2 利用者の意図に適合した Web 情報の取得に関する研究
金森一朗, 桑田正行(電通大)
- 3 個人履歴情報を用いた Web 情報検索方式の提案
高橋英史朗, 辻 秀一(東海大)
- 4 AcTrec: 状況認識・記録による個人行動支援
山根隼人, 長尾 確(名大)
- 5 プロキシサーバのアクセスログに基づく Web コンテンツ推薦システムの提案
金本俊範, 東 基衛(早大)
- 6 Future View: ブラウジングパターンの学習に基づく Web ナビゲーション
榎野憲克(東工大), 山田誠二(国立情報学研)
- 7 ブラウジング履歴からの階層的知識の構成
間瀬心博(東工大), 山田誠二(国立情報学研)
- 8 スターコーディネートを応用した推薦システムの実装と評価
山形浩平, 古川貴志, 増田 宏(東大)

- 学生セッション [4U 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
- 知識抽出 座長 猪口 明博(日本 IBM)
- 1 大規模 Web データからのコミュニティ抽出
梅沢 晃, 山名早人(早大)
- 2 高速なクラスタリングアルゴリズムの開発と応用分野への適応
中村朋健, 上土井陽子, 吉田典可(広島市大)
- 3 ゲノムデータベースにおけるアノテーションフィールドを利用した
エントリの類似検索 三村 徹, 諸岡慎士, 山名早人(早大)
- 4 化学構造データベースからの有効な部分構造抽出法に関する考察
田中栄太郎, 津田哲夫, 吉澤有美, 稲積宏誠(青学大)
- 5 化学物質の部分構造とその包含関係からの知識発見
橋本 桂, 津田哲夫, 吉澤有美, 稲積宏誠(青学大)
- 6 化学構造情報を用いた知識発見と知識表現に関する考察
速水亜希子, 田中栄太郎, 吉澤有美, 稲積宏誠(青学大)

- 学生セッション [1ZA 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)
- 情報検索理論 座長 原田 隆史(慶大)
- 1 単語の頻度と位置に基づくプロフィール情報の抽出
吉谷仁志, 黄瀬浩一, 松本啓之亮(阪府大)
- 2 (取消)
- 3 相関係数と情報検索のための実証的重みの分析
金谷敦志, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 4 バイブライニングに基づくインデックス更新過程の改良
宇田川稔, 佐藤永欣, 上原 稔, 酒井義文, 森 秀樹(東洋大)

- 5 単語の2次元分布に基づく擬似関連フィードバックを用いた文書画像検索
尹 沃棠, 黄瀬浩一, 松本啓之亮(阪府大)
- 学生セッション [2ZA 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
- オントロジー, クラスタリング 座長 松本 一教(神奈川工科大)
- 1 概念ベースを用いたクラスタリング手法に基づく情報検索の支援
浅田洋平, 友部博教, 石塚 満(東大)

- 2 (5ZA セッションへ移動)
- 3 学習機能をもつ検索システムの構築
西田絵美子, ローレンス アントニ, ジョージラシキア(岡山理大)
- 4 セマンティック Web に基づく Web 検索のためのフレームワーク
中森崇浩, Usanavasin Sasiporn, 高田眞吾, 土居範久(慶大)
- 5 www サーチエンジンを利用した分野オントロジーの自動構築
青木勝洋, 近山 隆(東大)
- 6 フレーム型知識表現によるコンピュータ歴史資料のデータベースシステムの
試作と試用 速水紀美, 小谷善行, 野瀬 隆, 乾 伸雄(農工大)

- 学生セッション [4ZA 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
- Web ページの収集・分類 座長 福島 俊一(NEC)
- 1 リンク構造を用いた Web ページ自動分類の精度向上法
大西高裕, 山名早人(早大)
- 2 マルコフモデルを用いた Web ランキング法の評価実験
赤津秀之, 山名早人(早大)
- 3 インクリメンタル PageRank による重要 Web ページの効率的な収集戦略
山田雅信(東大)
- 4 Web ページの更新傾向を踏まえた効率的な収集方法の提案
熊谷英樹, 山名早人(早大)
- 5 利用者間の協調による検索エンジンのページランキングの改良
小塩力也, 横山大作, 田浦健次郎, 近山 隆(東大)
- 6 検索エンジンとブックマークを統合した情報収集ツールの検討
中條君俊, 佐野義晴, 寺澤卓也, 高橋 潔(東京工科大)

- 学生セッション [5ZA 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 12:10)
- 情報検索アプリケーション 座長 鈴木 優(東芝)
- 1 エージェントによる医療情報検索
~ サーチエージェントの構成と医療用語の変換処理 ~
佐藤敏紀, 山崎真弓, 上原貴夫(東京工科大)
- 2 BookSpider: 図書情報の情報空間と物理空間における検索の統合
加藤範彦, 長尾 確(名大)
- 3 (3U セッションへ移動)
- 4 Publish/Subscribe システムを用いた配信型情報源統合環境の構築
宮坂恭正, 渡辺陽介, 北川博之(筑波大)
- 5 形態素解析なしで ReadMe 解析を用いた Web からのソフトウェア検索
システムの提案 岩越守孝, 新井裕樹, 佐治 享,
中村 真, 増田英孝(電機大), 中川裕志(東大)
- 6 携帯端末を使ったオンライン図鑑検索システム
佐藤公志, 寺澤卓也, 山口治男(東京工科大)
- 7 Web サービス技術を用いた蔵書検索システム
松本大貴, 塚本享治(東京工科大)
- 8 自己組織化マップに基づく文書検索 福住 悟, 井越昌紀(都立大)

- デモセッション [デモ会場]
- デ 08 (3月25日(火), 3月26日(水))
- Web トップXML エディタ-XSLT による整形後の編集を可能とする情報整理ツール
矢尾 浩, 外山春彦, 白井 智, 金井達徳(東芝)

(ネットワーク)

- 一般セッション [3D 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
- ネットワーク・セキュリティ 座長 村山 優子(岩手県大)
- 1 情報家電向けネームサービスにおけるアクセス制御の一検討
日下貴義, 馬場達也, 山岡正輝, 松田栄之(NTT データ)
- 2 統合セキュリティ管理システムにおけるセキュリティ製品の運用方法
野口順平, 妹尾 徹, 浅川知之(日立)

- 3 企業におけるセキュリティ対策運用の定量的評価
山崎 孝(三菱), 荒井麗子(三菱情報ネットワーク), 村澤 靖(三菱)
- 4 XML と SOAP によるセキュリティ関連情報 Web サービス
中村章人, 戸村 哲(産総研)
- 5 外部認証機構と連携した動的なアクセス制御システムに関する一考察
佐藤大輔, 中原慎一(NTT)
- 6 アクセスコントロール技術の動向と将来課題
千葉直子, 大嶋嘉人, 中嶋良彰(NTT 情報流通プラットフォーム研)
- 7 不正アクセス被害予測のためのデータ作成支援ツールの検討
大谷尚通, 井上 潮, 桑田喜隆(NTT データ)
- 一般セッション [5D 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:30)
- 不正アクセス対策 座長 寺田 真敏(日立)
- 1 DDoS 攻撃回避機構の試作
羽生卓哉, 森田真由子, 田村直広, 鳥居 悟, 小谷野修(富士通)
- 2 DDoS 攻撃回避を目指した組織間連携方式
森田真由子, 羽生卓哉, 田村直広, 鳥居 悟, 小谷野修(富士通)
- 3 攻撃モデルを用いた DDoS 攻撃の予兆検知方式
三友仁史, 滝澤文恵, 久保田和己, 鳥居 悟, 小谷野修(富士通)
- 4 (取消)
- 5 IPv4/IPv6 ネットワークにおける不正端末検出システム
才所秀明, 古館丈弘, 堤 俊之(日立ソフトウェアエンジニアリング)
- 6 サーバの動作監視によるサイバー攻撃防御システム
矢野尾一男, 中江政行, 小川隆一(NEC)
- 一般セッション [6D 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:30)
- 暗号・認証 座長 菊池 浩明(東海大)
- 1 二次元コードの電子透かしと応用 小林哲二(日本工大)
- 2 認証局のセキュリティターゲットにおけるセキュリティ環境の考察
新井 聡, 今枝直彦, 永吉 剛, 藤村明子, 松村隆宏(NTT 情報流通プラットフォーム研)
- 3 W3CXML 暗号の実装とその評価
阿部玲子, 北山泰英, 砂田英之, 茂木 強(三菱)
- 4 (取消)
- 5 属性証明書検証サーバの開発
笠川光浩, 洲崎誠一, 仲小路博史, 宮崎 豊(日立)
- 6 デジタルコンテンツの利用権管理システム
釜坂 等, 石川智子, 花崎芳彦(三菱)
- 一般セッション [1H 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)
- モバイル応用技術 座長 石川 憲洋(NTT ドコモ)
- 1 コンテキストウェア電子メール配送システム
今西孝也, 久住憲嗣, 中西恒夫, 北須賀輝明, 福田 晃(九大)
- 2 位置及び端末性能への適応を実現する記述方式とその実証システム
多田浩之, 谷口幸治, 佐藤潤一, 山口孝雄(松下電器)
- 3 移動体通信端末の遠隔表示に関する提案 高橋俊悟, 清水直樹(三菱)
- 4 携帯電話機向け XML コンテンツ復号・解析用ソフトの自動生成
松本一則, 小林亜令, 井ノ上直己(KDDI 研)
- 5 携帯電話用エージェントプラットフォームの FIPA ゲートウェイ機能の設計
服部 元, 小野智弘(KDDI 研), 西山 智(YRP 研), 堀内浩規(KDDI 研)
- 一般セッション [2H 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
- モバイルプロトコル 座長 藤川 賢治(京大)
- 1 エージェントによる異種網シームレスローミング
- コンセプトとアーキテクチャ -
原 政博, 飯塚史之, 野口祐一郎, 藤野信次(富士通研)
- 2 エージェントによる異種網シームレスローミング
- ローミング手法と評価 -
光延秀樹, 中川 格, 飯塚史之, 藤野信次(富士通研)
- 3 Service adaptation method using hierarchical service state for seamless service environment
川崎紀宏, 笠井裕之, 菊田洋子, 山崎憲一(NTT ドコモ)
- 4 MPLS を用いたスケーラブルな QoS モバイル通信方式の設計
劉 偉, 植野誠史, 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大)
- 5 モバイル IP におけるハンドオフ時の TCP 通信高速化に関する検討
海老原成, 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大)
- 6 発呼トラヒックのための HA 機能を FA に持たせるモバイル IP プロトコルの設計
原 正寛, 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大)
- 一般セッション [3H 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
- ユビキタスセンサー技術 座長 南 正輝(東大)
- 1 無線 LAN スポット位置情報を利用したデータ配信システムの構築
島田秀輝(奈良先端大), 田頭茂明(広島大), 北須賀輝明, 中西恒夫, 福田 晃(九大)
- 2 ユビキタスサービスのための屋内センサネットワークの提案
西山 智, 渡辺伸吾(YRP 研), 服部 元, 小野智弘(KDDI 研), 越塚 登, 坂村 健(YRP 研)
- 3 ユビキタス環境のための非接触 IC カードを使用した位置検出方式の提案
渡辺伸吾, 西山 智(YRP 研), 服部 元, 小野智弘(KDDI 研), 越塚 登, 坂村 健(YRP 研)
- 4 ユビキタス環境における物理トリガー処理方式
坂本憲司, 國頭吾郎, 山崎憲一(NTT ドコモ)
- 5 ユビキタス環境におけるインビジブルサービス提供方式とその課題
國頭吾郎, 坂本憲司, 山崎憲一(NTT ドコモ)
- 6 リモートインテリジェンスを実現するためのセンサーシステムの設計
大岸正明, 西山裕之, 平石広典, 溝口文雄(東理大)
- 7 小規模な被計測システムを対象とする計測データ収集システムの開発
佐藤友実, 平野 勝(ヒラノ産業)
- 一般セッション [4H 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 16:30)
- Grid 座長 村山 優子(岩手県大)
- 1 グリッドコンピューティングの有効性の検証: 大量ゲノムデータの多重配列整理による
五味悠一郎, 荻島創一, 大橋久美子, 田中 博(東京医歯大)
- 2 self-organization in grid computing 陶衛 峰(筑波大)
- 3 広域メトリタリタンネットワークにおける分散コンピューティングの提案
前川友徳(NTT), 鎌谷 修, 高原 厚(電気通信学会・情報処理学会)
- 一般セッション [6H 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
- ネットワークプロトコル 座長 水野 忠則(静岡大)
- 1 IPv6 自律システムネットワークポロジのベキ乗則
桑川一也(電通大)
- 2 並列に動作するサブコネクションを用いた超高速アプリケーション向け TCP 輻輳制御方式の提案 加藤聡彦, 井上広喜, 伊藤秀一(電通大)
- 3 多重化フレームの並列処理における負荷分散方式の検討
小坂哲也(三菱)
- 4 アドホックネットワークのためのマルチパス・ルーティングの評価
茂木信二, 吉原貴仁, 堀内浩規(KDDI 研)
- 5 高密度状態に適した無線アクセス制御プロトコルの提案
千葉大作, 金子敦史, 中島 滋(アルファシステムズ)
- 6 Bluetooth ピコネットにおける帯域割り当て手法の評価
中岡 謙, 加藤正美(三洋電機)
- 7 大規模ネットワークシミュレーション向けのルーティングテーブルの容量削減法の提案と実装
廣森聡仁, 山口弘純(阪大), 安本慶一(奈良先端大), 東野輝夫, 谷口健一(阪大)
- 一般セッション [4J 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
- 分散システム運用 座長 萩原 洋一(農工大)
- 1 PIM-SM によるマルチキャスト・トラヒックのための分散型モニタリング・システムの設計
植野誠史, 加藤聡彦, 伊藤秀一(電通大)
- 2 IPv6 マルチキャストを活用するセッション管理モジュールの設計と実装
村本衛一, 中村敦司(松下電器), 鈴木良宏(松下通信), 篠田陽一(北陸先端大)
- 3 Jini を用いた分散ネットワーク管理における冗長化方式
磯村 学, 吉原貴仁, 堀内浩規(KDDI 研)
- 4 ストレージシステム管理における CIM/WBEM 適用方式の研究
宮崎扶美, 兼田泰典, 篠原大輔, 藤田高広, 古橋亮慈(日立)
- 5 列車内情報サービス提供システムの車両間通信方式
辰巳尚吾(三菱)

- 6 SOAPに基づくネットワークコンピューティング環境の実現
長尾光悦, 嘉数侑昇(北大)
- 一般セッション [5J 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
ネットワーク家電 座長 松浦 敏雄(阪市大)
- 1 OSGi 準拠サービスプラットフォーム Tsubasa の開発
山口智久, 大野次彦, 峯村治実, 鳥羽 順, 井登純一(三菱),
若野芳仁, 永井憲之(メルコ・パワー・システムズ)
- 2 ネット家電のための一斉同報システムの検討
後 友恵, 早川和宏(NTT サイバソリューション研)
- 3 ECHONET on Bluetooth による家電制御の実現
門間信行, 会津宏幸, 久間修一,
神田博紀, 寺本圭一, 多鹿陽介(東芝)
- 4 ネットワーク装置のプラグアンドプレイ
嶋田昌生, 糸井哲史, 稲田博司(NEC)
- 5 組み込みデバイスを対象としたセキュリティ機能の実現方式に関する検討
北澤繁樹, 河内清人, 米田 健, 藤井誠司, 中川路哲男(三菱)
- 6 Java によるデバイスドライバ実現検討
三井 聡, 小谷 亮, 水口武尚, 橋高大造(三菱)
- 7 デジタル・カラー・プリンタにおける IEEE1394 接続の一検討
曾田 稔, 奥村友秀, 大川雄敏, 竹村貴子(三菱)
- 一般セッション [6J 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
ユビキタスアプリケーション 座長 狩野 秀一(NEC)
- 1 場所・時間・行動を起点とした情報配信システム「Goopas」
- 自動改札システム利用したモバイル情報サービスの概要 -
中尾寿朗, 宮崎秀樹, 藤本幸一, 竹林 一(オムロン)
- 2 携帯電話向け自動改札機連動型情報配信システム「Goopas(グープラス)」
パイロットテスト報告
宮崎秀樹, 中尾寿朗, 藤本幸一, 竹林 一(オムロン)
- 3 パスロケーションシステムの構築・運用実験報告
武田利浩(山形大), 阿部康一(仙台応用情報学振興財団)
- 4 振動を用いた歩行者ナビゲーションの提案
山本篤史, 屋代智之(千葉工大)
- 5 PROBER - 歩行者版プローブ情報システムの提案
菊池聡敏, 八木啓介, 清水雅代, 屋代智之(千葉工大)
- 6 歩行者 ITS 版 Nomadic Agent への UWB の適用に関する評価
井上真吾, 八木啓介, 屋代智之(千葉工大)
- 7 無線アドホックネットワークにおける情報発信者位置推定に基づく
サービス方式の検討
昌山一成, 堀沢伸吾, 小菅昌克, 田中信介(ATR)
- 一般セッション [4K 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
P2P 座長 原 英樹(千葉工大)
- 1 次世代仮想現実空間通信システムのための Peer-to-Peer アクセス
制御機構の検討
加藤寛治(TAO JGN プロジェクト), 島村和典(高知工科大)
- 2 自動ルータ設定プロトコルの高信頼化方式の提案
堀 賢治, 吉原貴仁, 堀内浩規(KDDI 研)
- 3 コミュニケーションサービスを支援するクライアントエージェント
アーキテクチャの一考察
野口昌彦, 中原慎一(NTT)
- 4 オンラインゲームにおける P2P の適用に関する一考察
大島英一, 島本憲夫, 矢島 学, 武本充治(NTT)
- 5 携帯端末上から P2P を利用した分散処理システム
田中克弥, 菱田隆彰(愛知工大), 陳 志松(デンソークリエイイト),
後藤佳代(ソフトピアジャパン)
- 6 アクкумуляターを使用したマルチパーティ・プロトコルの有効な構成法
岡田 明(日本 IBM)
- 一般セッション [5K 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
メディア配信 座長 重野 寛(慶大)
- 1 ネットワーク型電光掲示板を用いたメッセージ配信システムの設計
磯貝智崇, 平石広典, 溝口文雄(東理大)
- 2 アプリケーションサーバによるネット空間ブラウザ制御方式
武藤哲幸, 坂本 啓(NTT)
- 3 ネット空間クーリングシステムの利用モデル 坂本 啓(NTT)
- 4 無線 LAN ネット接続サービスの付加価値を高める WWW アクセス制御方法の
提案 武井英明, 佐藤友康, 花木三良(NTT)
- 5 Winner Determination for Multi-Unit Combinatorial Auctions
小野智弘, 堀内浩規(KDDI 研)
- 6 ストリーミング配信を用いた音楽 CD 試験システムの提案
桐村昌行, 清水直樹, 齋藤正史(三菱)
- 7 VoIP 相互接続における課金実現に関する考察
可児島達, 佐藤友康, 花木三良(NTT)
- 一般セッション [6K 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
ネットワークアプリケーション 座長 渡辺 尚(静岡大)
- 1 多種ユーザに対するメディア配信を実現するアプリケーション層ネットワークの
提案 加藤雄一郎, 山口弘純, 谷口健一(阪大)
- 2 動画向け Web ゲートウェイシステムのクラスタリング機能の開発
横田大輔, 生澤 満, 野田文雄(日立)
- 3 自律広域マルチキャスト方式 Flexcast におけるソケット API の設計と実装
井上 武, 谷誠一郎, 湊 真一, 宮崎敏明(NTT)
- 4 衛星ネットワークにおけるマルチキャストパケット配信技術の検証
島海昌弘(通信・放送機構)
- 5 DRM に対応した MPEG-4 ストリーミング配信システム
「DiamondStreamXE」
奥村誠司, 鷹取功人, 大野次彦, 白井澄夫(三菱)
- 6 MXQ メカニズムを用いた UDP フローの動的アドミッション制御
清水敬司, 高原 厚(NTT)
- 7 無線通信における連続メディア転送のためのパケットロス制御
五十嵐亮裕(岩手県大), 高畑一夫(信州短大),
内田法彦, 橋本浩二, 柴田義孝(岩手県大)
- 学生セッション [1R 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)
マルチメディア符号化 座長 上倉 一人(NTT)
- 1 画像の帯域分割可逆符号化に関する基礎検討
高瀬義史, 小林幸雄, 糸井清晃(千葉工大)
- 2 顔表情の知的符号化方式の検討(リアルタイム通信の可能性)
伊豆川悠介, 小林幸雄, 糸井清晃(千葉工大)
- 3 フラグメントメタデータを利用したメタデータ交換モデルとメタデータ
流通方式の提案 鈴木順一, 亀山 渉(早大)
- 4 マスメディアにおけるコンテンツの個別化を実現するパーソナライズド・
ブロードキャストの実現と評価 福田賢治, 亀山 渉(早大)
- 5 自然画像における画像構成基本要素の抽出
酒井リカ, 亀田昌志, 松田浩一, 土井章男(岩手県大)
- 6 ASTER VNIR 画像を用いた周波数領域への電子透かし法の適用
櫻井省吾, 星 仰(茨城大)
- 学生セッション [1V 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)
無線ネットワーク 座長 太田 賢(NTT ドコモ)
- 1 無線 LAN における RADIUS サーバを用いたユーザ認証
内藤 聡, 川上 誠(沼津工業高専)
- 2 IEEE802.11 無線 LAN 基地局の実用的配置に関する考察
南澤一朗, 山内雪路(阪工大)
- 3 (52B セッションへ移動)
- 4 モバイル環境における情報通信メディア選択システム Mnine について
磯貝邦昭, 青山哲也, 渡辺 尚(静岡大)
- 5 連続ゾーン路車間通信における動的ゾーン制御方式
朝倉啓亮, 柿田法之, 中村めぐみ(慶大), 福井良太郎(沖電気),
屋代智之(千葉工大), 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 6 赤外線通信方式における転送効率向上に関する一検討
深町文範, 松本充司, 若原俊彦(早大)
- 学生セッション [2V 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
グリッドコンピューティング 座長 馬島 宗平(NTT)
- 1 ビジュアルプログラミング機能を有する Grid ポータルシステム
福留貴俊, 本多弘樹, 弓場敏嗣(電通大)
- 2 Grid 環境における負荷分散機能の実装
東原大記, 小坂隆浩(阪産大), 福田 晃(九大)
- 3 Grid 環境におけるスケジューリング方式の検討
小舟康予, 小坂隆浩(阪産大), 福田 晃(九大)

- 4 Grid 環境におけるファイル管理機能の実装
井上悠佑, 小坂隆浩(阪産大), 福田 晃(九大)
- 5 Grid 環境の構築支援システム 後藤滋文, 寺澤卓也(東京工科大)
- 6 遠隔コンピュータ資源の監視と簡易使用を実現するシステムの設計と構築
田島英佑, 山崎 航, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
- 学生セッション [3V 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
- 位置情報サービス 座長 小西 達裕(静岡大)
- 1 無線 LAN 環境におけるユーザの移動履歴を用いた計算機資源相互の位置関係の検出 佐野義晴, 中條君俊, 高橋 潔(東京工科大)
- 2 位置情報を考慮した防災・災害情報ネットワークシステム
旭 秀晶, 中村大輔, 内田法彦(岩手県大),
高畑一夫(信州短大), 橋本浩二, 柴田義孝(岩手県大)
- 3 広域防災・災害情報ネットワークとそのリソース管理
中村大輔, 内田法彦, 旭 秀晶(岩手県大),
高畑一夫(信州短大), 橋本浩二, 柴田義孝(岩手県大)
- 4 歩行者ナビゲーションのための SVG 地図生成提供システムに関する検討
浅尾貴行, 加藤誠巳(上智大)
- 5 SVG 地図を利用した歩行者ナビゲーション・システム向け Pocket PC 用 SVG Viewer 梅原直樹, 浅尾貴行, 加藤誠巳(上智大)
- 6 テーマパークで利用する RFID 位置情報と Web コンテンツのリンク法に関する検討 庄司文仁, 加藤誠巳(上智大)
- 7 PDA を使用して美術館における作品案内を行う RFID ラベル応用システムに関する検討 笹澤匡人, 加藤誠巳(上智大)
- 学生セッション [4V 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
- 歩行者ナビゲーション 座長 屋代 智之(千葉工大)
- 1 歩行者ナビゲーションにおけるユーザの行動履歴からのプロフィール生成手法 中里祐介, 柴田史久, 馬場口登(阪大)
- 2 サーバサイド仮想空間から生成された3次元画像による歩行者経路案内システム 中津川泰正, 加藤誠巳(上智大)
- 3 移動履歴に基づくインスタントメッセージ送達制御システム
長谷川龍弘, 中山 健, 小林良岳, 前川 守(電通大)
- 4 歩行者経路案内用デフォルト地図の生成法に関する検討
阿久澤まり, 加藤誠巳(上智大)
- 5 特定多数ユーザにより逐次追加される情報を用いる歩行者用経路案内システム 鈴木祐介, 加藤誠巳(上智大)
- 6 自動生成された Flash 形式地図を用いる Pocket PC 歩行者ナビゲーション・システム 高坂 剛, 鈴木祐介, 加藤誠巳(上智大)
- 学生セッション [5V 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
- エージェント 座長 藤田 茂(千葉工大)
- 1 エージェントを用いたデバイス機能検索方式の試作と評価
髭白茂男, 長橋和哉, 小泉寿男(電機大)
- 2 検索対象の情報保有力を考慮した情報検索エージェント方式の提案
金子祐真, 長橋和哉, 小泉寿男(電機大)
- 3 移動エージェントを用いた分散 Web 検索システムの構築と評価
家田 隆, 當山孝義, 高橋篤夫(日本工大)
- 4 モバイルエージェントを用いた情報検索の試作と評価
北島聡史, 長橋和哉, 小泉寿男(電機大)
- 5 同期に注目した自律協調方式に基づく分散システム上のグループ行動
成沢真二, 笹本夏樹, 廣内康行, 藤田康秀, 坂下善彦(湘南工科大)
- 6 HORB を使用した分散 web リンク収集システム
秋田晋吾, 林 幸雄, 松久保潤(北陸先端大)
- 7 分散環境におけるバイオインフォマティクス処理システムの設計
菅 敏康, 平石広典, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
- 学生セッション [6V 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
- アドホックネットワーク 座長 福田 晃(九大)
- 1 無線アドホックネットワークにおける位置依存情報複製配布方式の実装
佐仲貴幸, 田森正紘, 峯野博史, 石原 進, 水野忠則(静岡大)
- 2 Loop-Based Source Routing Protocol for Mobile Ad-hoc Networks
佐川陽介, 浅野知倫, 桧垣博章(電機大)
- 3 複数経路を用いた安定な通信のための AODV ルーティングプロトコル
長谷部顕司, 梅島慎吾, 桧垣博章(電機大)
- 4 アドホックネットワークのためのチェックポイントプロトコル
森田義徳, 桧垣博章(電機大)
- 5 無線アドホックネットワークにおける複製配布方式の省電力化に関する検討
沖野智幸, 田森正紘, 峯野博史, 石原 進, 水野忠則(静岡大)
- 6 モバイルアドホックネットワークにおけるマルチキャスト経路の位置情報を利用した構築方法の検討 水本 明, 山口弘純, 谷口健一(阪大)
- 7 アドホックネットワークにおける双方向リンクを優先したルーティングプロトコル・再接続に関する検討
上田雅之, 安井浩之, 松山 実(武蔵工大)
- 学生セッション [1W 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)
- ユビキタス 座長 久野 巧(産総研)
- 1 ウェアラブル機器を用いた情報発信型ネットワークにおけるサーバ間連携手法の提案
加藤淳也, 井上亮文, 高久宗史,
柴 貞行, 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 2 加速度センサ搭載腕時計を用いた動きによる認証方式の提案
行方エリキ, 坂根 裕, 石原 進, 水野忠則(静岡大)
- 3 知的環境を支援する情報収集型デバイスの設計と実装
岩崎 弾(慶大), 戸辺義人(電機大), 徳田英幸(慶大)
- 4 ユビキタスコンピューティング環境における各種アライアンスに適応したオペレーティングシステム
鈴来和久, 瀧本栄二, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)
- 5 携帯端末による情報家電のリモート制御方式の検討
片桐佐季, 池田 淳, 君塚健太,
桑島孝佳, 長名優子, 松永俊雄(東京工科大)
- 6 Printersurf: ネットワーク上のプリンタを活用するためのシステムの提案
高橋則也, 村山優子, 山根信二(岩手県大)
- 学生セッション [2W 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
- Web アプリケーション 座長 谷口 展郎(NTT)
- 1 WWW フィルタリングに用いるレイティング情報を収集する WWW クローラ
金子洋佑, 富永和人(東京工科大)
- 2 オンライン編集可能な Web ページ構築法に関する一考察
岩波和実, 早川栄一(拓大)
- 3 携帯電話の制限下における Web サイト構築ツール
樋口智紀(阪電通大)
- 4 (取消)
- 5 電子メールを利用した携帯端末向けスケジューリング生成方式の提案
荻谷聡紀, 辻 秀一(東海大)
- 6 Web アプリケーションの構築における J2EE と Web サービスの相互比較
佐藤智哉, 菊池史典, 小泉寿男(電機大)
- 学生セッション [3W 会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
- TCP/IP 座長 串田 高幸(日本 IBM)
- 1 同期型 TDMA を用いたリアルタイム通信機構における TCP ウィンドウ制御について 小山敬士, 矢向高弘(慶大)
- 2 コンピュータネットワーク通信におけるネットワークアクセス層の処理時間の固定化 丸山龍也, 矢向高弘(慶大)
- 3 「TCP SHAKE におけるフロー制御方式の検討」
鄭 宇新, 殿内雅晴, 峯野博史, 石原 進(静岡大),
高橋 修(NTT ドコモ), 水野忠則(静岡大)
- 4 BGP (Border Gateway Protocol) における update メッセージの解析
志賀靖夫, 後藤滋樹(早大)
- 5 コールアドミッション問題におけるトラフィック変動による影響の解析
高東大樹, 上土井陽子, 吉田典可(広島市大)
- 6 トランスポート層における通信回線共有方式のコネクション管理戦略
殿内雅晴, 峯野博史, 石原 進(静岡大),
高橋 修(NTT ドコモ), 水野忠則(静岡大)
- 7 Diffserv AF PHB における受信者主導の輻輳制御機構
福原政彦, 野田陽子, 秦野智也, 重野 寛, 岡田謙一(慶大)

学生セッション [4W 会場] (3月26日 (水) 15:30 ~ 17:30)

QoS 座長 関根 徹(日本TNS)

- 1 多次元情報におけるタイムクリティカル通信に関する一考察
西川 健(愛知県大)
- 2 通信回線共有方式におけるアプリケーションQoSを考慮した共有ネットワーク資源分配方法の検討
渡邊友梨佳, 小西洋祐, 石原 進(静岡大),
太田 賢(NTTドコモ), 水野忠則(静岡大)
- 3 Awareness 情報を利用した3次元共有空間上でのQoS制御
及川 聡, 橋本浩二, 柴田義孝(岩手県大)
- 4 ネットワーク測定の実験装置の作成と評価
吉川直邦, 伊藤正樹(大同工大),
小川 清, 斉藤直希(名古屋工業大)
- 5 Mobile IP を用いた通信回線共有方式におけるクラスタ構成管理機構の設計
伊藤陽介, 小山健二, 石原 進(静岡大),
太田 賢(NTTドコモ), 水野忠則(静岡大)
- 6 Mobile IP SHAKE におけるトラフィック分配機構の検討
小山健二, 伊藤陽介, 石原 進(静岡大),
倉掛正治(NTTドコモ), 水野忠則(静岡大)

学生セッション [5W 会場] (3月27日 (木) 9:30 ~ 11:50)

P2P 座長 中川 克哉(シャープ)

- 1 既存ネットワークサービスを提供するP2Pシステムの設計
小野寺智之, 早川栄一(拓大)
- 2 P2P 接続における宛先範囲の自律的な分割による配信手法の提案
平野 哲(東京工科大)
- 3 ファイル盗難リスク分散のためのP2Pアプリケーションの開発
永井健太郎, 山崎 航, 平石広典, 溝口文雄(東理大)
- 4 P2P ネットワークにおける鍵分配方式の提案
古志智也, 飯田修弘, 齋藤孝道(東京工科大)
- 5 Gnutella における Query Hit を用いたトラフィック量軽減手法の提案
難波貞暁, 山名早人(早大)
- 6 運送的アルゴリズムのためのグローバルコンピューティング機構について
齊藤大晃, 新井浩志(千葉工大)
- 7 適応型自律協調機構の交差点信号システムへの適用
星 直樹, 山本悦正, 内藤大祐, 坂下善彦(湘南工科大)

学生セッション [6W 会場] (3月27日 (木) 14:30 ~ 17:10)

ネットワーク応用 座長 西木 健哉(日立)

- 1 VLAN を用いたネットワークの効率的な構築・管理方法の一考察
鈴木和久(愛知県大)
- 2 DVTS を用いた内視鏡遠隔診断実験
大橋久美子, 五味悠一, 岡田伊佐男(東京医科歯科大),
渡辺 守, 坂本直哉(東京医科歯科大付属病院),
永田 宏(KDDI 研), 田中 博(東京医科歯科大)
- 3 小規模 LAN の可視化に関する研究
倉田憲資, 山元規靖(福岡工大)
- 4 NPU を用いたアクティブルーティング実装に向けての評価
今本吉治, 松本真弥, 森川裕介, 柏 大, 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 5 ロビーサービスを用いたゲーム処理の高速化
郡司直廉, 森 秀樹, 上原 稔(東洋大)
- 6 マルチメディアチェックポイントプロトコルのJavaによる実装と評価
平賀研吾, 桧垣博章(電機大)
- 7 Jini ネットワークへのアクセス制御機能の導入
宮本幹大, Hoa TRAN Xuan, 吉永 努, 曾和将容(電通大)
- 8 ネットワークを介した特無し手書き認識のためのクライアント・サーバ方式
依藤充範, 櫻田武嗣, 加藤直樹, 中川正樹(農工大)

学生セッション [5X 会場] (3月27日 (木) 9:30 ~ 12:10)

暗号・認証 座長 山田 朝彦(東芝)

- 1 Approach of quantum cryptography network simulator using today's cable.
Wahab Norabdawahi, Hidekazu Tsuji, Hiroshi Yamamoto(東海大)
- 2 IP ヘッドへの利用者認証フィールド埋め込み型認証システムの構築
倉内 努, 安井浩之, 松山 実(武蔵工大)
- 3 広域分散環境におけるSSHを用いたシングルサインオン機構の実現
安藤雅享, 田浦健次郎, 近山 隆(東大)

- 4 ネットワーク外部への情報漏洩防止システム
水野優良(東海大)
- 5 複数サーバの連携によるプライバシー重視のサービス提供モデルの提案
小瀬水浩昭, 武田正之(東理大)
- 6 コンテンツ流通システムにおける使用記録の保護と認証機関を介さない権利譲渡方式の提案
諸井太郎, 龜山 涉(早大)
- 7 コンテンツ流通における開放型権利処理方式の実現手法
関亜紀子, 龜山 涉(早大)
- 8 FPGA による HMAC-SHA-512 のハードウェア化
Truong Son Nguyen, 黒川恭一, 岩井啓輔(防衛大)

学生セッション [6X 会場] (3月27日 (木) 14:30 ~ 17:10)

不正アクセス対策 座長 藤井 誠司(三菱)

- 1 ゲートウェイ絞込み制御による不正フロー対策システム
片山晃一, 中村 浩, 戸部義人, 佐々木良一, 尾高由和(電機大)
- 2 パケットヘッダのパターン解析による不正アクセスの検出
-提案手法による結果と評価-
松永 武, 安井浩之, 松山 実(武蔵工大)
- 3 単純ベイズを用いたユーザー操作異常検出セキュリティシステム
研川幸雄, ローレンス アントニー, ジョージラシキア(岡山理大)
- 4 ポート番号に基づく透過的なパケットフィルタ
本村 真, 寺澤卓也(東京工科大)
- 5 プレゼンス情報やスケジュール情報を活用した侵入検知情報通知方式の提案
野田健治, 関口博幸, 勅使河原可海(創価大)
- 6 電子メールによるコンピュータウィルスの伝染
箕浦正人, 林 幸雄(北陸先端大)
- 7 スケール・フリー・ネットワーク上での情報伝搬の効率
松久保潤, 林 幸雄(北陸先端大)
- 8 CAM を用いた不正検知型侵入検知システム実装手法の提案
鈴木諭司, 西山 怜, 熊木武志, 岩井啓輔, 黒川恭一(防衛大)

学生セッション [6Z 会場] (3月27日 (木) 14:30 ~ 16:50)

マルチメディア通信 座長 瀧美 幸雄(NTTドコモ)

- 1 同期分散型マルチメディアデータ伝送方式 Multitrack の実装
富田敏光, 齊藤義仰, 石原 進(静岡大),
高橋 修(NTTドコモ), 水野忠則(静岡大)
- 2 プレゼンスサーバーを用いたサービスの研究と対応VoIPクライアントの試作
根本祐樹, 但馬康弘, 寺田松昭(農工大)
- 3 (取消)
- 4 VoIP における話者を限定した多者間通話の研究
柴洋一郎, 但馬康弘, 寺田松昭(農工大)
- 5 (取消)
- 6 PDA での動画ストリーミング再生におけるトランスコーダを用いた省電力制御の一方式
玉井森彦, 安本慶一, 柴田直樹, 伊藤 実(奈良先端大)
- 7 統合管理サーバを用いた配信保証機能を持つストリーミング配信システムの提案
安田俊一郎, 野田健治, 勅使河原可海(創価大)

デモセッション [デモ会場]

- デ 02 (3月26日 (水))
高精細オーディオのロスレス符号化ツールの開発
茂出木敏雄(大日本印刷先端技術研)
- デ 14 (3月25日 (火), 3月26日 (水), 3月27日 (木))
MPEG データ解析ツールの開発
田中晴彦, 吉田康人, 安藤智英(ニコンシステム)
- デ 18 (3月27日 (木))
倍りの大きい画像に対する可逆圧縮法についての提案
黒塚 豊, 井上 啓, 古市 茂(山口東京理科大)

第4分冊**(インタフェース)**

一般セッション [3A 会場] (3月26日(水)) 9:30 ~ 11:50)

グループウェア 座長 市村 哲(東京工科大)

- SOBA フレームワークに基づいた共著支援システム
伊藤 徹(京大), 香川考司(香川大), 角谷良彦, Jacques Garrigue, 中島玲二, 中野圭介, 西村 進(京大), 林 良生(オムロン)
- SOBA フレームワークにおける P2P ネットワーク上の同期機構の実現
林 良生(オムロン), 角田 誠(NTT コムウェア), 篠田直樹(京都高度技術研), 中島玲二(京大)
- 企業間におけるインスタントメッセージングシステムの検討
小林 毅, 飯田 茂, 小池賢一(三菱)
- 遠隔共有仮想空間における多人数歩行システム
藤田欣也, 下地 崇(農工大)
- ロコミマイニングにおける“ロコミ情報”のマイニング手法
佐野直美, 浅倉 剛, 菅野元之, 斉藤典明(NTT)
- セキュリティーと使いやすさに配慮した学校内ネットワークの運用
田中雅章(鈴鹿国際大)
- 三次元的空間メタファを介し相互接続された現実世界と仮想世界における協調型環境学習
岡田昌也, 山田暁通(京大), 垂水浩幸(香川大), 吉田瑞紀, 守屋和幸(京大)

一般セッション [4A 会場] (3月26日(水)) 15:30 ~ 17:30)

Web グループウェア 座長 岡田 謙一(慶大)

- ワークフロー管理システムを対象とした Web サービス化の試作
関 洋子, 秋藤俊介(日立)
- Web サービス・ビジネス・プロセス言語の変換機能の試作
和田清美, 秋藤俊介(日立)
- リアルタイムスライド配信を可能とする Web システム QuickBoard の試作
市村 哲, 中村亮太, 松下 温(東京工科大)
- Web ページやその部分構成要素のリアルタイム共有・記録機能の設計と開発
田中 充, 勅使河原可海(創価大)
- 異文化コラボレーション支援システムの設計
船越 要(NTT), 山本晃成(数理システム), 藤代祥之, 野村早恵子, 石田 亨(京大)
- セル・データベースを適用したナレッジ・データベースによるナレッジマネジメント・システム
加藤恵美子, 國井利泰(法大)

一般セッション [5A 会場] (3月27日(木)) 9:30 ~ 11:50)

形状モデリング 座長 金井 崇(慶大)

- チェーンコードを用いた3次元2値画像の情報源符号化
西尾孝治, 手島裕詞(阪工大), 金谷孝之(広島国際大), 小堀研一(阪工大)
- 制御ポリゴンのための形状簡略化の一手法
金谷孝之(広島国際大), 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)
- 干渉判定用多重解像度メッシュ生成に関する研究
メッシュ品質を考慮した低解像度メッシュ生成
伊達宏昭, 金井 理, 岸浪建史(北大)
- ハンドヘルドカメラで撮影されたステレオ画像からのレイヤー化された3次元シーンの自動復元
小磯雄一, 西田友是(東大)
- 曲率を用いた3次元顔モデルの解剖学的特徴点位置推定
井芹大智, 矢原弘樹, 西原清一, 福井幸男(筑波大), 持丸正明, 河内まき子(産総研)
- 立体の部分形状に注目した類似検索システムの試作
山本大輔, 向井伸治(前橋工科大), 古川 進, 久保田宗人(山梨大)
- Encode the Cinematic Knowledge into Knowledge Base for DMP
申 金紅, 宮崎誠也, 青木輝勝, 安田 浩(東大)

一般セッション [6A 会場] (3月27日(木)) 14:30 ~ 16:50)

アニメーション 座長 斎藤 隆文(農工大)

- アダプティブグリッドを用いた効率的な雲のシミュレーションの研究
宮崎 玲(東大), 土橋宜典(北大), 西田友是(東大)
- 自然な紅葉の経年変化
望月茂徳, 蔡 東生(筑波大)
- 物体と柔らかい地面の相互作用のリアルタイムアニメーション
尾上耕一, 西田友是(東大)

4 茶碗のフォトリアリスティックレンダリング

高木友和, 世良京平, 蔡 東生(筑波大)

- 場を用いた擬似的に表現した風の力による頭髮の運動アニメーション
浅井 崇, 杉森大輔, 杉崎英嗣, 森島繁生(成蹊大)
- アニメーションへの適用を想定したポリゴンベースのバステル画風CG
村上恭子, 鶴野玲治(九州芸工大)
- 2D アニメーションデータベースのための動きの再利用化技術
角 文雄, 中嶋正之(東工大)

一般セッション [3B 会場] (3月26日(水)) 9:30 ~ 11:50)

ヒューマンインタフェース座長 加藤 浩(メディア教育開発センター)

- 携帯端末インターフェイスの可変方法の検討
羽藤淳平, 佐々木幹郎(三菱)
- 使いやすい計算機システムのための対象の属性に注目したモデル化枠組
古宇田フミ子, 近山 隆(東大)
- テクスチャレンディングによる皺の表現と口形アニメーション
石山慎一郎, 高橋光紀, 大橋俊介, 森島繁生(成蹊大)
- 仮想空間3次元形状評価における協調作業支援のための視点変更手法の開発
大久保雅史, 渡辺富夫, 久保木聡(岡山県大)
- 高次元配置を用いたグラフの視覚化
細部博史(国立情報学研)
- Dvorak 配列を用いたローマ字入力の改善について
木村 清(尚絅女学院短大)
- バーチャルヒューマンとの腕相撲システム
山田貴志(弓削商船高専), 渡辺富夫(岡山県大)

一般セッション [4B 会場] (3月26日(水)) 15:30 ~ 17:30)

コミュニケーション支援 座長 今井 倫太(慶大)

- 3者間身体的バーチャルウェブコミュニケーションシステムの評価
新徳 健, 渡辺富夫(岡山県大)
- 癒し系ロボットPDDIN
山本 諭, 亀田弘之, 原田俊信, 由井圭介, 千葉裕子, 神田弥子(東京工科大)
- 身体的引き込みコミュニケーション支援のためのコミュニケーション動作における発声遅延の分析
山本倫也, 池谷晴生, 渡辺富夫(岡山県大)
- VirtualActor を対面合成した身体的ビデオコミュニケーションシステムの評価
石井 裕, 渡辺富夫(岡山県大)
- 在宅健康管理支援のための音声対話システムのユーザ評価
高橋伸弥, 森元 暉, 前田佐嘉志, 鶴田直之(福岡大)
- 指点字学習支援システムの開発
柿戸英広, 椋田 實(日本工大)

一般セッション [6B 会場] (3月27日(木)) 14:30 ~ 16:50)

仮想現実と実世界指向 座長 清川 清(阪大)

- 高臨場感ディスプレイ環境における透過型HMDを用いたマルチユーザーインターフェイスの開発
足立茂夫(通信・放送機構), 生井 仁(日立)
- 時間変化を伴う仮想都市の自動生成における建物配置
大谷洋平, 山内大介, 本田真望, 水野一徳, 福井幸男, 西原清一(筑波大)
- 様々な地形に対応できる歩行動作の自動生成
陶山 恒, 南城康之, 西原清一, 福井幸男(筑波大)
- System Construction in The Mobile Virtual Environment
Prarnual Sutecharuwat, 中嶋正之(東工大)
- ギガビットネットワーク上での次世代仮想研究室を実現する研究
江原康生(京大), 山根信二(岩手県大), 後藤幸功(九大), 下川俊彦(九州産業大), 渡辺健次(佐賀大), 村山優子(岩手県大)
- 戸口伝言板システムの運用と評価
権藤広海, 鈴村圭史, 富田哲也, 村山優子(岩手県大)
- 電子メールにおける柔軟な宛先アドレス指定の研究
間宮章彦, 山根信二, 村山優子(岩手県大)

学生セッション [5N 会場] (3月27日(木)) 9:30 ~ 11:50)

シミュレーションとモデル化 座長 山田 敦(日本IBM)

- オフセット曲線を利用した山岳地形の3次元モデル生成手法
張 志毅, 今野晃市(岩手大), 徳山喜政(東京工芸大)
- 3DCG シーン構築のための草木の分布情報シミュレーション
宮島信吾, 近藤 亮, 大出剛史, 金井 崇(慶大)

- 3 複数基準によるシリアルライズを利用した、衝突判定の高速化アルゴリズムに関する研究 大森 祐, 渡辺大地(東京工科大)
- 4 動作データに基づく衝突回避歩行の自動生成 佐久間健, 栗山 繁, 金子豊久(豊橋技科大)
- 5 時変安定形状を用いてクロス・シミュレーションに演出機能を付加した3DCGアニメーションシステムの開発 堂田卓宏, 河辺 郁, 服部元史, 高森 年(神戸大)
- 6 リアルタイムCGにおける人体モデルの服の自然な着こなしを表現する一技法 関口 宏, 新藤義昭, 山地秀美(日本工大)
- 7 レベルセット法を用いた複雑境界をもつ流体CG 社 小軍(筑波大)
- 学生セッション [6N会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
- 1 シミュレーションと可視化 座長 栗原 恒弥(日立)
- 1 散乱マップを用いて多重散乱を考慮した天空光の高速表示 柳田哲一, 岩崎 慶(東大), 土橋宜典(北大), 西田友是(東大)
- 2 2流体モデルを用いた火山噴煙のシミュレーションと可視化 水野良一(東大), 土橋宜典(北大), 西田友是(東大)
- 3 糸の織り方を考慮した布のしわのシミュレーションとレンダリング手法 難波隆一, 西田友是(東大)
- 4 ファーシェーディングを利用した流動体の表現に関する研究 明石好平, 渡辺大地(東京工科大)
- 5 時系列ボリュームデータにおける位相情報の視覚化 濱岡 史, 大塚理恵子(お茶の水女子大), 竹島由里子(東北大), 高橋成雄(東大), 藤代一成(お茶の水女子大)
- 6 VLICによる拡散テンソル場可視化法の検討 安藤祥子, 藤代一成(お茶の水女子大), 村木 茂(産総研)
- 7 デジタルペインティングのための混色パレットモデル 渡邊賢悟, 宮岡伸一郎(東京工科大)
- 学生セッション [3P会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
- CG応用システム 座長 山内 康晋(東芝)
- 1 香りを用いた情報検索 伊藤修一, 相場秀太郎, 平山 拓, 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 2 リアリティを向上させたバーチャル伝統工芸システム 石田智行, 柴田義孝, 宮川明大, 杉田 薫(岩手県大)
- 3 仮想生け花における教育支援システム 三原比呂美, 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)
- 4 アパレルCADの自動作図機能の拡張 -教育用スローパーの作成- 土井美鈴(お茶の水女子大), 山本高美(和洋女子大), 藤代一成(お茶の水女子大)
- 5 コンピュータグラフィックスを用いた仮想都市空間システムに関する検討 松永智史, 加藤誠巳(上智大)
- 6 市街地における地形の起伏を考慮に入れた三角パッチ分割法に関する検討 松尾淑央, 加藤誠巳(上智大)
- 7 3次元画像表示機能を持つ携帯電話におけるコンテンツ作成を支援するクラスライブラリ 大久保隆, 渡辺大地(東京工科大)
- 学生セッション [5P会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
- グループウェア 座長 斉藤 典明(NTT)
- 1 同期型会議で使用した種々のデータをWeb上で自動公開する方式の提案 平島大志郎, 南田 元, 田中 充, 勅使河原可海(創価大)
- 2 スケジュール機能を活用した会議コーディネータによる効率的な会議支援の検討 南田 元, 平島大志郎, 田中 充, 勅使河原可海(創価大)
- 3 インスタントメッセージング方式を用いたグループ間でのプレゼンス情報共有方式の提案と設計 古川大介, 田中 充, 勅使河原可海(創価大)
- 4 インデックスを作成可能な動画管理システムの設計 久保田一寿, 早川栄一(拓大)
- 5 移動体を追跡する遠隔監視カメラの試作 李 文全, 宮下 剛, 吉澤康文(農工大)
- 6 WEBハイブリッドサイバースペース~ネット空間におけるトータルコミュニケーションの実現 山上祐樹, 根元啓一, 井前吾郎(慶大), 井上智雄(国立情報学研), 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 7 協調型連鎖的調整手法の基地局(Cell)間選択管理への適用 土井康弘, 野内眞徳, 吉川直実, 和田 篤, 坂下善彦(湘南工科大)
- 学生セッション [3Q会場] (3月26日(水) 9:30 ~ 11:50)
- 文書処理とインタフェース 座長 坂上 秀和(NEC)
- 1 時間情報を共有可能なチャットシステムの構築 益田武士, 石崎雅人(北陸先端大)
- 2 手書きWebページ作成システムにおける知的支援手法の検討 小島勇治, 赤池英夫, 角田博保(電通大)
- 3 高速ペン入力手法Unidrawingの試作と評価 殷 鳳華, 角田博保, 赤池英夫(電通大)
- 4 漢字字画による日本語漢字入力補助方法 張 小剛, 高 建斌, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和(福井大)
- 5 ダブルテンキー入力方式のモデル化 須間裕一, 角田博保(電通大)
- 6 中高年の入力デバイスのユーザビリティについて 鳥谷和良, 寺島信義(早大)
- 7 ワープロ帳票の回収による構造化データベースの構築法と集計冊子の自動生成 鈴木靖征, 加賀 周, 菟川友宏, 富樫 敦(静岡大)
- 学生セッション [4Q会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)
- インタラクション支援 座長 山崎真湖人(リコー)
- 1 (取消)
- 2 直感的なアイコンの組み合わせによるソフトウェア推薦システムの提案 齋藤重仁, 安部倫子, 小笠原直人, 佐藤 究, 布川博士(岩手県大)
- 3 ユーザの判断に基づくプライバシー保護を可能とする位置情報表示インターフェースの実現 平田敏之, 大栗和久, 伊藤孝行(北陸先端大)
- 4 DAIB: Distance Aware Information Board の設計と実装 渋谷孝大, 大菅直人, 中田愛理, 江木啓訓, 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 5 色分布とエッジ分布を用いたモーションキャプチャシステムとその応用 赤澤由章, 岡田義広, 新島耕一(九大)
- 6 Virtual Reality 端末における端末画面の高速表示について 木本和寿, 山元規靖(福岡工大)
- 学生セッション [5Q会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)
- 仮想現実とユビキタス 座長 田中 二郎(筑波大)
- 1 拡張現実感を使用した歩行者ナビゲーションシステム 鼻谷芳樹, 相場 亮(芝浦工大)
- 2 3次元位置測定システムにおける自律的キャリブレーション手法 幸田拓耶, 岩本健嗣, 高汐一紀, 徳田英幸(慶大)
- 3 (取消)
- 4 マスタースレーブ型ロボット手術を支援する力覚ナビゲーション手法 今西勁峰, 中尾 恵, 黒田知宏, 小山博史(京大)
- 5 センサ群の自律的形成と協調によるデータ信頼度向上システムの構築 丸山大佑, 青木 俊, 高汐一紀, 徳田英幸(慶大)
- 6 複数のセンサ情報を統合したアプリケーション開発支援ツールの提案 佐々木弘, 坂根 裕, 峰野博史, 石原 進, 水野忠則(静岡大)
- 7 (取消)
- 学生セッション [6Q会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
- Webモバイルグループウェア 座長 星 徹(日立)
- 1 共有空間と個人空間を統合した協調作業支援システムの構築 細井一弘, 杉本雅則(東大)
- 2 リアルタイム・スライド共有ツールにおけるPDAに特化したユーザインターフェースの設計 笹森照代, 勅使河原可海, 田中 充(創価大)
- 3 位置情報をともなう画像によるコミュニケーションシステムの提案 田面木大介, 安部倫子, 小笠原直人, 佐藤 究, 布川博士(岩手県大)
- 4 ディスカッションマイニング議論からの知識発見 清水敏之, 長尾 確(名大)
- 5 グループによる問題解決のためのコーディネーション支援環境 鈴木 智, 古宮誠一(芝浦工大), 八重樫理人(埼玉大)

- 6 遠隔地にある小学校同士のグループ学習を可能とした遠隔授業システムの提案
宮城真也, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 7 学習指導案とビデオ授業録を関連付けた教員同士の情報共有に関する提案と設計
亀田康夫, 田中 充, 勅使河原可海(創価大)
- 学生セッション [6R 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
- レンダリング技術 座長 柿本 正憲(日本SGI)
- 1 陰影情報を用いた手書きスケッチの3次元形状制御法
安随晋太郎, 松田浩一, 亀田昌志, 土井章男(岩手県大)
- 2 点群データの擬似サーフェスレンダリング
川田弘明, 金井 崇(慶大)
- 3 心象風景レンダリング: 視覚特性を考慮した木漏れ日の描写
河島修生, 藤代一成(お茶の水女子大)
- 4 (取消)
- 5 リアルタイム3DCG ツールキット上での絵画調レンダリングの実装とその効果に関する研究
丹治宏文, 渡辺大地(東京工大)
- 6 線の毛筆調レンダリングに関する研究
前田大介, 齋藤 豪, 高橋裕樹, 中嶋正之(東工大)
- 7 Non-Videorealistic Rendering
- ウェーバーの法則を考慮した動きの自動強調 -
藤島智子, 藤代一成(お茶の水女子大)
- 学生セッション [6ZA 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)
- 生体計測とインタフェース 座長 大野 健彦(NTT)
- 1 人間に似た外見を持つロボット Replie における挙動選択システム
戸田充彦, 山本俊一(京大), 中臺一博(科技団), 奥乃 博(京大)
- 2 視線を検出し制御する対話ロボット Infanoid
元方康二, 早川俊介, 伊藤 昭(岐阜大)
- 3 視線を用いた人型頭部ロボットによる意図性の獲得
早川俊介, 元方康二, 伊藤 昭(岐阜大)
- 4 画面スクロールインタフェースのための視線検出手法
田中祐子, 宮岡伸一郎(東京工大)
- 5 (取消)
- 6 脳活動 index を利用したコミュニケーション分析支援
宮田章裕, 福井健太郎, 本田研作, 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 7 バイオメトリクスの UNIX ログイン認証への応用
古川英雄, 埴 敏博(東京工大)
- デモセッション [デモ会場]
デ 17 (3月27日(木))
ワープロ帳票の回収による構造化データベースの構築法と集計冊子の自動生成
鈴木靖征, 加賀 周, 菟川友宏, 富樫 敦(静岡大)
- デ 03 (3月26日(水))
携帯電話による大学内情報提供サービス
馬場大介, 中村和也, 丸山剛央, 千種康民(東京工大)

(コンピュータと人間社会)

- 一般セッション [1A 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)
- 情報教育の現状と将来 座長 大岩 元(慶大)
- 1 教科『情報』施行後の大学一般情報教育思想の総括と変革への展望
水島賢太郎(神戸女子短大)
- 2 情報処理教育に関する試み
小林 仁(鎌倉女大)
- 3 共通教育における情報処理演習の役割と今後の展望
井山慶信, 平野 允(広島国際大)
- 4 介護福祉現場が求める情報教育
平井利明(静岡精華短大)
- 5 インターネット導入前と現在の女子大学の意識
山内美恵子, 立花厚子, 小澤あつみ(日本女子大)
- 一般セッション [2A 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:35)
- 教師支援システム 座長 立田 ルミ(獨協大)
- 1 教育用計算機システム「Eden」の利用実績(学生用PC教室の利用統計)
野瀬 隆, 但馬康宏, 並木美太郎(農工大)
- 2 教育用 Web コンテンツの運用支援
安江正治, 鶴川義弘(宮城教育大),
橋本良仁(仙台市立七郷中学校), 柚口高志, 松木崇晋(宮城教育大),
阿部 勲(石巻工業高校), 眞壁 豊(仙台幼児保育専門学校)
- 3 教師向け教育コンテンツ検索システムの構築
山本健一郎(通信・放送機構), 北内 啓(NTT データ)
- 4 CAI 教材作成教育支援システムの開発
松下孝太郎, 年森敦子(鎌倉女大), 育藤 剛(電機大)
- 5 対話型電子教科書の制作および機能について
小針亮子, 太田耕三(米沢女短大)
- 6 シラバス XML データベースシステム構築に関する考察
井田正明, 宮崎和光, 芳鐘冬樹, 喜多 一(大学評価・学位授与機構)
- 7 教育現場におけるコンテンツサービスシステムの構築
生駒栄司(NTT 東日本 / 通信・放送機構),
松野恭士(NTT 東日本), 大島克巳, 三木哲也(通信・放送機構)
- 一般セッション [2B 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 16:55)
- 学習支援システム(1) 座長 佐野 洋(東京外語大)
- 1 日本語学習者のためのカタカナ語理解支援システムの検討
諏訪いづみ, 高橋 勇, 黒岩文介, 小高知宏, 小倉久和(福井大)
- 2 留学生のためのマルチメディア学習システムの高速・多機能化
舟田敏雄, 桑名良和, Mayoran Rajendra,
小林幸也, 影山 学(沼津工業高専)
- 3 マルチプラットフォーム対応型
情報リテラシー教育における学習支援エージェント(II)
吉岡 亨, 飯倉道雄, 樺澤康夫(日本工大)
- 4 PDA と GPS を用いた環境学習支援システムの開発と評価
阿部光敏, 長谷川直人, 大崎智弘, 安川直樹,
木庭啓介, 吉村哲彦, 守屋和幸, 酒井徹朗(京大)
- 5 環境教育のための仮想空間ウォークスルーシステムの評価実験
吉村哲彦, 阿部光敏, 長谷川直人, 大崎智弘, 安川直樹(京大),
小泉智史(科技団), 木庭啓介, 守屋和幸, 酒井徹朗(京大)
- 一般セッション [1D 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 14:40)
- 教育効果・評価 座長 波多野和彦(メディア教育開発センター)
- 1 Web ページ制作授業の評価方法
有賀妙子(同志社女大), 渡部隆志(京都造形芸術大)
- 2 教育心理学の手法を用いたアンケート調査によるプログラミング教育の評価について
土肥紳一, 宮川 治, 今野紀子(電機大)
- 3 Web 教材を活用した学習における学習時間の影響について
加藤利康, 青木 収(日本工大)
- 4 MPEG4 を活用したインタラクティブ教材の教育的効果について
立石広樹, 向口安彦(エムピーエス)
- 5 授業支援システムの構築とその運用効果
天野直紀, 藤澤公也(東京工大)
- 一般セッション [2D 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)
- 情報・計算機システムの学習 座長 並木美太郎(農工大)
- 1 演習問題を用いた「情報B」におけるオンラインテキストの試作
辻畑智子, 山田方根, 小野智司,
水野一徳, 福井幸男, 西原清一(筑波大)
- 2 教育向けネットワークシミュレータの開発
木村昌史(メディアテック情報科学研), 精幹幹人(早大)
- 3 初等アセンブラプログラミングにおけるニアミスプログラムに対するアドバイス文生成システム
渡辺博芳, 高井久美子, 荒井正之, 武井恵雄(帝京大)
- 4 教育用マイクロプロセッサ SEP4 を用いた設計演習の提案
原野敦之(静岡大)
- 5 Linux 管理者育成のための教育環境
福田民生, 飯倉道雄, 吉岡 亨, 樺澤康夫(日本工大)
- 6 VMware を利用したネットワーク管理者教育の試み
中川泰宏, 須田宇宙, 浮貝雅裕, 三井田惇郎(千葉工大)
- 一般セッション [1L 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)
- 新しい情報技術の活用 座長 辻 秀一(東海大)
- 1 (取消)
- 2 テレビ電話対応コールセンターシステム
大越冬彦, 魚住 光成, 伊藤 俊之(三菱)
- 3 利用者端末上で絞込みを行う情報配信方法
水戸知子, 大門 昭, 景山植光(日本 IBM)

- 4 課金機能 API の SOAP 化の実装と考察
上野正巳, 飯田恭弘, 阿川雄資(NTT)
- 5 人々に広まる情報通信を目指したシステムデザイン
・利用イメージ開発を軸とする方法論
下川信祐, 大田原一成(ATR), 新上和正(ヴィジィ)
- 6 無線 LAN を用いた運行制御システム 大川善邦, 須田明義(日大)
一般セッション [2L 会場] (3月25日(火)) 15:15 ~ 16:55)
医療情報 座長 刀川 真(NTTデータ)
- 1 歩行中の体重心のリズムと姿勢バランスに関する研究
鶴岡政子, 柴崎亮介, 安岡善文(東大), 鶴岡百合子(文部科学技術省)
- 2 腰痛症患者の歩行改善に関する時系列解析
鶴岡百合子, 田村義保(文部科学省統計数理研究所), 鶴岡政子(東大)
- 3 X線写真のデジタル化の推移からみた医用画像システムの市場規模予測
永田 宏(KDDI 研), 田中 博(東京医科歯科大)
- 4 術中情報支援を可能とする手術手順記述法
藤原香織(京大), 黒田知宏, 小山博史(京大・京大病院)
- 5 (取消)
- 一般セッション [3L 会場] (3月26日(水)) 9:30 ~ 11:50)
企業経営と情報システム 座長 伊東 俊彦(学習院大)
- 1 企業情報ポータル基盤の研究 大規模組織対応機能の検討
菊地克朗, 増岡義政(日立)
- 2 業務データ知識管理システム
田中千代治, 神田達矢, 松葉久知(阪工大),
生方行一(三菱電機情報ネットワーク)
- 3 (取消)
- 4 データマイニング導入効果測定のためのダイレクトメール発送効果
シミュレータの提案 河田洋平, 谷口洋司, 宅間恵理子(日立)
- 5 セル理論による Enterprise Resource Planning モデルの改良
市村安博, 國井利泰(法大)
- 6 不確実性を考慮した設備投資計画手法 内平直志, 武田朗子(東芝)
- 7 複数在庫拠点における統合在庫運用モデルの提案と実現方式の検討
佐藤達広, 角本喜紀(日立)
- 一般セッション [4L 会場] (3月26日(水)) 15:30 ~ 17:30)
情報システムの分析・設計・構築 座長 内木 哲也(埼玉大)
- 1 (取消)
- 2 (取消)
- 3 製造業向け調達システムにおけるワークフロー機能の開発について
田中宏和(東芝 IT ソリューション)
- 4 (取消)
- 5 Web 技術を用いた在宅テレワークの受注および在宅業務支援システムの
開発(その2) 矢澤利弘, 宮崎久利(多摩川精機),
和泉志志(長野県飯田市役所),
松島弘明(飯田コンピュータ専門学校),
宮崎昭夫(富士通), 中村八束(信州大)
- 6 TLO 成果の実用化ビジネスモデルとしての技術連関分析
小島 工(明星大)
- 一般セッション [5L 会場] (3月27日(木)) 9:30 ~ 11:50)
電子商取引と暗号技術の応用 座長 鷲崎 早雄(静岡産業大)
- 1 自然言語処理の知見を用いたキーワード解析による Web コンテンツ戦略
加藤忠宏, 杉山啓子(アイ・リンク・コンサルタント)
- 2 決済保証方式の提案
後藤真一郎, 鈴木英明(NTT 情報流通プラットフォーム研)
- 3 クライアント上での安全な課金方式とその応用
星野玲子, 青野 博, 本郷節之(NTT ドコモ),
鈴木雅貴, 赤井健一郎, 松本 勉(横浜国大)
- 4 ロールフリー環境における双方向決済方式の提案
高田慎也, 鈴木英明, 新井克也(NTT)
- 5 任意のファイル共有ソフトに適用できる著作権保護方式の提案と実装
藤井治彦, 後藤真一郎, 新井克也, 花木三良, 塩野入理(NTT)
- 6 法定代理人による代理申請の電子化についての一考察
中山 亮, 道坂 修, 岩城 修(NTT データ)
- 7 介護情報関連に対する暗号化の適用に関する考察
増淵明彦, 松田隆一(NEC), 岩田 彰(名工大), 斉藤 亮(NEC)
一般セッション [6L 会場] (3月27日(木)) 14:30 ~ 16:50)
情報と社会 座長 阿部 昭博(岩手県大)
- 1 IT エコサイクルプロジェクトのための点字ワープロソフトウェアの研究
西尾吉男, 山内章恵(金城学院大)
- 2 異なる方式による無線 LAN を使用した自治体ネットワークシステムについて
長尾裕之(三菱), 森井昌克(徳島大), 能田益弘(海南町役場)
- 3 IP ネットワークを用いた消防防災ネットワークの提案
細川直史, 田村裕之(消防研), 村田俊哉, 志賀 崇(日本ビクター)
- 4 福祉分野におけるシステム評価に関する考察
今野良彦(筑波大), 倉持敏夫(つくば市), 阿部秀樹(NTT 東日本),
渋谷昌彦(NTT アクセスサービスシステム研), 宇都宮公訓(筑波大)
- 5 地域情報における関連情報検索システムの開発とその実証
山本太司(NTT 西日本), 鳥居隆司(福山女学園大)
- 6 「情報」から見た地下空間環境について
坂本久美子, 塚本克治(工学院大)
- 7 組み込まれた安定装置としての情報慣性モデルによる安定的社会構築へ向け
澤 銀治, 國井利泰(法大)
- 8 多重解像度解析の一検討 今井幸雄(東海大)
- 学生セッション [1T 会場] (3月25日(火)) 13:00 ~ 14:40)
遠隔教育 座長 阿部 圭一(静岡大)
- 1 遠隔教育における協調学習支援システムの一提案
三島雄一郎, 高柳俊多,
ティリワルディ デリムラット, 小泉寿男(電機大)
- 2 ネットワーク遠隔教育に関する研究
浅野正徳, 須藤邦彦, 高澤武志, 渡辺 聡, 伊吹公夫(東京工科大)
- 3 ペン字・書道を事例とした遠隔教育における文字の美的評価の一手法
野辺昌史, 藪田直紀, 鈴木雅人(東京工業高専),
山下晴雨(ペン習字研修センター), 市村 洋(東京工業高専)
- 4 ペン字・書道の遠隔実時間添削指導に関する研究
鈴木琢也, 吉川大輝(東京工業高専),
山下静雨(ペン習字研修センター), 市村 洋, 鈴木雅人(東京工業高専)
- 5 WBT における FAQ システムの検討
高柳俊多, 三島雄一郎, ティリワルディ デリムラット, 小泉寿男(電機大)
- 学生セッション [2T 会場] (3月25日(火)) 15:15 ~ 16:35)
履修システム 座長 有賀 妙子(同志社女子大)
- 1 携帯端末による学内スケジュール表示システムの実現
三保忠彦, 長名優子, 松永俊雄(東京工科大)
- 2 非接触型 IC カードを用いた出席確認システムの実現
野武克哉, 長名優子, 松永俊雄(東京工科大)
- 3 学生の履修科目決定をガイドするシステムの基本機能開発と考察
山口悟史, 寺澤卓也(東京工科大)
- 4 履修計画支援システムの実現方式の検討 浦野博文, 大輪美登里,
加藤由香, 長名優子, 松永俊雄(東京工科大)
- 学生セッション [3T 会場] (3月26日(水)) 9:30 ~ 11:50)
学習支援システム (2) 座長 斐品 正照(東京国際大)
- 1 基本情報技術者試験のための e-Learning システム(ADLES-EL)
神田達矢, 田中千代治, 辻 健二, 阪本 敦(阪工大)
- 2 場面知識の獲得による創造性開発指向物語作成支援システム
儀 一裕, 乾 伸雄, 小谷善行(農工大)
- 3 Web 型自発学習促進クラス授業支援システムの開発
辻 昌之, 植木泰博, 冬木正彦, 北村 裕(関西大)
- 4 高大連携による数学 E-Learning システムの開発と実証評価
高橋孝博, 小松川浩, 杉山秀則(千歳科技大)
- 5 対話型エージェントを利用した数学 E-Learning システムの開発
杉山秀則, 小松川浩, 高橋孝博(千歳科技大)
- 6 Musex 2: 博物館における PDA を用いた協調学習支援システム
矢谷浩司(東大), 大沼真弓, 服部亜珠沙(多摩美大),
杉本雅則(東大), 楠 房子(多摩美大)
- 7 Web を利用した英文読解力自動評価システム
井口達也, 永田 亮, 榊井文人, 河合敦夫(三重大)

学生セッション [4T 会場] (3月26日(水) 15:30 ~ 17:30)

教材開発支援 座長 渡辺 博芳(帝京大)

- 1 WBT 型 CAI システムの研究開発 小室雅昭, 山田敦子, 加悦義康, 石渡雄一, 鈴木 智, 古宮誠一(芝浦工大)
- 2 途上国教師のための電子教材作成支援ツールの開発に関する研究 沙克加米拉(北陸先端大)
- 3 遠隔教育におけるリアルタイム教材編集方式の提案 地里木拉提特里瓦迪, 高柳俊多, 三島雄一郎, 小泉寿男(電機大)
- 4 教師間の教材共有を可能にする Web ベースのドリル学習システム 鹿野晴美, 青柳龍也(津田塾大)
- 5 小学校教員のための環境教育用情報システムの検討 高地映里, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 6 ASP による統合リテラシーツールのためのファイルシステムの実装と評価 高橋 栄, 森 秀樹, 上原 稔(東洋大)

学生セッション [5T 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:30)

計算機システムの学習 座長 神沼 靖子(前橋工科大)

- 1 cpu の構成と動作を学習するための実験教材の作成 佐々木純一, 西田誠幸, 原田紀夫(拓大)
- 2 課題分析に基づいて階層化した数値処理教材の制作 生島隆行, 平山 亮(金沢工大)
- 3 疑似体験による Java 学習システム 高津陽平, 伊藤小琴, 前川仁孝, 伊與田光宏(千葉工大)
- 4 ロボットを用いたオブジェクト指向プログラミング学習支援環境の設計 吉田恵美, 早川栄一(拓大)
- 5 シミュレーション型 ICAI による C++ 言語学習支援システムの提案 津久井和美(帝京平成大)
- 6 アプリケーション移行支援のための差分学習法について 長谷川直生, 倉本 到, 渋谷 雄, 辻野嘉宏(京都工繊大)

学生セッション [6T 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)

講義支援 座長 竹田 尚彦(愛知教育大)

- 1 授業における教員と受講者のインタラクションを支援するシステム 神崎光司, 寺澤卓也, 山口治男(東京工科大)
- 2 学生による問題作成およびその相互評価を可能とするオンラインテスト機能の実装・評価 高木正則, 田中 充, 勅使河原可海(創価大)
- 3 学習状況データベースを用いる Web 型レスポンスアナライザ 小坂武史, 平山 亮(金沢工大)
- 4 CALL 用英語学習ソフトに対する学習履歴分析ツールの開発 芹澤正樹, 宮崎佳典(静岡産業大), 南 紀子(創価女子短大)
- 5 Web ベース講義システムにおける教師学生間のインタラクション効率向上 佐藤邦俊, 山田博文, 桂田浩一, 新田恒雄(豊橋技科大)
- 6 e ラーニング教材における双方向性の有無と学習効果 多喜賢一郎(東京工科大)
- 7 講義のユニバーサルデザイン化に関する検討 - 講師の音声から自動で視覚情報提示を行うシステム - 野村美穂, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)

学生セッション [1ZB 会場] (3月25日(火) 13:00 ~ 15:00)

電子商取引 座長 清水 則之(日本 IBM)

- 1 (取消)
- 2 オブジェクト指向による部品調達システムの構築とその評価 中村義幸, 栗原 潤, 石川俊之, 小泉寿男(電機大)
- 3 SOAP/UDDI/WSDL による B2B システム開発の一事例 越田高志, 金山隆志, 中村典浩, ブッタソ サナウォンサイ(松江高専)
- 4 電子共同購入マーケットにおけるユーザの多属性な効用に基づくグループ統合の効果 松尾徳朗, 伊藤孝行(北陸先端大)
- 5 モバイルエージェントを用いたオークションシステム 影山公一, 上野義人(創価大)
- 6 電子メールを用いた営業支援システム 高橋裕之, 植木泰博(関西大), 堀川和義(e-kikai), 冬木正彦(関西大)

学生セッション [2ZB 会場] (3月25日(火) 15:15 ~ 17:15)

情報システムの分析・構築 座長 繁野 高仁(KDDI)

- 1 ユーザー意図を反映させたやわらかい施設予約システムの構築 下向宏昌, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)

2 肥満治療における行動療法支援システムの提案

岩淵顕子, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)

- 3 Java Servlet と JSP を用いた図書館管理システムの構築 三浦 健, 山本昌弘(法大)
- 4 動画像を用いた体験機能を有する漁業活性化支援情報システムの提案 松本善成, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 5 情報システムデザインのための抽象的表現モデルの視覚化とその実装 小林真士(東洋大)
- 6 人間の情報処理プロセスの把握とその表現能力の育成に関する研究 Subarna Lata Tuladhar, 内木哲也(埼玉大)

学生セッション [5ZB 会場] (3月27日(木) 9:30 ~ 11:50)

情報と社会 座長 刀川 真(NTT データ)

- 1 Web を利用したアンケートの自動生成プログラムの開発 佐藤由一, 椋田 實(日本工大)
- 2 フォーム定義にもとづく PHP データ入力プログラムの自動生成 吉田彩子(慶大)
- 3 組織内の口コミ情報を活用した Know-Who マネジメント手法の提案 竹端和歩, 金井 貴, 國藤 進(北陸先端大)
- 4 ブロードバンド環境移行におけるユーザーのネット利用行動の変化について 上野 修, 加納貞彦(早大)
- 5 2ちゃんねるが盛り上がるメカニズムの解明 松村真宏(東大), 三浦麻子(阪大), 柴内康文(同志社大), 大澤幸生(筑波大), 石塚 満(東大)
- 6 機械学習による電子掲示板からの評判情報抽出 藤村 滋, 松村真宏, 石塚 満(東大)
- 7 日本型産業構造における製品・組織モジュール化の考察 米澤雅弘, 加納貞彦(早大)
- 8 低軌道衛星通信システムにおけるハンドオーバー方法の提案 佐藤一正, 水澤純一(青学大), 若原 恭(東大)

学生セッション [6ZB 会場] (3月27日(木) 14:30 ~ 16:50)

位置情報システム 座長 椎名 洋充(日立)

- 1 情報家電ネットワークとバイオメトリクスによるスマート管理システムの設計 武藤 聡, 西山裕之, 溝口文雄(東理大)
- 2 (取消)
- 3 Java Card を用いた機密ファイル閲覧管理の提案 川口信隆, 宮地玲奈, 小宅宏明, 重野 寛, 岡田謙一(慶大)
- 4 サイバーワールドとリアルワールドのマッチング 佐藤寛和, 國井利泰(法大)
- 5 特定地域情報のコンピュータ空間での応用 豊澤和也, 國井利泰(法大)
- 6 接着空間を用いた物体間の代数的位相幾何学モデル 賢田智行, 國井利泰(法大)
- 7 データベース管理情報の共有化モデル 二川 潤, 國井利泰(法大)

デモセッション [デモ会場]

デ 01 (3月25日(火), 3月26日(水), 3月27日(木))
START-Conference Manager for Submission Tracking And Review Toolset
岩下省吾, リチャード ガーバー(プロコムインターナショナル)

デ 04 (3月26日(水))
八王子駅周辺地図案内システムの開発
綿引健二, 祖父江功, 山崎祥之, 千種康民(東京工科大)

デ 05 (3月26日(水))
WEB コーディネイトサイトの構築
岩崎哲也, 田中英隆, 斎藤克英, 千種康民(東京工科大)

デ 06 (3月27日(木))
Web アンケート自動生成システムの開発
鈴木大介, 興 正廣, 千種康民(東京工科大), 森 龍二, 石丸雅彦(TIS)

デ 07 (3月25日(火))
公職選挙における2次元コードスキャナ式電子投票システム
古谷雅年(日立)

- デ 10 (3月25日(火), 3月26日(水), 3月27日(木))
情報システム第2期の孵化 伊吹公夫, 浅野正徳(東京工科大)
- デ 11 (3月27日(木))
Webベースの学習サーバWebQP
山田和弘, 安在弘幸, 初 允中, 平原允中, 高次健一(九州共立大)
- デ 12 (3月26日(水))
組み込みJava™/Webサービス応用システムの開発
伊藤昭博, 中野正樹, 鈴木貴之, 関口知己, 井奥 章, 里山元章(日立)

第5分冊

(特別トラック(1)) ユビキタスコンピューティング)

特別トラック(1)[2T1B会場](3月25日(火)15:15~17:15)

コミュニケーションとインタフェース 座長 山田 敬嗣(NEC)

- 暇々手帳:疎な連帯感を支えるシステムの開発
吉野 孝, 森 直人, 宗森 純(和歌山大)
- 位置情報に基づく自然言語を用いた館内ナビゲーション
松尾 豊, 橋田浩一(産総研)
- 人と人のコミュニケーションにおける距離感の実現手法の提案
佐野恵理, 齊藤典明, 黒柳大造(NTT)
- 人と物のコミュニケーションによる所有感の実現手法の提案
黒柳大造, 齊藤典明, 佐野恵理(NTT)

特別トラック(1)[3T1B会場](3月26日(水)9:30~12:00)

モバイルアプリケーション 座長 木村 哲郎(東芝)

- モバイル機器を利用した魚の画像検索システム
園部博崇, 野田真樹子, 高木佐恵子, 吉本富士市(和歌山大)
- NAMBA Explorer:市街地リアルタイム情報共有システム
吉野 孝, 上坂大輔, 宗森 純(和歌山大)
- スマートタクト:ユビキタスコンピューティング環境でのサービスブートストラップ
齊藤 昭, 南 正輝, 森川博之, 青山友紀(東大)
- 適応型ストレージにおける複製管理トークンの移動方式
中村元紀, 井上知洋, 久保田稔(NTT)
- 通信ポリシー予約型マルチアクセスシステム
佐伯俊彰(NTT ドコモ)

特別トラック(1)[5T1B会場](3月27日(木)10:00~12:00)

モバイルエージェント 座長 三ツ井欽一(日本IBM)

- 適応型ネットワークアーキテクチャ Janet におけるユーザコンテキストについて
田中 聡, 板生知子, 中村哲也, 今田美幸(NTT),
須田達也(UCI・NTT)
- ユビキタス・コンピューティング実現に向けたサービスゲートウェイの実装と評価
吉原貴仁, 茂木信二, 堀内浩規(KDDI 研)
- ユビキタス環境向け知的移動エージェント picoPlangent
長 健太, 林 久志, 大須賀昭彦(東芝)
- ユビキタス環境向けパーソナルエージェント技術の開発とその実証実験
服部正典, 長 健太, 大須賀昭彦, 一色正男(東芝),
本位田真一(国立情報学研)

デモセッション [デモ会場]

デ 09 (3月25日(火))

MPEG4 を活用したインタラクティブ通信教育教材製作システムについて
立石広樹, 向口安彦(エムピーエス)

(特別トラック(2))

IPv6 を基盤としたインターネットの新展開)

特別トラック(2)[3T9会場](3月26日(水)9:30~12:00)

ピアツーピア通信 座長 寺岡 文男(慶大)

- P2P ネットワークシステム Freenet の耐障害性について
丁 寧, 江崎 浩(東大)
- ピアツーピアアプリケーションにおけるセキュリティについての研究
由木泰隆, 江崎 浩(東大)
- インスタントメッセージサービスにおける暗号化を用いたセキュリティの強化に関する研究
金子敬一, 江崎 浩(東大)
- 大規模な OSPF ネットワークにおけるラフィックエンジニアリングに関する研究
吉田 薫, 江崎 浩(東大)
- AS 内部のネットワークの安定性に関する研究
松井佑馬, 江崎 浩(東大)

特別トラック(2)[4T9会場](3月26日(水)15:30~17:30)

IPv6 基盤技術 座長 永見 健一(インテックネットコア)

- IPv4 および IPv6 に対応した時刻同期プロトコルの実装と評価
金子晋丈(東大), 市川雄一(日本通信機), 中山雅哉(東大)
- ポリシーコントロールを考慮した Peer to Peer アーキテクチャーに関する研究
長橋賢吾, 江崎 浩(東大), 村井 純(慶大)

- アプリケーションレベルの遅延ジッタに注目したトラフィック特性の評価と応用に関する研究
山本成一, 江崎 浩(東大)

- A Study on End-to-End Multihoming in IP version 6 Network
Radinal Rachmat, 江崎 浩(東大)

特別トラック(2)[5T9会場](3月27日(木)9:30~12:00)

IPv6 モバイル技術 座長 中山 雅哉(東大)

- HLIN6 の位置登録における認証機構
田中康之, 國司光宣(慶大), 石山政浩(東芝),
河野通宗(ソニーコンピュータサイエンス研), 寺岡文男(慶大)
- LIN6 に基づく Network Mobility を実現するプロトコルの提案
大岩拓馬, 國司光宣(慶大), 石山政浩(東芝),
河野通宗(ソニーコンピュータサイエンス研), 寺岡文男(慶大)
- リンク層情報を利用した高速ハンドオーバ方式の設計と実装
神谷弘樹, 寺岡文男, 國司光宣(慶大)
- プライバシーを考慮した地理位置情報システムの実装と評価
栗栖俊治, 渡辺恭人(慶大),
竹内奏吾(ソニーコンピュータサイエンス研), 寺岡文男(慶大)
- IPv6 Mobile ネットワークにおける複数ホームエージェント
史 虹波, 後藤滋樹(早大)

特別トラック(2)[6T9会場](3月27日(木)14:30~17:00)

IPv6 アプリケーション 座長 砂原 秀樹(奈良先端大)

- IPv6 を基盤としたビジネスモデルの創出に必要な戦略的視点
張 輝(政策研)
- IPv6 インターネット基盤を利用した遠隔教育環境の実現
三川莊子, 小川浩司(慶大), 大江将史(奈良先端大),
加藤 朗(東大), 大川恵子, 村井 純(慶大)
- 工業高校における IPv6 を用いたロボット遠隔操作の実証実験
中村隆敏, 山田成仙(佐賀県立有田工業高校),
山下利秀(佐賀県立多久高校),
緒方俊彦, 溝口正昭, 西村龍一郎(NetCom さが),
大谷 誠, 江頭広幸, 田中久治, 渡辺健次, 近藤弘樹(佐賀大)
- Linux における IPv6 基本ソフトウェアの研究開発
吉藤英明(東大), 神田 充(東芝), 高宮紀明(NTT ソフトウェア),
関谷勇司, 江崎 浩(東大), 村井 純(慶大)
- 情報家電ネットワークに対する Kerberos の適用
鎌田健一(東大), 坂根昌一, 岡部宣夫(横河電機), 江崎 浩(東大)

(特別トラック(3))

セマンティック WEB と WEB サービス)

特別トラック(3)[2T3B会場](3月25日(火)15:15~16:45)

e-learning 座長 斎藤 信男(慶大)

- 概念抽象階層によるモジュラー地図情報システム・アーキテクチャ
阿部知己, 國井利泰(法大)
- サイバー教育の構築に向けて
鈴木二紀, 今井睦俊, 阿部知己, 藤井慎裕,
雪田修一, 小池誠彦, 國井利泰(法大)
- 論理回路設計におけるトップダウン教育の実現手法
藤井慎裕, 今井睦俊, 阿部知己, 鈴木二紀,
雪田修一, 小池誠彦, 國井利泰(法大)

特別トラック(3)[3T3B会場](3月26日(水)9:30~11:30)

オントロジーと知識管理 座長 塚本 享治(東京工科大)

- 材料科学における知識管理モデルの研究
徐 一斌, 衣川純一, 八木晃一(物材研)
- (取消)
- シソーラスを利用したオントロジー統合に基づく知的空間情報検索
齊藤 亮, 田中文基, 金井 理, 岸浪建史(北大)
- ファジィ知識表現システムに基づく Web オントロジー記述言語
森谷俊洋, 伊藤貴康(東北大)
- Web サービスマッチメイキングと信用リスク評価による B2B システム
長野伸一, 川村隆浩, 長谷川哲夫, 大須賀昭彦(東芝)

特別トラック(3)[5T3B会場](3月27日(木)10:00~12:00)

セマンティックWEBの基礎と応用 座長 橋田 浩一(産総研)

- 1 モバイルコンテンツ検索におけるファジー理論を適用したレイティング方式の提案
小俣栄治, 石川憲洋, 角野宏光(NTTドコモ), 曄 余, 彭 泰二, 朱 仲武(日本エリクソン)
- 2 セマンティック・トランスコーディング: Semantic Web のために今やるべきこと 長尾 確(名大)
- 3 Semantic Web 技術を利用したグループウェア WorkWare++
小櫻文彦, 片山佳則, 井形伸之, 渡部 勇, 津田 宏(富士通研)
- 4 Developing an e-business applications for the IBM WebSphere Application server
塚本克治, カンダウエル カンダサミ(工学院大)

(特別トラック(4))

ウェアラブルコンピューティング)

特別トラック(4)[2T4B会場](3月25日(火)15:15~17:15)

映像利用

座長 堀 雅和(インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス)

- 1 MPEG-7 を利用したウェアラブルカメラ映像検索システム
天笠俊之, 兵 清弘, 吉川正俊(奈良先端大), 植村俊亮(名大・奈良先端大)
- 2 ウェアラブル物探し支援システム "I'mHere!" の試作
上岡隆宏, 河村竜幸, 河野恭之, 木戸出正継(奈良先端大)
- 3 ウェアラブルイメージングシステムによる実時間イベント推定
澤島康仁, 相澤清晴(東大)
- 4 Ubiquitous Memories における拡張記憶整理・共有機構の実装
村田 賢, 河村竜幸, 河野恭之, 木戸出正継(奈良先端大)

特別トラック(4)[3T4B会場](3月26日(水)9:30~11:30)

デバイスとマーカー 座長 河野 恭之(奈良先端大)

- 1 ファッション・コミュニケーションのためのLEDを用いた装着型デバイス
岸野泰恵, 塚本昌彦, 義久智樹, 西尾章治郎(阪大)
- 2 方向に基づく振動提示による能動的な情報の知覚手法
早川敬介, 柏谷 篤(NEC)
- 3 ウェアラブルPCのための画像マーカーを用いた屋内位置検出手法とその評価
羽原寿和(阪大)
- 4 ウェアラブルシステムのための赤外線識別子を用いた三次元ユーザ位置・方向検出手法の提案
前田真希(阪大)

特別トラック(4)[5T4B会場](3月27日(木)9:30~11:30)

応用 座長 大野 健彦(NTT)

- 1 Aware-Mail: ウェアラブルコンピューティング環境のためのイベント駆動型メールシステム
三浦直樹, 宮前雅一, 寺田 努, 塚本昌彦, 西尾章治郎(阪大)
- 2 ウェアラブル型ルールベースシステムを用いた農作業支援システム
中尾太郎, 寺田 努, 塚本昌彦, 宮前雅一, 庄司 武, 岸野泰恵, 義久智樹, 西尾章治郎(阪大)
- 3 病棟ウェアラブル端末を用いた看護支援システムの開発
瀬吉隆也, 大星直樹, 黒田知宏, 小山博史, 三富陽子, 井上シノブ, 立花隆夫, 宮地良樹(京大)
- 4 LifeMinder: ウェアラブル健康管理システム
鈴木琢治, 大内一成, 土井美和子, 森田千絵, 佐藤 誠, 仲瀬明彦(東芝)

(特別トラック(5))マイニングとサーチング)

特別トラック(5)[1T5B会場](3月25日(火)13:00~15:00)

Web 検索とWeb マイニング 座長 河野 浩之(京大)

- 1 Web からの同系統単語知識獲得についての実験
野口正人, 廣川佐千男(九大)
- 2 WEB シラバス・クローラーの性能評価
松永吉広, 山田信太郎, 伊東栄典, 廣川佐千男(九大)
- 3 (取消)
- 4 サーチングのための言語情報に基づくWebディレクトリのマップ変換技術
藤田悦郎, 安部伸治, 林 泰仁(NTT)

特別トラック(5)[3T5B会場](3月26日(水)9:30~11:30)

マイニング応用 座長 廣川佐千男(九大)

- 1 プロセスデータに対するデータマイニング手法の検討
河野浩之(京大)
- 2 生体データと加速度データを用いた行動認識
佐藤 誠, 森田千絵, 土井美和子(東芝)
- 3 (取消)
- 4 関連ルールの活用によるコールセンター業務の貢献
嶋津恵子, 門馬敦仁, 山根洋平, 桜井哲志(富士ゼロックス), 古川康一(慶大)
- 5 特徴的ルール生成を用いた遺伝子発現解析
大河内一弥, 牧 秀行, 森田豊久, 富田裕之(日立)

特別トラック(5)[5T5B会場](3月27日(木)9:30~11:30)

マルチメディア検索と表示 座長 森本 康彦(広島大)

- 1 HTML 表データの構造認識と携帯端末表示
塚本修一, 増田英孝(電機大), 中川裕志(東大)
- 2 大規模台風時系列画像コレクションのためのマイニングとサーチング
北本朝展(国立情報学研)
- 3 形状の詳細度を考慮した3次元モデルの形状による類似検索
武井 毅, 南谷高宏, 中澤昌俊, 大淵竜太郎(山梨大)
- 4 見掛けに基づく特徴量を用いた3次元形状の形状類似検索
中澤昌俊, 武井 毅, 南谷高宏, 大淵竜太郎(山梨大)

(特別トラック(6))言語バリアフリー技術)

特別トラック(6)[3T5A会場](3月26日(水)9:30~12:30)

手話・障害者支援 座長 乾 健太郎(奈良先端大)

- 1 吃音音声の認識
柳田益造(同志社大)
- 2 音声障害者音声の健常者音声への帰納的学習を用いた音声変換手法の提案と基礎実験
村上浩司, 荒木健治, 広重真人(北大), 板内香次(北海学園大)
- 3 聾学生, 健聴学生, 手話学習者の「読み」の認知処理は同じか?
田中光子(無所属)
- 4 胃部レントゲン検査における高齢者・聴覚障害者向け情報提供システムの開発
佐川浩彦, 松田純一, 楠 貴晴, 田中英之(日立), 高橋英孝(昭和)
- 5 (取消)
- 6 携帯端末を利用した手話学習支援システム
-i アプリ対応手話学習支援システム 佐藤昌延(東京工科大), 山田晃路(キャンソフソフトウエア), 亀田弘之, 原田俊信(東京工科大)

特別トラック(6)[1T6会場](3月25日(火)13:00~15:00)

字幕・要約作成 座長 鈴木 雅実(ATR)

- 1 聴覚障害者に対する情報保障の現場から
徳田昌晃(千葉県PC要約筆記研究会「らびっと」/ 全国手話通訳問題研究会千葉県支部)
- 2 日本人による国際標準語(英語)発声を対象とした自動音声認識
大崎功一, 倉田岳人, 峯松信明, 広瀬啓吉(東大)
- 3 音声出力を目指したニュース記事要約と変換方法
佐藤 大, 増田英孝(電機大), 中川裕志(東大)
- 4 平易な表現への言い換えに必要なテキスト修正処理
藤田 篤, 乾健太郎(奈良先端大)

特別トラック(6)[2T6会場](3月25日(火)15:15~17:45)

機械翻訳と異文化間コミュニケーション 座長 菊井玄一郎(ATR)

- 1 機械翻訳の精度を上げるための構文解析の提案
岩垣守彦(前・玉川大)
- 2 翻訳一対比較法の自動化に関する検討
安田圭志(ATR-SLT/同志社大), 菅谷史昭(KDDI 研), 竹澤寿幸, 菊井玄一郎, 山本誠一(ATR-SLT), 柳田益造(同志社大)
- 3 機械翻訳を介したオープンソースソフトウェア開発:
Intercultural Collaboration Experiment 2002
野村早恵子(京大), 船越 要, 山下直美(NTT), 安岡美佳, 石田 亨(京大)
- 4 目的指向の異言語間コミュニケーションにおける機械翻訳の有効性の分析
- 異文化コラボレーション ICE2002 実証実験から -
小倉健太郎, 林 良彦(NTT), 野村早恵子, 石田 亨(京大)

- 5 コミュニティ型機械翻訳サイト「訳してねっと」の基盤技術とその展開
北村美穂子, 村田稔樹, 介弘達哉,
下畑さより, 佐々木美樹, 松永聡彦, 中川哲治(沖電気)
特別トラック(6)[3T6会場](3月26日(水)9:30~12:30)
語学学習支援 座長 奥村 学(東工大)
- 1 Web上の辞書を利用したメタ辞書の構築
南野朋之, 奥村 学(東工大)
- 2 日本語学習支援システム「あすなる」開発の新しい展開
-- 構文学習とその評価 --
阿辺川武, 八木 豊, 澤谷孝志,
戸次徳久, 奥村 学, 仁科喜久子(東工大),
杉本茂樹, 傳 亮(フouzラボ)
- 3 日本語教育支援システム「おさる」における文字・語彙分類
BHOOSHAN RAJ NEUPANE, EDSON T. MIYAMOTO,
松本裕治(奈良先端大)
- 4 ESP 適合の教材生成を目指した語学教育支援システム
佐野 洋(東京外語大)
- 5 字幕付きテレビニュース放送を題材とした CALL システムにおける
副音声の利用 小林 聡, 田中敬志, 中川聖一(豊橋技科大)
- 6 米語母語話者の誤聴取・誤理解を誘発する日本人英語発音誤りに関する
実験的検討 郭 長深, 峯松信明, 広瀬啓吉(東大)
- 特別トラック(6)[5T6会場](3月27日(木)9:30~12:30)
多言語情報アクセス 座長 菊井玄一郎(ATR)
- 1 『多言語同時処理』研究の射程と言語間バリアフリー
堀 一成, 青野繁治, 藤家洋昭(大阪外語大),
石島 倣(大阪府立産総研), 脇田由実(松下電器), 高階美行(大阪外語大)
- 2 Lexical Functional Grammar に基づく多言語テキストへのアクセス
大熊智子, 増市 博(富士ゼロックス)
- 3 日英新聞記事対応付けデータを用いた翻訳メモリと言語模範検索
内山将夫, 井佐原均(通信総研)
- 4 日米バイリンガル手話辞典の試作
鈴木恵美子, 垣花京子(東京家政学院筑波女子短大)
- 5 日本語からアジア諸言語への機械翻訳の試み
今井啓允, 高木優紀江, 酒井美和, 謝 軍, ト 朝暉,
Thelijjagoda Samantha, Elikewalla Nayana,
Chau Nguwen My, 池田尚志(岐阜大)
- 6 デジタルアーカイブにおける異体字を含むテキストの取り扱い方式の提案
来住伸子(津田塾大)
- (特別トラック(7) パーチャル・ヒューマン技術)**
特別トラック(7)[2T7A会場](3月25日(火)16:30~19:00)
VR 環境構築技術 座長 角所 考(京大)
- 1 有限要素法に基づく大動脈弓モデル構築と硬さ提示能力の評価
糸 直人, 中尾 恵, 黒田知宏, 小山博史(京大), 小森 優(滋賀医大)
- 2 医用VR シミュレーションを目的とする弾性体間の力学的相互作用モデル
黒田嘉宏, 中尾 恵(京大), 黒田知宏, 小山博史(京大病院),
小森 優(滋賀医大), 松田哲也(京大)
- 3 仮想人体に対して高精度な切開・変形操作を可能とする適応型力学
フレームワーク 中尾 恵, 黒田知宏, 小山博史(京大),
小森 優(滋賀医大), 松田哲也(京大)
- 4 力覚提示機能を備えたモーションキャプチャシステムの構築
崔 雄, 鄭 承珠, 橋本直己, 長谷川晶一, 佐藤 誠(東工大)
- 5 力覚を介したリアクティブパーチャルヒューマンの構築に関する一考察
鄭 承珠, 崔 雄, 橋本直己, 長谷川晶一, 佐藤 誠(東工大)
- 特別トラック(7)[3T7A会場](3月26日(水)9:30~12:00)
動作生成 座長 乃万 司(九工大)
- 1 モーションキャプチャシステムによる複雑な人物動作の表現
仲野陽介, 四倉達夫, 杉崎英嗣, 森島繁生(成蹊大)
- 2 高齢者身体関節可動域を考慮した転倒動作のシミュレーション
趙 航, 周 輝, 蔡 東生(筑波大)
- 3 モーショングラフによる自律的エージェントの動作経路の生成
船津 聡, 齋藤 豪, 中嶋正之(東工大)
- 4 隠れマルコフモデルに基づく腕の動きの生成
吉岡元貴, 益子貴史, 小林隆夫(東工大)
- 5 隠れマルコフモデルに基づくハンドジェスチャー生成の検討
高御堂雄三, 羽岡哲郎, 益子貴史, 小林隆夫(東工大)
- 特別トラック(7)[4T7A会場](3月26日(水)17:30~19:00)
動作の計測・分析・格納 座長 斉藤 豪(東工大)
- 1 4 計測システム: 複数カメラを用いた動物体の3次元形状計測
飯山将晃, 亀田能成, 美濃導彦(京大)
- 2 Motion Texture: Motion analysis by self-organization to criticality
周 輝, 趙 航, 蔡 東生(筑波大)
- 3 大規模な動作データに基づくシミュレーションミドルウェア
栗山 繁, 向井智彦, 入野裕輔, 按田和幸, 花村真孝(豊橋技科大)
- 特別トラック(7)[5T7A会場](3月27日(木)9:30~12:00)
顔表情と感情の表現 座長 角 康之(ATR)
- 1 擬人化音声対話エージェントのための顔画像合成モジュールの開発
四倉達夫, 森島繁生(成蹊大)
- 2 影響力マップを用いた顔画像合成の提案
祖川慎治, 四倉達夫, 森島繁生(成蹊大)
- 3 モデル・テクスチャ・皺のレンディングによる顔表情の表現
高橋光紀, 森島繁生(成蹊大)
- 4 パーチャル・ヒューマンにおける, センサと流体解析を利用した髪表現
鈴木智也, 新井政行, 加藤清敬(東理大)
- 5 3次元マルチユーザ仮想環境内のコミュニケーション表情アバターによる
感情表出と理解 橋見 孝, 小島隆次, 米田英嗣(京大)
- 特別トラック(7)[2T7B会場](3月25日(火)16:30~19:00)
対話エージェント 座長 徳永 健伸(東工大)
- 1 サービスロボットのための対話システム
- 物体認識を成功に導く対話制御と未知語推定
滝澤正夫, 榎原 靖, 白井良明, 島田伸敬(阪大)
- 2 人間型ロボットにおける対話エージェント
西山高史, 星野 洋, 澤田一哉, 馬場 朗,
関根剛宏, 山田和喜男, 寺澤 章, 仲島了治(松下電工)
- 3 Chatterbots: A very large English-based robot knowledge using
AIML multilingual XML based dialogue representation.
苔米地英人(コグニティブリサーチラボ), リチャードワレス,
ダブリー エイムレス(A.L.I.C.E. Artificial Intelligence Foundation)
- 4 仮想空間中のエージェントとの対話による行動制御
岡崎 篤, 船越孝太郎, 徳永健伸, 田中穂積(東工大)
- 5 キャラクターエージェントによる英会話学習支援システム
Justinus Juli(東大)
- 特別トラック(7)[3T7B会場](3月26日(水)9:30~12:00)
実世界と言語使用 座長 飯田 仁(東京工科大)
- 1 ユビキタスセンサーによるインタラクション・コーパスの収集と
インタラクション分析への応用
坊農真弓(神戸大), 鈴木紀子(ATR メディア情報科学研),
片桐恭弘(ATR メディア情報科学研 / 神戸大)
- 2 パーチャル・ヒューマンの空間表現語理解における諸問題
小島隆次(京大)
- 3 知的エージェントにおける日本語による空間表現と仮想空間内の対応
小山智史, 齋藤 豪, 中嶋正之(東工大)
- 4 対話システムにおけるプランベースの照応解析
徳永健伸, 関谷幸恵, 田中穂積(東工大)
- 5 複文による指示発話中の動作間の関係の特定
小泉 雄, 齋藤 豪, 奥村 学(東工大)
- 特別トラック(7)[4T7B会場](3月26日(水)17:30~19:00)
パーチャル・ヒューマンシステム 座長 土肥 浩(東大)
- 1 TelMeA2002: 擬人化メディアを用いた非同期型オンラインコミュニティ
システム 高橋 徹, 片桐恭弘(ATR メディア情報科学研)
- 2 仮想都市環境におけるパーチャル・ヒューマンの開発
中西英之, 板倉豊和, 杉山香織,
岡本昌之, 山中信敏, 石田 亨(京大)

- 3 Chatty Agent - 電話対話に参加する社会的エージェント -
 出山敦祥, 中原 淳, 角 康之(ATR メディア情報科学研),
 間瀬健二(名大)

特別トラック(7)[5T7B会場](3月27日(木)9:30~12:00)

- 対話における音声処理 座長 大野 澄雄(東京工科大)
- 「バーチャル・ヒューマン」の実現のための「心」のモデル
藤崎博也(東大), 大野澄雄(東京工科大)
 - オブジェクト同定のための語彙の視覚状況依存性の分析とモデル化
山岸洋子, 河原達也, 美濃導彦(京大)
 - PUIを目的とした音声情報からの知覚的年齢の自動推定
山内景太, 峯松信明, 広瀬啓吉(東大)
 - エージェント対話システムのための対話処理と応答文生成
多胡順司, 広瀬啓吉, 峯松信明(東大)
 - HMM音声合成における発話スタイルの制御
山岸順一, 大西浩二, 益子貴史, 小林隆夫(東工大)

(特別トラック(8) デジタルコンテンツ制作とIT)

特別トラック(8)[2T8A会場](3月25日(火)15:15~17:15)

- コンテンツ制作技術 座長 金子 満(東京工科大)
- 心地よい手描き曲線の明細的特徴の解析と再現
森本崇之, 高木佐恵子, 吉本富士市(和歌山大)
 - 色も誇張された3次元似顔絵生成システム
武本征士, 高木佐恵子, 吉本富士市(和歌山大)
 - 3次元メッシュモデルの特徴を残したフィルタリング
田中稔彦, 大淵電太郎(山梨大)
 - 誇張・省略表現のためのモーションキャプチャ活用モデルの提案
川島基展, 小澤賢侍, 三上浩司, 金子 満(東京工科大)

特別トラック(8)[4T8A会場](3月26日(水)15:30~17:00)

- コンテンツ制作システムと制作手法 座長 三上 浩司(東京工科大)
- 関数形音楽プログラミング言語の可視化手法 増田勇樹(慶大)
 - 映像コンテンツの音響制作を効率化する為の効果音検索
- 擬音語による効果音検索手法の提案 -
林 郁(慶大), 金子 満(東京工科大)
 - 3Dビデオコンテ制作システム「ジオラマエンジン」
徳原 徹(慶大), 金子 満, 三上浩司(東京工科大)

(特別トラック(9) 消費者のためのセキュリティ)

特別トラック(9)[2T9会場](3月25日(火)14:45~17:15)

- 消費者のためのセキュリティ 座長 村山 優子(岩手県大)
- 学習履歴のネットワークを通じた利害調整
前野謙二, 原田康也, 楠元範明(早大), 辰己丈夫(神戸大)
 - 一般消費者のインターネット利用環境におけるリスクと対処可能な対抗策
梶原 悟(新潟国際情報大)
 - 閉じ込め型を用いたリージョンマネージャに基づくセキュアJava/LR
石井祐平, 伊藤貴康(東北大)
 - Compartment Mode OSの考察と実装方式の検討
佐藤慶浩(日本ヒューレット・パッカート)
 - 教育機関におけるネットワーク運用支援システムの設計と構築
岡本将彦, 辰己丈夫(神戸大)

(特別トラック(10) e-Japanの進展)

特別トラック(10)[5T10会場](3月27日(木)9:30~12:30)

- 電子政府ポータル 座長 磯部 悦男(三菱)
- 官民連携ポータルの構築・運用基盤の機能構成に関する研究
中田和雄(三菱)
 - 汎用電子申請システムの開発について 兒嶋 衛(NEC)
 - 電子政府における様式作成の効率化について
近藤良子(日本ユニシス)
 - 電子自治体向けフォームベースシステムと検索・記入・提出用ポータルサイトの構築法
中所武司(明大), 藤原克哉(秋田大)
 - 電子申請におけるXML様式のタグ標準ガイドライン
丸井一也(三菱)
 - XBRLとOracleの取り組み 作田淳子(日本オラクル)

特別トラック(10)[6T10会場](3月27日(木)14:30~17:00)

- 電子政府実現技術 座長 谷内田益義(東工大)
- e-Japan 認証基盤における認証方式とその統合化に関する一考察
道坂 修, 中山 亮, 春山 智, 上島康司, 岩城 修(NTTデータ)
 - 証明書の電子化における証明書存在証明方式における一考察
高村昌興, 上島康司, 中村太一(NTTデータ)
 - 行政手続データベースの構築 富川直毅(三菱)
 - 自治体における文書管理とセキュリティについて
堀 亮一(日本オラクル)
 - The Virtual Knowledge Balanced Scorecard for e-Government
Peter M. Yamakawa Tsuja, 松本充司(早大)

公開講演・招待講演・特別トラック・シンポジウムの概要

公開講演 映画・アニメが進化する - デジタルで変わる映像表現の世界 -

3月26日(水) 13:00-15:00 [メイン会場(研究所棟 B1F B01)]



司会：金子 満(東京工科大)

1961年フジテレビ入社、地上最大のクイズ、木枯らし紋次郎、リビング4などを企画制作し、独立してアニメプロダクションを設立、NHK「子鹿物語」でCGをはじめて利用し、その後アメリカでもCGプロダクションを運営、「トータルリコール」でアカデミー特別視覚効果賞を受賞した。帰国後武蔵野美術大学、慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスを経て、現在東京工科大学片柳研究所でデジタル映像システムを研究開発している。

[講演概要]

今から100年ちょっと前、薄暗いスクリーンから観客に向かってくる機関車を初めて観て当時のパリッたちは度肝を抜かれたといひます。それから半世紀、技術の進歩は映画を変えました。音が付く、色が付く、立体視ができ、スクリーンサイズが変わり・・・しかし、今の変化は只者ではありません。デジタル技術は、映画の内容ばかりでなく、その映写方法や鑑賞システムまで変えようとしています。これは映画ばかりでなく、印刷出版やテレビ、ビデオ、ゲームにとっても同じです。21世紀はコンテンツ(中身)の時代と言われています。デジタル技術はコンテンツをどう変えるのでしょうか。本日は漫画(コミックス)、実写映画、アニメという三つの分野で日本を代表する三人の作家が、この津波のように押し寄せる技術をどう捉え、どう利用しているかを見せていただきながら、わくわくするような近未来のデジタル映像表現の世界を覗いてみたいと思っています。



篠田 正浩(映画作家)

昭和6年3月9日生まれ、岐阜出身。昭和24年県立加納高等学校を卒業、同年早稲田大学第一文学部に入学。中世、近世演劇を専攻。昭和28年早稲田大学文学部を卒業、同年松竹撮影所に入社。昭和35年『恋の片道切符』で監督になる。大島渚、吉田喜重らと共に、松竹ヌーベル・ヴァークとして前衛的名作品を発表し始める。昭和41年松竹を退社して、フリーとなる。昭和42年独立プロ『表現社』を妻の岩下志麻と共に設立し、自主制作を始める。

主な作品と受賞歴・『心中天網島』(キネマ旬報ベストワン、ヴェネチア、ロンドン映画祭招待作品)『沈黙』(芸術選奨文部大臣賞、カンヌ映画祭正式出品作品)『無頼漢』(1971年アデレイド国際映画祭銀の南十字星賞)『札幌オリンピック』(1972年オリンピック委員会公式記録映画)『はなれ瞽女おりん』(アジア太平洋映画祭監督賞)『瀬戸内少年野球団』(ブルーリボン賞、ヒューストン国際映画祭外国映画賞)『鍵の権三』(1986年度ベルリン映画祭銀熊賞)『舞姫』(日独合作作品)『少年時代』(ブルーリボン賞、毎日映画コンクール日本映画大賞、日本アカデミー賞)『写楽』(1995年度カンヌ映画祭正式出品作品、日刊スポーツ映画大賞、毎日映画コンクール日本映画優秀賞、日本アカデミー優秀作品賞)『瀬戸内ムーンライト・セレナーデ』(日本映画批評家大賞)短編『浮舟』(京都宇治市『源氏物語ミュージアム』にて常設上映)『梟の城』(日刊スポーツ映画大賞・石原裕次郎賞、2000年ブチオン国際ファンタスティック映画祭・最優秀監督賞)最新作『スパイ・ゾルゲ』2003年6月公開

[講演概要]

1960年に監督になってから様々な映画のための技術革新に立ち会って来た。まだソニーが東通工と言われた時代の磁気テープが撮影所に持ち込まれ、フィルムサウンドに変わる局面を目の当たりにした。次がハイビジョンである。森鷗外の『舞姫』で、スエズ運河を通過する船上を再現しなければならなかった。海面、19世紀の客船、砂漠と駱駝そして人物の合成が必要になった。フィルム合成の限界を越えるこのリクエストに対応するために、ハイビジョン合成からフィルムへの転換を試みた。この体験からピクセル(画素)という概念を知った。50万画素のテレビ、200万画素のハイビジョン、そしてフィルムの2000万画素のスクニングへと。1995年製作の『写楽』は17世紀末の江戸を舞台にした浮世絵師や歌舞伎役者の物語である。初めてデジタル合成、CGを駆使することでダイナミックに都市空間を再現できた。この技術体験から『梟の城』で安土桃山文化、『スパイ・ゾルゲ』失われた昭和の東京を復元することができた。デジタル映像の開発進化は、映画の企画に多大の可能性を与えると思う。



モンキーパンチ(漫画作家)

1937年生まれ、すでに作家歴は30年を超える。アメコミ「MAD」誌の影響を強く受け、1967年「ルパン三世」の連載開始。以来「一宿一飯」「シャム猫」などの連載をはじめ、テレビシリーズや劇場用長編アニメーションなど数多くの作品があり、海外にも多くのファンを持つ国際的な作家となる。漫画界きってのデジタル機器の使い手として有名。

[講演概要]

漫画の技法にデジタル技術が取り入れられたのは、そんなに昔の話ではありません。漫画家はペンや絵の具があればそれなりの表現が可能なので、映画やアニメのように機械やシステムが入り込む余地があまりなかったからです。しかしデジタル技術は1度使ってみると随分便利なものですね。やり直しやコピーなど、どんなに手間が省けるようになったか、もう後ろに戻ることはないでしょう。本日は私のスタジオをビデオで紹介しながら、漫画やコミックスの世界に浸透しつつあるデジタル技術を紹介します。そして、私の取り組んでいる夢もお話ししましょう。



りんたろう(アニメ作家)

1941年東京生まれ。TVアニメーション『鉄腕アトム('63)』で監督デビュー。[主たる監督作品]TVアニメーション監督作品：『ジャングル大帝('65)』『ムーミン('69)』『キャプテン・ハーロック('78)』等々。長編アニメーション監督作品：『銀河鉄道999('79)』『幻魔大戦('83)』『カムイの剣('85)』『火の鳥・鳳凰編('86)』『迷宮物語('87)』『X('96)』『メトロポリス('01)』

[講演概要]

従来のセル・アニメーション技法は、鉛筆/絵筆/固定された撮影機/等々を基本道具として作り上げてきた映像世界です。実写映画とは違ってあくまで平面で表現して来たアニメーションは、限られた道具(不便さも含め)を駆使しながら、擬似的空気感や立体感を取り込むことによって『映画』としての表現を追求し確率して来ました。それが現在のセル・アニメーションの世界です。そのセル・アニメーションの世界にコンピュータという強力な道具が加わって来ました。そして一気にデジタル化の波が押し寄せたアニメーション界は、この新しき道具を取り込むことによって変貌を遂げつつあります。限られた道具に比べ表現の幅は一気に広がることでしょう。同時にその利便性ゆえにデメリットも自ずと生まれて来ます。以上述べた事柄を検証しながら『デジタルで変わる映像表現の可能性』を話してみたいと考えています。

招待講演 (1) The IEEE Computer Society - Implementing the Vision -

3月25日(火) 10:40-11:40 [メイン会場(研究所棟 B1F B01)]



Steve Diamond (IEEE-CS 会長)

Stephen L. Diamond has served the Computer Society since 1977. He is currently the 2001 president-elect (2003-president), and served as the Second Vice President for Standards Activities. Most recently, Diamond was a member of the 1997-1999 Board of Governors. He also serves as the CS Web editor-in-chief, and serves on the IEEE Micro magazine editorial board and the Electronic Products & Services Committee. He was editor-in-chief of IEEE Micro in 1995-98, served three terms as vice-chair of the Standards Activities Board, and two terms as chair of the Microprocessor Standards Committee. Diamond is a member of the IEEE Standards Association Board of Governors. Diamond has 28 years of engineering, marketing, and management experience in semiconductors, systems, standards, and software. He is director of market development at National Semiconductor, with responsibility for alliances, joint ventures, and acquisitions. Previously, he was president of Picosoft Inc., a high-technology consulting firm; director of standards at SunSoft; director of component marketing at Sun Microsystems; director of systems and applications at National Semiconductor; general manager of the Microprocessor Division of Synertek/Honeywell; and staff research associate at the University of California, San Francisco. He has authored over 20 technical publications on computer architecture, memory and microprocessor technology, DSP, AI, and computer graphics.

[講演概要]

The IEEE Computer Society's mission is to be the leading provider of technical information and services to its members, the world's computing professionals. Our Total Information Provider (TIP) initiative is intended to become an electronic expression of the Society as a whole, eventually encompassing all Society products and services. TIP will offer a portal bringing together a collection of rich technical information from a variety of sources--from the Society's high-quality, peer reviewed publications and outside publishers. It will also offer enhanced tools for networking and communication among members, providing discussion forums, bulletin boards, and electronic meetings.

招待講演 (2) 大学改革とIT人材の育成

3月27日(木) 13:00-14:00 [メイン会場(研究所棟 B1F B01)]



相磯 秀夫(東京工科大学学長)

1932年生まれ。1957年慶應義塾大学大学院工学研究科修了。大阪大学工学部助手・通産省工技院電気試験所技官を経て、1971年慶應義塾大学工学部教授。1990年同大学湘南藤沢キャンパスの設立に参加し、環境情報学部ならびに大学院政策・メディア研究科の初代学部長・委員長。1999年東京工科大学に移籍し、メディア学部の新設ならびに大学改革に従事。現在、東京工科大学学長・慶應義塾大学名誉教授・工学博士。

[講演概要]

学問の急速な進歩と社会の激しい変化は大学に大幅な改革を求めている。大学は学術の発展と社会のニーズに応える双方の視点から、また教育・研究の面のみならず大学の経営・組織の観点から見直すことが問われている。学実の発展に大きな役割を果たしてきた中核的な学問は時代とともに変わりつつある。現時点では、情報・通信技術(IT)に関わる学問が諸学問の基盤になっているが、これからは人間や環境に優しい学問が中心になるはずである。しかし2030年代の情報社会の成熟に向かって、実社会は当分の間、ITの高度な発展を期待している。また、わが国の経済復興・発展にもITの本格的な活用が必須になっている。そのような意味で、最先端の知識と高度な技能をもったIT関連の人材の育成が急務である。本講演は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスならびに東京工科大学における大学改革の体験を紹介し、改革遂行の要点について述べる。また、諸学問の共通基盤となるITに関わる人材育成のあり方について提言する。

特別トラック (1) ユビキタスコンピューティング - 都市と、家庭と、自動車内と -

基調講演 (1) 3月25日(火) 13:05-14:00 [T1A 会場(研究所棟 4F 401)]
「ユビキタスコンピューティングの目指すもの：将来像と現状」



徳田 英幸(慶大)

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長兼環境情報学部教授 1975年 慶應義塾大学工学部卒、1977年 同大学大学院工学研究科修士課程修了、1983年 ウォータールー大学計算機科学科博士課程修了、1990年 カーネギーメロン大学計算機科学部研究準教授、1996年 慶應義塾大学環境情報学部教授、1997-2001年 慶應義塾常任理事、2001年 同大学大学院政策・メディア研究科委員長

[講演概要]

"ユビキタスコンピューティング"は、もともと80年代末にゼロックス・パロアルト研究所のMark Weiser氏がポストPC時代のコンピューティング環境として提唱した。本来の"ユビキタス"とはラテン語で「(神々が)同時に至る所にいる(ある); 遍在する」ということを意味している。しかし、彼が、本当に意図したところは、意識せず、ストレスなく、自然に我々のタスクを遂行でき、それをコンピュータやネットワークがそっと支援してくれるといったコンピューティング環境である。ユビキタスコンピューティング環境実現に向けての最大のチャレンジは、現在のインターネット環境をさらに発展させ、身のまわりに存在する"あらゆる物"がネットワークにつながり、もっと"ストレスなく、安心して"人々の生活を支える社会基盤として機能するユビキタスネットワーク環境へと進化させることである。本講演では、ユビキタスコンピューティング環境実現に向けての課題と将来像について述べる。

基調講演(2) 3月25日(火) 14:00-15:00 [T1A会場(研究所棟4F 401)]
「ユビキタスコンピューティングテストベッドの目指すもの」



森川 博之(東大)

昭62 東大・工・電子卒。平4 同大学院博士課程修了。現在、同大学・創域・基盤情報・助教授。工博。平9～10 コロンビア大学客員研究員。コンピュータネットワーク、ユビキタスネットワーク、モバイル/分散コンピューティング等の研究に従事。IEEE、ACM、ISOC、情報処理学会、映像情報メディア学会、情報理論とその応用学会各会員。丹羽記念賞、電子情報通信学会篠原記念学術奨励賞、論文賞、情報処理学会論文賞等受賞。

[講演概要]

「ユビキタスコンピューティング」や「どこでもコンピュータ」といった言葉が示唆する世界への扉が今まさに開こうとしている。デバイスの小型・高性能・省電力化、時間や場所を選ばずにインターネット接続ができる小型無線端末、サービスのプラグ・アンド・プレイを実現する自動設定技術などがユビキタスへの原動力となっている。本講演では、来るべきユビキタス時代に向け、特にユビキタスネットワーキングという観点からアプリケーションシナリオを示し、その技術的課題を明らかにするとともに、構築を進めているSTONEルームテストベッドを紹介する。さらに、STONEルームでの実験を介して得られた知見に基づいた、ユビキタスコンピューティング時代の創出に向けての道筋を示す。

特別講演 3月26日(水) 15:30-17:30 [T1A会場(研究所棟4F 401)]
「情報家電における混合音認識の重要性：聖徳太子コンピュータ」



奥乃 博(京大)

1972年東京大学教養学部基礎科学科卒業。NTT、科学技術振興事業団、東京理科大学を経て、2001年京都大学大学院情報学研究所知能情報学専攻教授。博士(工学)。スタンフォード大学客員研究員、東京大学工学部客員助教授。推論機構、音環境理解、ロボット聴覚等の研究に従事。人工知能学会論文賞、IEA/AIE-2001 最優秀論文賞、テレコム技術賞奨励賞、IEEE/RSJ IROS-2002中村賞 finalist。本学会英文図書出版委員。

[講演概要]

音声認識システムがPCに標準装備されるようになり、音声でさまざまな機器に指示したいという夢は手の届く範囲に入ってきた。しかし、音声指示をしたところ、想定していた機器とは違う機器に命令が行き、大混乱を引き起こすというのは、漫画などでの定番のドタバタ劇である。従来の音声認識システムは、音声という単一音源を想定してシステムが構築されており、複数の音源から同時に音が生じる場合には、音声認識の精度が大きく低下する。我々は、通常システムが聞く音は混合音であるという立場に立ち、混合音分離の研究に取り組んできた。

本講演では、実環境での混合音分離での課題、ヒューマノイドロボット用聴覚機能の課題を挙げ、上半身ヒューマノイドに搭載した実時間複数話者追跡、体の動きを伴った聴覚機能であるアクティブオーディションなどについて解説を行い、3話者同時発話認識について報告をする。

パネル討論(1) 3月25日(火) 15:15-17:15 [T1A会場(研究所棟4F 401)]
「ユビキタスコンピューティングのインフラストラクチャ及び関連技術の構想と展望」

[討論概要]

ユビキタスコンピューティングの重要なインフラとなる街角無線 LAN 構想とその利用形態などを描いていただく。

このようなインフラストラクチャの下、人間活動を支援するプラットフォームや携帯機器の研究開発も進んでいる。特に街中でのIP通信に近い将来のようなものになるか、その未来像を提供すべく、街中の無線 LAN インフラストラクチャ構想と、そこにおけるPC以外の新しい機器に焦点をおいて討論していただく。



司会：伊藤 日出男(産総研)

1959年：福岡県に生まれる。1978年：東北大学工学部に入学。1984年：同大学工学部電子工学科修士課程修了。1984年：通産省工業技術院電子技術総合研究所に入所。2001年：独立行政法人 産業技術総合研究所に改組。サイバーアシスト研究センターデバイス研究チーム長として現在に至る。ビーム偏向半導体レーザ、室内測位通信システムと携帯情報通信端末(マイボタン)の研究開発に従事。



パネリスト：小野田 哲也(NTT-ME)

'88 早大卒 / '90 早大院了 / '90NTT 伝送研入所。光加入者系、高速ファイル転送等の研究開発に従事。'99～'00 Carnegie Mellon 大客員研究員。'00～'01 IEEE ComSoc Asia Pacific Board (APB) Secretary '02～'03 APB Info. Service /Tech. Affairs Committee Vice Chair。'01～NTT-MEにてCDN、公衆無線 LAN サービスの構築に従事。工学博士('02 早大)。



パネリスト：梅田 英和(スカイリー・ネットワークス)

1972年東京都八王子市生まれ。株式会社スカイリー・ネットワークス設立(2001/7～)有限会社グラム・デザインで開発した「Boogie」を基盤として、ワイヤレス市場での基本ソフトウェア、開発ツール及び通信サービスを提供する会社として設立。同社代表取締役最高経営責任者に就任。セミナー講師、記事執筆など新技術の普及活動を活発に行う。



パネリスト：中村 圭祐(ソフトバンク BB)

昭和53年4月：電子部品卸売商社入社。昭和57年3月：立命館大学基礎工学部卒業。平成6年8月：ソフトバンク株式会社入社。ソフトバンク・ネットワーク・センター(大阪センター)に出向し、ネットワーク教育関連業務に従事。平成9年8月：ソフトバンク・テクノロジー株式会社設立に伴い転籍、大阪センターにてネットワーク関連業務に従事。平成11年8月：本社(東京)に転勤。平成13年11月：BBテクノロジー(現ソフトバンク BB)に出向、Yahoo!BB モバイル事業の立ち上げに従事。平成15年2月：ソフトバンク BB 株式会社に転籍(現職)。



パネリスト：長谷 良裕(鷹山)

京大大学院修士了(地球物理学)、阪大院博士後期課程了(通信工学)、工学博士。郵政省電波研(現通信総研)入所以来、高速移動通信研究室長、第二研究チームリーダー、企画室長、上席研究員等を歴任し、各種無線通信システムの研究開発に従事。その間に米テキサス大客員研究員、TAO成層圏無線プラットフォームR&Dプロジェクト統括サブリーダー、横浜国大助教授等を併任。通信総研を2002年9月末退職し、10月より現職。電子情報通信学会会員、米国 IEEE 上級会員。

パネル討論(2) 3月27日(木) 14:30-17:00 [T1A 会場(研究所棟 4F 401)]

「ユビキタスコンピューティング：都市と自動車内と」

[討論概要]

「ユビキタス」というコンピュータとネットワークに関する新しい考え方が、21世紀のライフスタイルやビジネス、さらには社会までを変えるとされている。本パネル討論では、このユビキタスコンピューティング/ネットワークの概念、およびそれがもたらす未来社会のイメージや具体像を明らかにするとともに、その実現のための様々な取り組みの事例を議論する。

司会：森川 博之(東大)

(略歴は「基調講演(2)」を参照)



パネリスト：中島 秀之(産総研)

1983年、東京大学大学院情報工学専門課程修了(工学博士)。人工知能、特に知識表現、推論などを状況依存性の観点から研究。最近ではマルチエージェントならびに複雑系の情報処理に興味を持っている。産業技術総合研究所サイバーアシスト研究センター長。北陸先端科学技術大学院大学客員教授。認知科学会会長、ソフトウェア科学会理事、人工知能学会会員、情報処理学会理事、マルチエージェントシステム国際財団理事。主要編著書：知的エージェントのための集合と論理(共立出版)、思考(岩波講座認知科学8)、記号の世界(岩波書店)、Prolog(産業図書)。http://www.carc.aist.go.jp/nakashim



パネリスト：屋代 智之(千葉工大)

平成2年慶應義塾大学理工学部計測工学科卒業。平成10年同大学大学院理工学研究科博士課程修了。同年より千葉工業大学工学部情報ネットワーク学科専任講師。現在同大学情報科学部情報ネットワーク学科助教授。博士(工学)。LANの媒体アクセス制御方式、高度道路交通システム(ITS)、モバイル・コンピューティング等の研究に従事。高度交通システム研究会幹事。著書「コンピュータネットワーク」(オーム社)等。電子情報通信学会、人工知能学会、IEEE各会員。



パネリスト：船橋 哲也(NTTコミュニケーションズ)

1982年：横浜国立大学大学院卒。同年電電公社入社。1999年：NTTコミュニケーションズ発足に伴い、NTTコミュニケーションズ株式会社ネットワーク事業部ネットワーク企画部設備計画部門長。2000年5月：経営企画部ローカルアクセスタスクフォースサービス企画部門担当部長。2002年3月：現職。



パネリスト：安田 豊(KDDI)

1975年京都大学修士卒(電子工学専攻)。同年よりKDD研究所にてデジタル衛星通信、誤り訂正方式等の研究開発に従事(1984年工学博士)。1984年インマルサット(国際移動衛星機構)出向、1994年アステル東京出向などを経て、1998年KDD本社IMT-2000推進室長、2000年同社執行役員。2000年10月の3社合併後KDDI理事、移動体技術本部モバイルIT部長、2001年技術開発本部ITS推進部長を経て2002年6月から現職。



パネリスト：瀬戸 洋一(日立)

(1979年 慶應義塾大学工学研究科修了(電気工学)、同年(株)日立製作所入社 システム開発研究所配属、以来、衛星画像処理、医療画像処理、地理情報処理、ITS、情報セキュリティの研究開発に従事。セキュリティビジネスセンター センタ長を経て、現在、同研究所情報セキュリティ担当主管研究員。情報処理学会、IEEE各会員、ISO SC37委員長、ISO SC17 WG11主査。INSTAC JIS化主査、工学博士(慶大)、技術士(情報工学)。

チュートリアル(1) 3月26日(水) 9:30-12:00 [T1A 会場(研究所棟 4F 401)]

「誰でもできる日曜プログラミング(1) - 自分だけのインターネットブラウザを作る - 」



講師：天野 真家(東芝)

(株)東芝研究開発センター。1973年京都大学大学院・工・電気・修士。自然言語処理の研究に従事。日本語ワードプロセッサ、機械翻訳システム等の自然言語処理の研究開発、ICOTプロジェクト、EDRプロジェクトなどに従事。本会理事。

[講演概要]

Windowsのインターネット・エクスプローラのコンポーネントを利用して、ポーランド(株)のDelphiという言葉で、ボタンを貼り付けていくだけの操作で簡単なブラウザを作ります。ブラウザ作りを通して、ビジュアルなプログラミング環境を各自のPCに構築し、またAPIの利用の仕方の入り口を経験することにより、家庭で日曜プログラミングができる下地を作ることを目標にしています。なお、時間があれば、ブラウザのエラー処理など、20~30行程度のコードの書き方も試みる予定です。

チュートリアル(2) 3月27日(木) 9:30-12:00 [T1A 会場(研究所棟 4F 401)]

「誰でもできる日曜プログラミング(2) - 自分だけのJava アプレットを作る - 」



講師：瀬川 淳一(東芝)

(株)東芝研究開発センター。1999年九州大学大学院システム情報科学研究科知能システム学専攻修士課程修了。同年(株)東芝入社。XML関連の研究、開発に従事。

[講演概要]

プログラミング経験があまり無い初心者の方々を対象に、簡単なJavaアプレットを作成する講義を行います。講義内容は、開発環境のインストールに始まり、Javaアプレットの説明、Javaアプレット作成の実習、Javaアプレットを読み込むHTMLの作成実習を予定しています。実習として作成して頂くJavaアプレットは、簡単なミニゲームを想定しており、初心者の方でも受講することにより、手軽に作成することが可能です。プログラミングに興味はあるのだが、機会が無いために始められないという方々が、これを機にプログラミングを始めて頂ければと考えてます。なお、Javaの開発環境にはポーランド(株)が個人・教育用として無償提供しているJBuilder 7 Personalを用いる予定です。

特別トラック(2) IPv6を基盤としたインターネットの新展開

基調講演 3月27日(木) 11:00-12:00 [T2会場(研究所棟 4F 402)]
「実空間インターネット：日本での役割・世界への責任」



村井 純(慶大)

現職：慶應義塾大学環境情報学部 教授。1955年生まれ。1984年慶應義塾大学工学部数理工学博士課程修了。1987年博士号取得。1984年東京工業大学総合情報処理センター助手、1987年東京大学大型計算機センター助手。1990年慶應義塾大学環境情報学部助教授を経て1997年より現職。1999年慶應義塾大学SFC研究所所長。1984年JUNETを設立。1988年WIDEプロジェクトを設立し、今日までその代表として指導にあたる。社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター理事長。ICANN ボード。著書「インターネット」、「インターネットII」(岩波新書)、監訳「インターネットシステムハンドブック」(インプレス)、「IPv6:次世代インターネットプロトコル」(プレントイスホール)他。

[講演概要]

21世紀の情報通信基盤は、インターネットプロトコルIP(Internet Protocol)をそのコア技術として、信頼性のある産業・生活基盤としての役割を果たさなくてはならない。インターネット技術は、デジタル化された知識と情報を、人々に提供したり、人々の間で共有したりすることがその主な利用法であったといえる。ところが、半導体技術を核としたデジタル情報処理技術の発展は、計算機以外のデジタル機器をも、インターネットに接続することを可能にし、それにともない、これまでは、ネットワークされることになかった機器までも、インターネットに接続されようとしている。センサーノードをはじめとして、身の回りに、さまざまなデジタル機器を配備することによって、新しい情報空間を創造する方向性が模索されている。単に、たくさんのデジタル機器を備えさせた、いわゆるユービキタス・ネットワーク環境とともに、はっきりとした目的を達成するために必要なデジタル機器を配備するといった、現実的な検討が推進され、グローバルな実時間インターネットの構築に向けて多くの展望が開けてきた。さまざまな実空間インターネットの現状と課題について多角的に議論する。

パネル討論(1) 3月26日(水) 10:30-12:00 [メイン会場(研究所棟 B1F B01)]
「ブロードバンドとコンテンツ流通」

[討論概要]

インターネット電話サービスは、フラットレート課金を前提とした、ブロードバンド環境の急速な導入と普及に伴い、急速に普及しようとしている。インターネット電話は、いわゆるVoIP(Voice over IP)に関する技術を集約して展開されるサービスである。PSTN網やCTIシステムとの相互接続に関する技術的およびビジネス的課題、さらには、インターネット電話サービスの次に展開されるであろう、本格的な、これまでの電話網的なマルチメディアではない、「マルチメディア」通信の方向性と課題。本パネルでは、技術的な観点から、インターネット電話の現実と課題、そして、今後の展開に関する議論を行う。



司会兼パネリスト：櫻井 智明(キールネットワークス)

平成9・1 リアルネットワークス株式会社 技術部長として入社。平成10・12 株式会社キールネットワークス設立/代表取締役社長就任。平成12・9 株式会社スパイナルコード設立/代表取締役社長就任。平成13・6 株式会社スパイナルコード/代表取締役社長退任。平成14・6 株式会社エコス/取締役就任。平成14・8 株式会社ディメンジョンワークス/代表取締役社長就任。平成9・1 慶応大学環境情報学部 村井研究室研究員。平成11・6 財団法人インターネット協会 インターネット放送部会副会長。平成13・3 総務省情報通信審議会 専門委員、情報通信審議会情報通信政策部会インターネット基盤委員会 所属。現在に至る。



パネリスト：桑名 栄二(NTT-BB)

1984年電気通信大学大学院修士課程修了。同年、日本電信電話公社に入社。以後、ソフト工学、CSCW、インタラクティブシステム等の研究開発に従事。1991年～1992年ミシガン大学客員研究員。2001年からNTTブロードバンドイニシアティブ(株)にて、コンテンツ流通システムの開発に従事。情報処理学会論文誌編集委員会主査(応用分野)、同GW研究会幹事等を歴任。博士(工学)。



パネリスト：今井 祐二(富士通研)

1992年名古屋大学工学部情報工学専攻修士前期過程修了。同年、株式会社富士通研究所入社。高信頼OS、大規模Webクラスタの研究に従事。2000年University of California Irvine, Department of Information and Computer Science 訪問研究員。現在、IPv6上のコンシューマ向けマルチキャストの研究開発に従事。

パネル討論(2) 3月26日(水) 15:30-17:30 [T2会場(研究所棟 4F 402)]
「IPv6ビジネス展開」

[討論概要]

IPv6技術は、これまでのインターネットの発展と進化を支えてきたエンドエンドアーキテクチャモデルを維持しながら、これまでのインターネットでは収容していなかったいわゆる計算機以外のデジタル機器をインターネットを接続し、それらが、自律的に相互にデジタル情報を共有交換加工するような環境を提供する。このような環境では、これまでのサイバースペースとしての情報空間ではなく、リアルスペースと情報空間の融合が起こる。本パネルでは、このようなIPv6技術が切り開くリアルスペースインターネットにおける新しい情報通信のビジネス展開の方向性と技術課題を議論する。



司会：江崎 浩(東大)

87年九州大工学部電子工学科修士課程了。同年4月(株)東芝入社。90年米国ベルコア社、94年米国コロンビア大学客員研究員。94年ラベルスイッチ技術のもととなるCSR技術をIETFに提案。98年より東大大型計算機センター助教授、2001年より現職(東大情報理工学系研究科助教授)。WIDEプロジェクトボードメンバー。IPv6普及・高度化推進協議会専務理事。工学博士(東京大学)。



パネリスト：神牧 秀樹(日立)

1987年同志社大学工学部電気工学科卒業。同年日立製作所入社。システム開発研究所に所属。P C / W Sシステムの研究開発を経て現在、I PネットワークのシステムL S I、端末システムの研究開発に従事。電機学会会員。



パネリスト：藤原 憲明（松下電工）

1956年生まれ。1980年京都大学工学部数理工学卒業。大学時代の研究は論理システム。1980年松下電工入社。コンピュータ応用解析・計測業務を中心としたアプリケーション開発に従事。1996年12月から約2年間米国にてオブジェクト指向システム開発の研究開発後、システム開発推進部にてソフトウェア・オートメーション、ミドルウェア開発、インターネット接続機器システム、特にIPv6関連機器とシステムの行い現在に至る。



パネリスト：矢野 和男（日立）

昭59年早大修士了。同年日立中研入社。工博。低温用素子、バストランジスタ論理、単一電子素子、SoC技術の研究に従事。平3年アリゾナ州立大客員研究員。現在システムLSI研究部長としてセンサネット、システムオンチップ、新メモリに関する研究を推進。IEEE Paul Rappaport 賞、Lewis Winner 賞、Jack Raper 賞を受賞。



パネリスト：高木 康志（NTT）

1985年阪大・工・産業機械卒。1987年同大大学院修士課程了。同年日本電信電話（株）入社。以来、ATMネットワークおよびシステム構成方式の研究実用化、IPサービスネットワーク構成方式の検討、ADSLサービス網構成方式の検討、移動体IPコアネットワーク構成方式および次世代モビリティ技術の研究実用化等に従事。現在NTTネットワークサービスシステム研究所主幹研究員。

**パネル討論（3） 3月27日（木）9:30-11:00 [T2会場（研究所棟 4F 402）]
「インターネット電話の現状と今後の展開」**

[討論概要]

インターネット電話サービスは、フラットレート課金を前提とした、ブロードバンド環境の急速な導入と普及に伴い、急速に普及しようとしている。インターネット電話は、いわゆるVoIP(Voice over IP)に関する技術を集約して展開されるサービスである。PSTN網やCTIシステムとの相互接続に関する技術的およびビジネス的課題、さらには、インターネット電話サービスの次に展開されるであろう、本格的な、これまでの電話網的なマルチメディアではない、“マルチメディア”通信の方向性と課題。本パネルでは、技術的な観点から、インターネット電話の現実と課題、そして、今後の展開に関する議論を行う。



司会：砂原 秀樹（奈良先端大）

奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター長。88年慶応義塾大学工学部博士課程修了。村井純（慶應義塾大学環境情報学部教授）らとともに、1984年からJUNET、1988年からWIDEプロジェクトを通じて、日本におけるインターネットの構築とその研究に従事。



パネリスト：村田 利文（ソフトフロント）

1981年北海道大学大学院修士過程（電子工学）修了。大学院在学中の1980年、札幌で同級生とピー・ユー・ジーを設立し取締役に。1992年に退職して独立。その後、合併を経て1997年に。VoIPを手掛けるソフトフロントの代表取締役となり現在に至る。地域の産業活性化のためのビジネス交流組織「札幌 Biz Cafe」のボードメンバーも努めている。



パネリスト：平山 義明（フュージョン・コミュニケーションズ）

千葉大学工学部卒業。ソード（株）、日本高速通信（株）、KDD（株）、クロスウェブ（株）をへて、2001年7月にフュージョン・コミュニケーション（株）立ち上げ参画。現在に至る。



パネリスト：奈須野 裕（日本テレコム）

昭和58年4月 NTT入社、電子・デジタル交換機技術者として一歩を踏み出す。平成5年4月 日本テレコム入社、技術開発室（現在サービス開発本部）にて、インテリジェントネットワークの研究開発とITU-Tの標準化に貢献。平成10年12月、次世代IP統合ネットワーク構想（PRISM）の実現を取りまとめ発表。IP-VPNやVoIPの研究開発に従事。技術士（電気・電子部門）。著書：企業を変える次世代IPネットワーク（リックテレコム）

**チュートリアル（1） 3月26日（水）9:30-12:00 [T2会場（研究所棟 4F 402）]
「IPv6技術の概要と現状」**

講師：江崎 浩（東大）

（略歴は「パネル討論（2）」を参照）

[講演概要]

IPv6技術は、1990年頃から、インターネット技術の世界標準を決定しているIETF(Internet Engineering Task Force)において、その技術検討が開始され、既に基本的な技術標準化が完了しています。IPv6システムは、政府のe-Japan戦略においても中核的な基盤技術として位置付けられ、いわゆる研究的な開発および実験から、実運用・商用運用の段階へと進展しました。本チュートリアルでは、IPv6技術が導入されるべき必要性和必然性を解説するとともに、IPv6技術の詳細と今後の技術課題、IPv6技術の開発状況と実ネットワークへの導入状況、各国におけるIPv6に関する取り組みを解説し、今後の展開を展望します。

チュートリアル(2) 3月27日(木) 14:30-16:00 [T2会場(研究所棟4F 402)]
「ピアツーピアアーキテクチャ」



講師：齊藤 賢爾(慶大)

1993年、コーネル大学大学院計算機科学科工学修士課程修了。日立ソフトウェアエンジニアリング(株)、ジオワークス(株)における小型情報通信機器の基本ソフトウェア開発およびサポートエンジニアを経て、現在、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程に在籍。ピアグループによるオーバーレイネットワークのためのインフラストラクチャや、その応用としてのインターネット上での自由通貨の研究を行なう。ACM会員。

[講演概要]

このチュートリアルでは、近年、ファイル共有等の分野で特に注目を集めているピアツーピアという概念について、その意味を整理し、最新の研究トピックを紹介するとともに、それがインターネットのアーキテクチャに与えるインパクトについて考えます。予定している内容は次の通りです：1)ピアツーピアの歴史；2)ピアツーピアの意味；3)ピアツーピアとオーバーレイネットワーク；4)分散ハッシュテーブル技術とその応用；5)最新の研究トピック；6)将来の展望。ピアツーピアの考え方の多くは、長年培われてきた分散コンピューティングの研究成果に基づいています。今、私たちは、これまで分散シムについて何を考えてきたか、見直すよい時期に来ていると言えるのではないのでしょうか。このチュートリアルを通して、ピアツーピアとは一体何なのか、私たちに何が変わるのか、私たちに何が出来るのか、みなさんが考える上での一助となれば幸いです。

特別トラック(3) セマンティック Web と Web サービス

基調講演 3月25日(火) 13:00-14:30 [メイン会場(研究所棟B1F B01)]
「XML, WEB サービス, セマンティック WEB」



溝口 理一郎(阪大)

1977年阪大大学院基礎工学研究科博士課程修了。1978年大阪大学産業科学研究所助手、1987年同研究所助教授、1990年同教授。現在に至る。工学博士。パターン認識関数の学習、クラスタ解析、音声の認識・理解、エキスパートシステム、知的CAIシステム、オントロロジー工学の研究に従事。1985年Pattern Recognition Society論文賞、1988年電子情報通信学会論文賞、1996年人工知能学会創立10周年記念論文賞、1999年ICCE99 Best paper Award受賞。人工知能学会理事、電子情報通信学会論文誌編集委員、教育システム情報学会理事、同学会誌編集委員長を歴任。情報処理学会、日本認知科学会、Intl. AI in Education (IAIED) Soc., AAI, IEEE, APC of AACE 各会員。現在、IAIED Soc. 及び APC of AACE の会長。

[講演概要]

次世代のウェブ技術としてのセマンティックウェブやWebサービスが今、熱い注目を集めている。理想的にはウェブ上の全情報は一つの巨大知識ベースと見なせるようになる。ウェブサービスの知性化による応用範囲は、簡単な問い合わせの知的処理から大規模な分散問題解決まで止まるところを知らない。マルチエージェントでの協調的情報エージェントやデジタルシティなどの研究においてもセマンティックウェブ技術は不可欠となる。セマンティックウェブの知的機能を本質的に支えるのがオントロジーであり、それは異種の知識源の相互運用性を保証する役割を担う。更にオントロジーに基づいて定義された意味タグは、Semantic Annotation Computing という新しい知識処理のパラダイムを創出する。そして全ての計算メカニズムを支えるXMLベースの言語体系の問題がある。本講演では人工知能研究者の目から見た、セマンティックウェブを中心とした研究の課題、動向について述べる。

パネル討論(1) 3月25日(火) 15:15-17:15 [T3A会場(研究棟A 5F 502)]
「セマンティック WEB はこう使いたい」

[討論概要]

セマンティックWebを支えるメタデータやオントロジー技術の応用として、情報検索、ナレッジマネジメント(KM)、EAI(企業内情報共有)、コンテンツマネジメント、eラーニングといった分野が有望視されている。本パネルでは、特に情報検索/KM/eラーニングの応用を中心に、セマンティックWeb技術の活用について各分野の専門家による討論を行い、今後の展望とこれから解決すべき課題を明らかにしたい。



司会：津田 宏(富士通研)

1989年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士了。同年(株)富士通研究所入社。1989-1995 ICOTに出向し知識表現の研究に従事。復職後は情報検索およびWebマイニングの研究開発に従事。博士(理学)。ACL, ソフトウェア科学会, 人工知能学会各会員。



パネリスト：野村 直之(法政大)

1984年東京大学工学部卒業。NEC C&C 情報研究所, EDR, MIT AI Lab., Justsystem を経て現職。Concept Base 関連ソフト, 文章要約, 一太郎9およびJava/XMLワープロのレイアウト認識機能を設計。九州大学より博士(理学)。XML Consortium, Evangelist, BM学会KM研究会座長。"1st Workshop on NLP and XML", Chair。



パネリスト：杉本 重雄(筑波大)

京都大学工学部情報工学科, 同大学院工学研究科情報工学専攻修了。京都大学工学部助手を経て, 1983年図書館情報学に転任。2002年10月筑波大学との大学統合により, 筑波大学・図書館情報学系・教授。知的コミュニティ基盤研究センター勤務。デジタルライブラリ全般に関心を持つが, 研究の中心はメタデータに関する技術。Dublin Core Metadata Initiativeでは評議委員会, 諮問委員会のメンバー。



パネリスト：佐藤 宏之(NTT)

平成8年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。同年日本電信電話株式会社入社。以来, ソフトウェア研究所, 現在所属している情報流通プラットフォーム研究所にて, 協調学習支援システム, オフィスの知識共有支援などのネットワークコミュニティの研究を行う。現在, 超高速Webクルージング技術(InfoLead)および, P2Pの技術を用いてRDFのメタデータとコンテンツを流通する知識流通プラットフォームの研究開発に従事。INTAP セマンティック Web 委員会委員。



パネリスト：山名 早人（早大）

昭和39年生。昭和62年早大・理工・通信卒。平成元年修士了。平5年博士了。博士(工学)。平成元～5年早大・情報科学研究教育センター助手。平成5～12年通産省工業技術院電子技術総合研究所。平成8～9年通産省機械情報産業局電子機器課課付。平成12年早大・理工助教授。現在に至る。研究奨励賞(平成5年)。山下記念研究賞(平成7年)。ベストオナー賞(平成12年)。情報検索、並列化コンパイラ・アーキテクチャ等の研究に従事。



パネリスト：池田 満（阪大）

1984年宇都宮大学工学部情報工学科卒業。1986年同大学院修士課程修了。1989年大阪大学大学院博士課程修了。同年、宇都宮大学助手。1991年大阪大学産業科学研究所助手。1997年同助教授。現在に至る。工学博士。形式言語の構文解析、仮説推論、帰納推論、知的教育システム、オントロジー工学、ナレッジマネージメントの研究に従事。1996年人工知能学会創立10周年優秀論文賞受賞。電子情報通信学会、情報処理学会、教育システム情報学会会員。ISO/SC36 WG2（協調学習の技術標準化ワーキンググループ）主査。

**パネル討論(2) 3月26日(水) 15:30-17:30 [T3A 会場(研究棟 A 5F 502)]
「セマンティック・WEB・サービス」**

[討論概要]

このパネルではセマンティックWebとWebサービスを関連性について議論を行い、その将来の方向を占う。セマンティックWebとWebサービスは共に現在のWebが抱える機械処理の困難さを解消を目指すという目標は一致しているが、その実現の方法は異なる。たとえば、機械処理の導入においては、セマンティックWebは人間と機械の協調を主眼とするのに対して、Webサービスはソフトウェア同士の堅牢な協調を目指しているなど、さまざまな点で差異と共通性がある。このパネルでは主に企業においてセマンティックWebとWebサービスに関わっている方に参加いただき、実際のプラットフォームやアプリケーションにおけるセマンティックWebとWebサービスをご紹介していただくとともに関連性や連携、統合の可能性について議論を行う。



司会：武田 英明（国立情報学研）

1991年3月東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。1993年4月奈良先端科学技術大学院大学助手。1995年4月同助教授。2000年4月国立情報学研究所助教授。現在に至る。総合研究大学院大学助教授を併任。人工知能特に知識共有、ネットワークコミュニティ、実世界エージェントなどの研究に従事。AAAI、電子情報通信学会、人工知能学会など会員。



パネリスト：小倉 弘敬（日本IBM）

1964年生。1987年電気通信大学電気通信学部通信工学科卒業。同年日本アイ・ビー・エム(株)入社。現在ソフトウェア開発研究所所属専任開発技術部員。EAIおよびソフトウェアの再利用に関する研究開発に従事。情報処理学会会員、INTAPセマンティックWeb委員会委員。



パネリスト：萩原 正義（マイクロソフト）

1993年、マイクロソフト株式会社入社。Software Architect。分散オブジェクト、トランザクション、セキュリティ技術の技術啓蒙とアーキテクチャ策定に従事。最近では、言語非依存な実行環境、タイプシステム、XMLデータモデル、RDF、アナリシスパターン、分散システムのデザインパターンとスケーラビリティ、特にworkflowのトランザクションモデル、マルチパラダイム設計に興味を持つ。過去に、Microsoft PDC、TechEd、ACM SIGMOD、情報処理学会オブジェクトシンポジウム、JavaOneなどで講演。1998-99年、DDJ日本版(翔泳社刊)で"Inside COM Architecture"を連載した。



パネリスト：浦本 直彦（日本IBM）

1988年九州大学工学部電子工学科卒業。1990年同大学院総合理工学研究科情報システム学専攻修了。同年、日本アイ・ビー・エム(株)入社。東京基礎研究所にて、機械翻訳システム、情報検索システムなどの研究開発を経て、XML関連のインターネット技術の研究開発に従事。博士(工学)。2000年11月より、国立情報学研究所実証研究センターフルテキストコンテンツ研究室客員助教授。



パネリスト：秋藤 俊介（日立）

1986年東京大学工学部船舶工学科卒業。1988年同大学院修士課程終了。同年(株)日立製作所入社。同社システム開発研究所に所属。エキスパート・システムなどの研究を経て、ワークフロー管理システムとWebサービス関連技術の研究に従事。

**パネル討論(3) 3月27日(木) 14:30-17:00 [T3A 会場(研究棟 A 5F 502)]
「セマンティックWEBの次に来るもの」**

[討論概要]

機械に理解できる知的コンテンツの半自動的なオーサリングとその社会的共有を普及させることによりさまざまな高度情報サービスを実現しようという目標は、学術や産業や政治や教育など、社会のあらゆる側面にわたる広範なインパクトを持ちうる、きわめて重要な課題であり、セマンティックWEBを含む複数の試みの間で共有される理想である。しかし、そもそもこの目標を十全に成就するには、DAML+OILやOWLに基づく狭義のセマンティックWEBを越えるビジョンが必要かも知れない。たとえば、コンテンツの意味を機械が理解するだけではなく、人間と機械がその理解を詳細なレベルで共有することが重要ではないか。あるいは、WEBに限定した技術ではなく、実世界をも射程に入れるべきではないか。このパネルディスカッションでは、これらを含むさまざまな観点を総合しつつセマンティックWEBの次に拓かれるべき展望を論ずる。



司会：橋田 浩一（産総研）

産業技術総合研究所サイバーアシスト研究センター副研究センター長。1981年東京大学理学部情報科学科卒業。1986年同大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。1986年電子技術総合研究所入所。1988年から1992年まで(財)新世代コンピュータ技術開発機構に出向。2001年より現職。専門は自然言語処理、人工知能、認知科学。インテリジェントコンテンツ等の情報インフラに基づくグラウンディングとその応用に興味を持つ。



パネリスト：山口 高平（静岡大）

1979年大阪大学工学部通信工学科卒業，84年同大学院工学研究科博士後期課程修了．同年，大阪大学産業科学研究所助手．89年静岡大学工学部助教授．現在，静岡大学情報学部教授．工学博士．定理証明の研究を経て，知識システム，知識発見，ビジネスモデリング，オントロジーに関する研究に従事．1991，1998年度人工知能学会研究会奨励賞，1992年度人工知能学会全国大会優秀論文賞．電子情報通信学会，人工知能学会，日本認知科学会，AAAI，IEEE-CS，ACM 各会員．

パネリスト：横井 俊夫（東京工科大）

1966年電気試験所（現在：産業技術総合研究所）に入所．1982年（財）新世代コンピュータ技術開発機構へ出向，第五世代コンピュータプロジェクトの推進に従事．1987年日本電子化辞書研究所へ出向，電子化辞書プロジェクトの推進，運営に従事．1995年フィリピン国NCCへ派遣，ODAプロジェクトの推進，指導に従事．1997年東京工科大学工学部教授，1998年同大学メディア学部教授となり現在に至る．工学博士．

パネリスト：内田 裕士（国連大）

パネリスト：武田 英明（国立情報学研）

（略歴は「パネル討論（2）セマンティック・WEB・サービス」を参照）

**チュートリアル（1）3月25日（火）13:30-15:00 [T3A 会場（研究棟 A 5F 502）]
「E-Learning と知識管理」**



講師：清木 康（慶大）

1978年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業．1983年慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了．工学博士．同年，日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所入所．1984年筑波大学電子・情報工学系講師，1988年同大学助教授を経て，1996年慶應義塾大学環境情報学部助教授，1998年同大学教授．1990年～1991年カリフォルニア大学アーバイン校，および，テキサス大学オースティン校にて客員研究員．データベースシステム，知識ベースシステムの研究に従事．1999～現在，情報処理学会データベースシステム研究会主査，情報処理学会論文誌「データベース」編集委員長．7th International Conference on Database Systems for Advanced Applications プログラム委員長．

[講演概要]

本チュートリアルでは，レガシーデータベースとしてネットワーク上に存在する既存の学術情報群を対象とした知識発見，知識獲得を目指した高度なE-Learningを支援する知識管理環境としての知識ベースシステムの構成方式について概観する．人文社会科学，自然科学，芸術などの様々な学問領域において現在までに蓄積された情報源としてのデータベースおよび知識ベース群は，個別の分野ごとに独立なデータ構造，データ表現，言語表現を扱っており，それらのデータベース群，知識ベース群を統合することによって実現される大局的な知識の集約，および，それらを編集することによって構成される新たな英知を発信する知識ベースシステムの実現は，新たな学問領域を開拓する上で大変重要である．本チュートリアルでは，既存データベース群を連結することにより，様々な学問領域を越えた知識の発見，融合，および，発信を実現する知識ベースシステムを構築するための基礎技術，構成方式，および，展望について解説する．

**チュートリアル（2）3月26日（水）10:30-12:00 [T3A 会場（研究棟 A 5F 502）]
「WEB サービスとその現状」**



講師：細見 格（NEC）

1993年神戸大学大学院修士課程修了．同年日本電気（株）入社．自然言語インタフェース，マルチモーダルインタフェース，デジタルコンテンツ流通などの研究開発を経て，現在はデジタルアセット管理およびデジタル著作権管理を中心とした研究開発に従事．（財）情報処理相互運用技術協会（INTAP）セマンティック Web 委員会委員．

[講演概要]

Web サービスの基本と応用事例，これを取り巻く現状と課題，およびセマンティック Web との関係について述べる．Web サービスという言葉が示すものはサービスの提供者，利用者，開発者など各立場や観点によって異なるが，まずは SOAP，WSDL，UDDI といった標準ベースの XML Web サービスについて概説する．また，その基盤となる技術や規格について，現在あるものや開発中のものを挙げる．一例として具体的な Web サービスを想定し，そのサービスに関する様々な立場からのニーズや課題を探りながら，現状で対応可能な部分やその方法，未解決の問題などを明らかにしていく．さらに，それらの中でセマンティック Web がどのように関わり，どのような場面で適用効果が期待できるかについて，Web サービス仕様記述用のオントロジ言語 DAML-S を利用したサービス合成支援システムなど，例を交えて考察する．

**チュートリアル（3）3月27日（木）10:30-12:00 [T3A 会場（研究棟 A 5F 502）]
「W3C の活動とその成果」**



講師：萩野 達也（慶大）

1981年京都大学理学部卒業．1983年同大学院理学研究科数理解析専攻修了．1986年エジンバラ大学理学部計算機科学科 Ph.D. コース修了．Ph. D. in Compute Science．1990年慶應義塾大学環境情報学部専任講師，2001年同教授，現在に至る．1997年より World Wide Web Consortium Deputy Director of Asia を兼任．

[講演概要]

World Wide Web Consortium (W3C) では Web の可能性を最大限に引き出すために Web の基盤となる技術の標準化を行っている．本チュートリアルでは，W3C のこれまでの活動を概観し，HTML から XML に進んできた標準化活動について解説する．特に，Web サービスに関しては現在活発に標準化活動が行われており，その内容について説明する．また，セマンティック Web に関しても普及活動を活発に行っており，セマンティック Web が作り出す Web の世界について説明する．さらに，セマンティック Web と Web サービスの関連についても言及する．

特別トラック(4) ウェアラブルコンピューティング

基調講演(1) 3月25日(火) 13:00-14:00 [T4A 会場(メディアホール1F 大教室)]
「ネイチャーインタフェイスへ向かうウェアラブル技術」



板生 清(東大)

1966年東京大学工学部精密機械工学科卒。68年同大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻修士課程修了。マサチューセッツ工科大学客員研究員、日本電電公社電気通信研究所研究室長・記憶装置研究部長・研究企画部長などを歴任。92年中央大学理工学部精密機械工学科教授、96年東京大学工学部精密機械工学科・大学院工学系研究科教授を経て、東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻・教授。工学博士。日本時計学会会長。精密工学会副会長。日本学術会議メカトロニクス専門委員会委員長。環境プランナー運営委員長。日本学術会議メカトロニクス専門委員会委員長。特定非営利法人「ウェアラブル環境情報ネット推進機構」(WIN)理事長。環境情報誌「ネイチャーインタフェイス」総監修。

[講演概要]

携帯情報端末の近未来形は、センサを搭載したワイヤレスマイクロ端末となるであろう。このような端末のサイズはボタンのように小さくキーボードレスで情報が入力され、コンピュータによって、情報処理されて自動発電により情報発信ようになる。人間の五感機能を拡張してネイチャー(本質)を捉えるマイクロ情報システムの構築が可能となる。このときのサービスの基本形態は地球・人間・人工物のヘルスケアである。すなわち、地球環境情報センシング、人間健康情報センシング、人工物の故障予知センシングとそれらの情報の処理・表示にある。このようなネイチャーインタフェイスの世界の構築をめざした取り組みをご紹介します。また、東京大学教官を中心として設立したNPO法人WIN(ウェアラブル環境情報ネット推進機構)は、産官学の人々と技術的・社会的研究を行っている。社会のニーズを掘り起こしてシステムを設計しこれらを構成する要素技術にまで分解して、システム構築にフィードバックするというNPOの重要な狙いについてもご紹介する。

基調講演(2) 3月25日(火) 14:00-15:00 [T4A 会場(メディアホール1F 大教室)]
「ウェアラブルコンピューティングの可能性」



志水 英二(大阪市大)

1939年4月23日生。1963年大阪大学工学部電子工学科卒業。同年4月大阪市大学工学部電気工学科助手、1983年同教授、電子回路学講座担当、現在に至る。電子回路、オプトエレクトロニクス、光コンピュータ、立体テレビ、ウェアラブルコンピュータの研究に従事。工学博士。イメージ情報科学研究所ハイパーイメージメディア研究グループリーダー。電子情報通信学会、電気学会、テレビジョン学会、IEEE、SPIEなどの正員。

[講演概要]

最先端技術がその時代の基幹技術に成長するためには三つの条件が必要である。それらは「既成概念からの脱却」「不可能の可能化」「必需への成長」である。コンピュータは計算機という既成概念を自動機能という機能で超越し、新しい姿を獲得するとともに、人類のいくつかの夢を実現し、現代社会の基幹技術として成長した。ウェアラブルコンピュータに関する研究者は、1日の数時間の仕事についてのみ人間を助けることができないデスクトップコンピュータに比べ24時間の日常生活を支援できるコンピュータとしてウェアラブルコンピュータの豊かな将来性を語ってきた。しかし、付け心地の悪いヘッドマウントディスプレイ、腰に不自由を与える超小型コンピュータと電源、これが24時間の日常生活を支援できるコンピュータであろうか。ウェアラブルというすばらしい機能を実現するには衣類型しかありえない。ウェアラブルコンピュータは衣類にしてこそ、伝統的な衣類が不可能であった夢を現実化し必需品になり、21世紀の基幹技術のひとつになり得る。

招待講演(1) 3月26日(水) 15:30-16:30 [T4A 会場(メディアホール1F 大教室)]
「ウェアラブルコンピューティングのビジネス展開」



山村 道男(ザイブナー)

長崎県生まれ。1978年九州大学総合理工学研究科修士課程終了。日立マイコン(株)にてMOS型イメージセンサーの開発をへて1982年ソニー(株)入社。CCDイメージセンサーの開発に従事。2000年ザイブナー社に入社。本社VPを経て2001年9月ザイブナー株式会社代表取締役役に就任。

[講演概要]

ウェアラブルコンピューティングは、ユビキタス社会の重要な技術として以前から注目されていたが、最近はいろいろな産業の現場において、実際に使えるコンピューターとしてより具体的な検討が進められ、何に、どのように使うかの方向性が定まりつつある。期待されている市場は、従来からの飛行機やプラントの保守点検業務に加えて、ホテルなどのサービス業から環境調査や農業まで多岐にわたり、将来に向けてさらに広がる可能性がある。ザイブナー社はウェアラブルコンピュータの草分けとして90年代の初めからこの分野に向けたマシンを提供し、産業界での具体的な用途開拓を進めてきた。講演では具体的な事例を中心にウェアラブルコンピュータを実際の産業に適用する場合の課題と今後の見通しを述べる。

招待講演(2) 3月26日(水) 16:30-17:30 [T4A 会場(メディアホール1F 大教室)]
「複合現実型情報強化環境 - モバイル、ウェアラブル、ユビキタスの次に来るもの - 」



田村 秀行(キヤノン)

1970年京都大学工学部電気工学科卒業。工学博士。工業技術院電子技術総合研究所主任研究官を経て、1986年キヤノン(株)入社。現在同社MRシステム開発センター所長。1997年より2001年まで(株)MRシステム研究所取締役を兼務し「複合現実感研究プロジェクト」を率いた。日本VR学会複合現実感研究委員会委員長、人工知能学会監事。本学会論文賞等受賞。編著書「コンピュータ画像処理」(オーム社)など。

[講演概要]

IT革命の結果来たるべき「ユビキタス社会」では、現実の世界のあらゆる場所が電子的な情報で強化され、自然で快適な情報の流通・活用がなされる「情報強化環境」が実現していると期待されている。その進化形として、電子的な生成された仮想世界のデータが現実世界に融和して、体験者の目の前にリアルタイムで継ぎ目なく提示される「複合現実型情報強化環境」が考えられる。これを実現する基盤技術は、実世界のセンシング技術とCG・CV技術が統合された「複合現実感」(Mixed Reality; MR)として芽生えつつある。

本講演では、我が国が世界をリードするこのMR技術の発展過程と現状を具体的な事例を交えて紹介する。さらに、MR分野にとっては「屋内から屋外へ」、モバイル/ウェアラブル分野にとっては「単純な情報提示からMR型体験へ」、「複合現実型情報強化環境」の構築に向けて取り組むべき研究課題を指摘する。

パネル討論(1) 3月25日(火) 15:15-17:15 [T4A会場(メディアホール1F大教室)] 「ヘッドマウントディスプレイの屋外利用」

[討論概要]

HMD(ヘッドマウント・ディスプレイ)のメーカー担当者たちが集まり、実際に製品を市場に投入したという“貴重な生の経験”から、その魅力や可能性について“本心”で語る。来るべきユビキタス・コンピューティングの時代の中で、HMDは、キーデバイスとしてどのような位置づけとなりうるのか?特許・PL法・ハードウェア的制限などの問題点はどこなのか?パネリストの顔ぶれ、この時期というタイミングから歴史的なセッションとなる(パネリストもHMDを装着して登壇を予定)。



司会: 遠藤 諭(アスキー)

1956年、新潟生まれ。『月刊アスキー』編集長。システムエンジニアを経て、1985年アスキー入社。1990年より現職。著書に、黎明期の日本のコンピュータ開発者にインタビューした『計算機屋かく戦えり』、朝日新聞に連載した『遠藤諭の電腦術』、ハッカーの生態を語った『近代プログラマの夕』など。1980年前後のゲーム機をはじめとするデジタルガジェットを蒐集。最近、韓国のサイバースペースやネットコミュニティを取材している。



パネリスト: 井場 陽一(オリンパス)

1978年: オリンパス光学工業株式会社に入社、顕微鏡光学系の研究・開発に従事。1990年: 光学研究グループリーダー、ステッパーレンズの開発に従事。1994年: FMDグループリーダー、HMDの研究・開発に従事。2000年: FMD事業推進部長、HMDの事業化に従事。2001年:(現職)ディスプレイ担当部長、HMDを含むディスプレイ事業の企画立案と要素技術の研究に従事。



パネリスト: 草場 匡宏(クアルコムジャパン)

平成3年4月: 日本アイビーエム東京基礎研究所副主任研究員。平成9年10月: ケンブリッジテクノロジーパートナーズシニアコンサルタント。平成12年1月: ウィットキャピタル証券テクノロジーアナリスト。平成13年6月: 大和総研主任研究員。平成14年9月: クアルコムジャパンビジネス開発部長。現在。



パネリスト: 中原 康博(島津製作所)

昭和63年4月:(株)島津製作所航空機器事業部生産技術課入社(航空機器用補助動力装置の生産技術担当)。平成8年1月:(株)島津製作所航空機器事業部営業部東京支社第二営業課(ディスプレイ全般の担当)。航空機器用補助動力装置の生産技術に従事し、平成8年以降は両眼ヘッドマウントディスプレイの販売、単眼ヘッドマウントディスプレイ(DADA GLASS 2)の総括を経て、現在に至る。現在は、DADA GLASS 2の販売及び次期商品企画を行っています。



パネリスト: 上田 裕昭(ミノルタ)

1978年京都大学理学部卒。同年ミノルタ株式会社入社。1992年-1997年財団法人イメージ情報科学研究所出向。非球面硝子レンズの成型、ホログラフィ、光学素子、HMDなどの研究開発に従事。現在ミノルタ画像情報技術センター入出力技術部担当課長。博士(工学)。



パネリスト: 元日田 融(ソニー)

'86年、医療機器メーカーに入社、臨床試験と学術資料作成を担当。'89年、ソニー(株)に入社、医療機器の事業企画と許認可取得業務に従事。この経験を活かし、安全性が懸念されていたHMDの人での評価プロジェクトを企画。'95年より米国エモリー大学にて、ソニー製HMDグラストロンの医学的評価に従事、眼科系学会等で研究成果を発表。'99年、ソニー(株)に戻り、現在、主任研究員、兼メディカルリスク解析室室長。

パネル討論(2) 3月27日(木) 14:30-17:00 [T4A会場(メディアホール1F大教室)] 「ウェアラブルコンピューティングによる文化・ファッション大革命」

[討論概要]

「文化・ファッション大革命」という標題のように、ウェアラブルの内容が、これまでのパソコンの延長線上の考え方から、本格的に情報機器を身につけた生活をするという新しい段階、つまり衣食住すべてがIT対応型にシフトしつつある。特に、デジタル・ネットワークの急激な生活への浸透に伴い、スタンドアロンタイプの傾向が強かったこれまでのウェアラブルは、今後、全員が相互に交信をしながら作業をするネットウェアラブルとでもいえるようなものに発展し、相乗効果いわゆる複雑系における「シナジー」が生まれてくることが期待される。この効果こそ21世紀社会の特徴であり、「革命」の名に値する変化をもたらす源泉である。このような基本的認識を踏まえて、各パネリストの方々には、ファッション、アート、コミュニケーション、社会、文化が、今後どのように変わっていくかなどについて、それぞれの立場を生かした討論(デモも含めて)を期待したい。



司会: 石井 威望(東京海上研究所)

東京海上研究所理事長、東京大学名誉教授、慶應義塾大学客員教授。東京大学医学部、同工学部卒業。同大学院博士課程終了。工学博士。その後、東京大学工学部教授、慶應義塾大学教授、郵政審議会会長、国土審議会会長など歴任。政府のIT戦略本部情報セキュリティ専門調査会会長など多くの公職を務める。「科学技術は人間をどう変えるのか」「日本人の技術はどこから来たのか」「バイオテクノロジーからの発想」など著書多数。



パネリスト: 中津 良平(関西学院大)

昭和46年京大・工・修士課程修了。同年NTT入社。基礎研究所研究企画部長、情報科学研究部長を経て、平成6年ATR知能映像通信研究所代表取締役社長。平成14年4月関西学院大学理工学部教授。工博。ロレアル賞、映像情報メディア学会論文賞、テレコムシステム技術賞、日本VR学会論文賞、人工知能学会論文賞、文部科学大臣賞等を受賞。IEEE、電子情報通信学会フェロー。電子情報通信学会、情報処理学会、人工知能学会等の会員。



パネリスト：大江 瑞子（上田安子服飾専門学校）

上田安子服飾専門学校校長。KFK関西ファッション文化協会会長40年に及びクリエイター活動の中で、光・電子との関わりは、具体美術とのジョイント、なみはや国際セレモニーコスチュームデザイン及び製作。1997年にコンピュータでの空間映像(CREATION SCIENCE)をディレクション。2002年には、デジタル&ファッション国際フェスティバルをディレクションし、<デジタルとアナログの融合>をテーマにウェアラブルコンピュータの世界を探る。次々代を開くウェアラブルコンピュータ・ファッションの発信者。



パネリスト：サエキ けんぞう（ミュージシャン）

1980年「ハルメンズの近代体操」でビクターよりデビュー後、86年パール兄弟「未来はパール」でポリドールより再デビュー。作詞家として代表作はモーニング娘。「愛の種」他に、PSY・S、野宮真貴、サディスティック・ミカ・バンド、観月ありさ等に提供、プロデューサーとしてはトッド・ラングレン、セルジュ・ゲンスブル等のトリビュート事業を手がける。今11月ワーナーより発売の大滝詠一トリビュート・アルバムにパール兄弟として参加、2003年再結成の予定。



パネリスト：曾根 美知エ（Cube-f）

2001年に文化服装学院を退職し、同年、Cube-f設立と同時に、代表に就任する。Cube-fは、情報とファッションが融合する「メディアファッション」に関する任意の研究グループで、その、研究と開発、普及活動などを、企業や研究者と、コラボレーションの形で活動を行っている。専門は、ファッション商品のブランディングとデザイン。

**チュートリアル(1) 3月26日(水) 9:30-12:00 [T4A 会場(メディアホール1F大教室)]
「モバイル/コピキタス時代のインタフェース技術」**



講師：増井 俊之（ソニー CSL）

1982年東京大学工学部電子工学科卒業、1984年同大学院工学系研究科電子工学専門過程修士過程修了。同年4月富士通(株)入社、1986年4月シャープ(株)入社、1989-91年カーネギーメロン大学客員研究員、1996年1月(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所入社、現在に至る。工学博士。テキスト入力、情報検索、情報視覚化、実世界指向インタフェースなどユーザインタフェース関連の研究に従事。

[講演概要]

従来の計算機は机の前に座って使うことを前提としており、両手を使うキーボードや、水平な板の上に置いて使うマウスなどを使って計算機を操作するのが普通であったが、あらゆる人があらゆる場所で計算機を利用するようになってきた現在、計算機を利用するインタフェース手法が大きく変化してきている。近年急速に普及してきた携帯電話やPDAのような小型計算機では、従来型のキーボードを使うことができないため、効率良い文字入力を行なうための工夫が必要になるし、携帯端末の小さな画面に多くの情報を表示するための視覚化の工夫も必要になる。また、これまで全く計算機が使われていなかったような場所でも計算機を利用できるようにする、いわゆる「実世界指向インタフェース」が実用になりつつあり、必要な操作を誰でも直感的に行えるようにするための新しいハードウェア/ソフトウェア技術が近年多数考案されている。本講演では、携帯端末や実世界指向インタフェースで用いられる各種のインタフェース手法の研究動向および将来の展望について解説する。

**チュートリアル(2) 3月27日(木) 9:30-12:00 [T4A 会場(メディアホール1F大教室)]
「ウェアラブル情報機器の例と応用、活用方法」**



講師：海老名 修（日立）

1981年早稲田大学大学院理工学研究科修了。同年株式会社日立製作所入社。ネットワーク・端末システムの事業企画、社内外標準化に従事。

[講演概要]

ウェアラブル情報機器の例として、日立製作所が製品化した「ウェアラブル・インターネット・アプライアンス」を題材に、以下について紹介する。
1. 潜在ニーズと技術シーズ:「いつでもどこでも」をキーワードに、「モバイルかつ大画面」に対するニーズと、それを実現する技術シーズとしてのヘッド・マウント・ディスプレイ、液晶マイクロディスプレイ技術。
2. 製品化例: 日立ウェアラブル・インターネット・アプライアンスを例として、仕様とその背景にある考え方。
3. 応用例: 「モバイルなシースルー大画面」を実現したウェアラブル機器の、応用分野・システム構成と、それを支えるソフトウェア・ネットワーク技術。
4. 将来展望: 「モバイルなシースルー大画面」機器の将来展望。

特別トラック(5) マイニングとサーチング - 情報洪水時代における情報発掘と情報検索 -

**招待講演(1) 3月26日(水) 15:30-16:30 [T5A 会場(研究棟A 4F 402)]
「Web 情報検索の新技术と動向」**



風間 一洋(NTT)

昭和60年京都大学工学部精密工学科卒業。昭和63年京都大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了。同年日本電信電話(株)入社。現在 NTT 未来ねっと研究所主任研究員。インターネット上の情報検索の研究に従事。ソフトウェア科学会、ACM 会員。

[講演概要]

Web 情報検索システムには、一般の情報検索システムとは異なるいくつかの課題が存在するために、同じ技術を用いただけでは決して良い結果を得ることはできない。そこで、この問題を解決するために独自の技術的發展を遂げつつある。本講演では、リンク接続解析やHTMLの構造情報、検索履歴の利用などのWebに特化した技術、および将来的にWeb情報検索の高度化に寄与すると思われる技術を重点的に解説する。さらに、Web情報検索システムを取り巻く社会的状況や、TRECやNTCIRでおこなわれているWeb情報検索システム評価用テストコレクション作成の試みについても述べる。

招待講演(2) 3月26日(水) 16:30-17:30 [T5A 会場(研究棟A 4F 402)]
「Web 構造マイニングと Web コミュニティ発見」



村田 剛志(国立情報学研)

1990年東京大学理学部情報科学科卒業。1992年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。同年より東京工業大学工学部情報工学科助手。1998年群馬大学工学部情報工学科助手。2000年同講師。2001年国立情報学研究所情報学基礎研究系助教。同年より科学技術振興事業団さきがけ研究21研究員を兼任。現在に至る。専門はWebマイニング、発見システム、図による推論。

[講演概要]

2003年1月現在、サーチエンジンGoogleは約31億ページを収録している。このような膨大なWeb情報を利用していくためのWebマイニングの研究には様々なアプローチがあるが、ハイパーリンクのグラフ構造に基づいてページの重要度を見出し、ページ間の関連性を見出すWeb構造マイニングの研究が近年盛んになってきている。ハイパーリンクは時としてコンテンツが表現する以上の情報を提供するものである。また、大規模なWebデータを高速に処理する上でもハイパーリンクに基づくアプローチは有効である。サーチエンジンGoogleにおけるランキングアルゴリズムPageRankは、Web構造マイニングによるアプローチの成功例の一つである。本講演ではWeb構造マイニングの代表的な研究を紹介するとともに、筆者によるWebコミュニティ発見についても述べる。

招待講演(3) 3月27日(木) 10:30-12:00 [T5A 会場(研究棟A 4F 402)]
「ビジュアルな情報検索/テキストマイニング」



武田 浩一(日本IBM)

1981年京都大学工学部情報工学科卒業。1983年同大学院修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)入社。東京基礎研究所にて文書校正、機械翻訳、電子図書館、情報可視化およびテキストマイニングの研究に従事。1987~1989年、カーネギー・メロン大学機械翻訳センター客員研究員。著書「インターネット機械翻訳の世界」(共著、毎日コミュニケーションズ、2000)。

[講演概要]

WWWを対象とした情報検索が日常的になり、10億ページといったサイズの文書集合を扱うことが技術的に要求されるようになった。これに伴い従来の検索結果の網羅性重視や検索語の同義語による検索式の拡張といった側面に替わり、最も関連度の高い文書の検索結果最上位へのランク付けや、参照関係を利用した文書の重要度の計算といった側面が注目を集めるようになった。一方で、増大する文書集合に比例して増大する傾向にある検索結果の全体を理解することはもはや不可能になり、情報の増加に相応した検索結果の表現やそこに含まれる知識(事実、規則性、パターンなど)獲得の手法が不可欠となった。情報の可視化とテキストマイニングは、この要請に応える技術であり、コールセンターの問い合わせ分析や特許および生医科学文献からの知識獲得といった分野で実用化されている。本講演ではこれらの技術と応用について紹介する。

招待講演(4) 3月27日(木) 14:30-15:30 [T5A 会場(研究棟A 4F 402)]
「XMLデータのための検索技術」



石川 佳治(筑波大)

1989年筑波大学第三学群情報学類卒業。1994年同大学博士課程工学研究科単位取得退学。同年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手。1999年より筑波大学電子・情報工学系講師。博士(工学)。2000年度山下記念研究賞授賞。文書データベース、空間データベース、情報検索、データマイニングなどに興味を持つ。ACM、IEEE-CS、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、日本データベース学会各会員。

[講演概要]

XMLはインターネット時代のデータ交換フォーマットとして幅広い分野で利用が急速に進んでおり、大量のXMLデータの効率的な管理・利用のためのXMLデータベース技術の開発が急務となっている。これをふまえて本講演では、大量のXMLデータベースからの検索技術に焦点を当てて講演を行う。広く利用されているリレーショナルデータベースのデータと比べ、XMLデータはより複雑な構造を有しており、文書構造と文書内容の双方を意識した問合せ処理が必要となる。

本講演ではまず、XMLデータの検索のための主要なアプローチを分類した後、各アプローチについて概説する。特に大量のXMLデータを管理・運用する状況で重要となる、索引の構築・利用方式やリレーショナルデータベースとの連携などについても触れる。また、インターネット上のコンテンツ配信などで最近着目されている、ストリーム型のXMLデータの処理方式についても言及する。

招待講演(5) 3月27日(木) 15:30-16:30 [T5A 会場(研究棟A 4F 402)]
「マルチメディア情報のための検索技術」



片山 紀生(国立情報学研)

国立情報学研究所・情報メディア研究系・助教授。平成2年東京大学工学部電気工学科卒業。平成7年同大学院博士課程了。同年学術情報センター・研究開発部・助手。平成12年国立情報学研究所助手。同年同助教授。現在に至る。データベースシステムに関する研究に従事。博士(工学)。電子情報通信学会、IEEE、ACM各会員。

[講演概要]

現在、マルチメディア情報、特に、映像を含む情報を記録するコストが急速に低下しつつある。計算機技術の進展により、一般消費者向けの製品であっても、大量の映像をデジタル化し保存することが容易になりつつある。情報の洪水と言われているが、マルチメディア情報については、今まさしく洪水が起き始めようとしている段階である。そのため、マルチメディア情報の洪水に対して、どのような技術が求められるのか、また、どのような応用が考えられるのか、見極めていくことが重要な課題となっている。情報の洪水において、マイニングとサーチングは、様々な応用の基礎となる技術である。マルチメディア情報に対する技術研究は、以前から行われているものの、マルチメディア情報の洪水が現実のものになりつつある現在、過去の取り組みを包括的に捉え、実問題に即した形で発展させていく必要が生じ始めている。本講演では、これからの時代に必要とされるマルチメディア技術について、マイニング技術とサーチ技術の観点から紹介する。

チュートリアル(1) 3月25日(火) 13:00-15:00 [T5A 会場(研究棟A 4F 402)]
「ビジネス分野でのデータマイニング - データマイニング, テキストマイニング入門 - 」



講師: 荒 和志 (エス・ピー・エス・エス)

1996年よりSPSSサービス事業推進部でテクニカルサポートを担当, 1999年よりBI事業部セールスエンジニアマネージャ, 2002年より現職。技術的な営業支援, データ分析等を行う。2002年4月~2002年7月, 慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師。2002年9月~, 東海大学非常勤講師。

[講演概要]

ITの発展に伴い, 企業や研究機関では大量のデータを取り扱うことが近年可能になってきた。それにより, データウェアハウスの構築に始まりデータ抽出, OLAPツールによるデータの多次元集計などが行われている。そこからは現状の把握は可能であるが「次に何が起こるか?」などの予測機能は見出せない。ここで, データマイニングを利用することにより大量にあるデータの中から新たに利益のある知識を発見することやある事象を予測するモデルを作成することが可能になる。また, データマイニングは分析結果を創出するだけでなくいろいろな方法で有効に利用できればいけない。今回は, Webマイニングやテキストマイニングなどの最近のデータマイニングの傾向を紹介し, データマイニングプロセスに欠かせない6つのフェーズ(ビジネスの理解・データの理解・データの準備・モデル作成・評価・展開)をサンプルを交えて説明します。

チュートリアル(2) 3月25日(火) 15:15-17:15 [T5A 会場(研究棟A 4F 402)]
「ビジネス分野でのデータマイニング - ビジネス分野での実際の事例と応用 - 」



講師: 清水 聡 (明治学院大)

1963年東京生まれ。1986年慶應義塾大学商学部卒。1991年慶應義塾大学大学院博士課程単位取得。同年明治学院大学経済学部専任講師に着任。助教を経て, 2000年より現職。この間, ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院Visiting Scholar(1996~1997)。現在, 日本消費者行動研究学会理事, 日本商業学会情報化推進委員会委員長。主要業績: 単著「新しい消費者行動」(1999), 千倉書房, 「消費者の意思決定プロセスとマーケティング戦略」(2002), 一橋ビジネスレビュー。

[講演概要]

データマイニングの登場は, 企業の中に埋もれていた大量のデータの中から, 新たなビジネスチャンスを発見するものとして, 大いに期待されている。しかし, 実際にデータマイニングを社内に導入し, ビジネスに生かし, 成果を出している企業は, 3割に過ぎないといわれている。つまり, 残りの7割は折角データマイニングを導入しても成功を収められていないわけだ。ここでは, データマイニングをビジネスに導入し, 成功している例をあげながら, ビジネスで成功する秘訣を探っていく。具体的には, 優良顧客を顧客データベースから導き, アクションを行うまでの流れと, 既存の分析手法にテキストマイニングを組み合わせて, 顧客の潜在的な評価軸を設定するまでを紹介する予定である。

特別トラック(6) 言語バリアフリー技術

招待講演(1) 3月26日(水) 15:30-16:30 [T6 会場(研究棟A 4F 403)]
「ユビキタスコンピューティングを利用した外国語学習システム」



講師: 山田 玲子 (ATR人間情報研)

現在, ATR人間情報科学研究所・主幹研究員, 音声言語学習機構プロジェクト・リーダー, 神戸大学大学院総合人間科学研究科客員助教授。神戸大学理学部卒業, 大阪大学人間科学研究修士課程修了。1986年国際電気通信基礎技術研究所(ATR)に入所, 以後音声知覚, 音声言語学習の研究に従事。博士(人間科学)。研究結果を一般向けに書き下ろした「英語リスニング・スピーキング科学的上達法」シリーズを講談社より出版。

[講演概要]

音声言語の学習に関する基礎研究の結果を紹介し, それを外国語の音声言語運用能力を育むための技術として発展させるためのシステムについて紹介する。従来の外国語教育では, 語彙や文法の学習が主体であったが, 外国語運用能力を習得するには, 音韻や韻律など, 音声言語の基本モジュールともいえる基礎能力を聞き取り・発音能力と関連付けて学習する必要がある。10歳~70歳という幅広い年齢の学習者を対象とした実験を通して, これら基本モジュールの学習の様相が明らかになってきた。これらの結果は, CALLシステムとして利用可能である。一方, 外国語運用能力の習得には, その言語の環境で生活することが効果的であると言われている。我々はこの効果について明らかにし, 外国語学習に応用するためにCALLシステムを学習者の生活環境内で実体験できるシステムへと方向転換を図りつつある。このユビキタスコンピューティングを利用した実体験型外国語音声学習システムの概要を紹介する。

招待講演(2) 3月26日(水) 16:30-17:30 [T6 会場(研究棟A 4F 403)]
「痴呆症などの高次機能障害と工学的支援」



安田 清 (千葉労災病院)

1983年国立身体障害者リハビリテーションセンター学院聴能言語専門職員養成課程卒業後, 千葉労災病院リハビリテーション科勤務現在に至る。失語症などの高次脳機能障害の評価や訓練のほか, 失語症者の談話の理解や固有名詞の理解の研究, コミュニケーション機器の開発, 記憶障害者や痴呆患者への支援法の開発などを行う。言語聴覚士。日本失語症学会会員。

[講演概要]

従来, 福祉工学的支援の多くは身体障害や視覚聴覚などの感覚障害を対象としてきた。他方, 言語中枢損傷後の失語症, 既知の顔が認識できない失認症などの高次脳機能障害への支援は, 殆ど試みられなかった。技術的には可能になりつつあり, 情報処理分野からの本格的な支援を要請したい。ところで, 交通事故後などの記憶障害や痴呆症などの高次脳機能障害者も急増しており, 2020年には300万人に達する。医学的治療が困難な中, 昨年アルツハイマー痴呆などへの工学的支援プロジェクトが米国で始まった。演者は簡単な機器によって支援を試みてきたが, 音声対話などは痴呆症者の支援に有効と考えており, 工学的支援の可能性を示唆したい。高次脳機能障害の場合には, 「言語バリアフリー」のみでは不十分で, 「記憶, 知能バリアフリー」も同時に実現する必要がある。さらに高次脳機能障害などの少数者が工学的進歩の恩恵を受けるには, 社会的な情報の「バリアフリー」を実現することがより重要であろう。

招待講演(3) 3月27日(木) 14:30-15:30 [T6会場(研究棟A 4F 403)]
「言語横断検索技術の最新動向」



岸田 和明(駿河台大)

1991年慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻博士課程中退、同年、図書館情報大学図書館情報学部助手(文部教官)、1994年駿河台大学文化情報学部助教授を経て、現在、教授。2001年より国立情報学研究所情報学資源研究センター客員助教授。1998年～1999年カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員。主な著書に「情報検索の理論と技術」(勤草書房、1998年)。

[講演概要]

言語横断検索とは、検索対象のテキストと検索質問とが異なった言語で書かれている場合の検索を意味する。例えば、英語の文書データベースに対する日本語による質問文での検索がこれに相当する。この種の検索の重要性は、特に、インターネットが発展し、言語に関するボーダレス化が進むにつれて認識されるようになった。言語横断検索のためには、文書が検索質問かのいずれかを翻訳して他方に合わせる必要があり、このためには、自然言語処理の技法が重要な鍵となる。この結果、従来の情報検索研究者だけでなく、広く自然言語処理関係者の関心をも呼び、現在盛んに研究が進められている。この講演では、言語横断検索研究の歴史を概観し、そこで検討されてきた諸手法・技術を説明する。特に、TREC(米国)、NTCIR(日本)、CLEF(欧州)などの検索実験における研究動向に焦点をあて、最近のひとつの研究成果である言語モデルの応用を中心に解説する。

招待講演(4) 3月27日(木) 15:30-16:30 [T6会場(研究棟A 4F 403)]
「UNL(Universal Networking Language)とその将来」

内田 裕士(国連大)

特別トラック(7) バーチャル・ヒューマン

招待講演(1) 3月25日(火) 13:00-14:00 [T7A会場(研究棟A 3F 302)]
「言語理解と行動制御: プログレスレポート」



田中 穂積(東工大)

1964: 東京工業大学理工学部制御工学科卒業。1966: 東京工業大学理工学部修士課程修了。1966: 通商産業省工業技術院電気試験所(電子技術総合研究所)入所。1983: 東京工業大学工学部助教授。現在: 東京工業大学大学院情報理工学研究科教授。

[講演概要]

これまでの言語理解の研究は自然言語による質問をコンピュータが理解し、知識ベース、データベースなどを検索し質問に答えるという、対話システムの研究として研究されてきた。そのようなシステムでは1対1の対話が考えられていた。最近では対話相手のコンピュータ側が、音声や画像、映像を使って応答するマルチモーダルなインタフェースの一環としても研究されている。それに対して、われわれは、仮想世界の中にシミュレートした(機械的な制約を受けない)ソフトウェアロボットに自然言語(音声)による動作指令を与え、ロボットの行う動作映像を観察することで、ロボット側が自然言語を理解したかどうかを検証するプロジェクトを開始している。このようなシステムでは、音声認識・言語理解・AI・CGの諸技術を統合する必要があるだけでなく、従来の対話システムで考えられている以上の深い言語理解が必要になることを指摘する。まずはじめに、目的、概要を述べ、次にプロジェクトの進捗状況を報告するとともに、応用分野、問題点についても触れる。

招待講演(2) 3月25日(火) 14:00-15:00 [T7A会場(研究棟A 3F 302)]
「マルチモーダルエージェントコンテンツ作成を誰にでも - 記述言語 MPMLとその周辺 - 」



石塚 満(東大)

1971: 東大・工・電子卒、1976: 同大学院博士修了。同年NTT入社、横須賀研究所勤務、1978: 東大・生産技術研究所・助教授、(1980-81: Purdue大学客員準教授)、1992: 東大・工・電子情報・教授、2001: 情報理工学系研究科・電子情報学専攻、現在に至る。研究分野は人工知能、マルチモーダルエージェント、インターネット/WWWインテリジェンス。

[講演概要]

キャラクタエージェントを用いるマルチモーダルインタフェースやプレゼンテーションは日米欧でのこれまでの研究・開発により実現可能になっており、新形態マルチモーダルメディアとしてのその効果も実証されつつある。Powerpoint等によるプレゼンテーションは人間の認知機構に適合し、現在主流の形式であるが、講演者、説明者がその場所にいるという強い制約がある。感性的なマルチモーダルエージェントにこれを代行させるコンテンツは、Webを通じて配信できAnytime, Anyplaceを可能にする。現在の課題は、HTMLでWebコンテンツを作成するように、誰でも(Anyone)が容易にこのようなマルチモーダルコンテンツを作成できるようにすることである。XML準拠の我々の記述言語MPML(Multimodal Presentation Markup Language)はその方向を指向したものであり、感情表現機能等をサポートする。3D-VRML空間や携帯電話への対応バージョンも開発されている。講演ではMPMLとその関連技術についてデモを併じ紹介する。

招待講演(3) 3月25日(火) 15:15-16:15 [T7A会場(研究棟A 3F 302)]
「VRの医療応用と人体モデリング」



高橋 隆(京大)

1938年7月24日生。1967年大阪大学工学研究科博士課程終了。大阪府立成人病センター勤務の後、1974年東海大学医学部ME学教授、1987年京都大学医学部附属病院医療情報部教授、1991年同学大学院人間・環境学研究科教授(併任)、1998年同学大学院情報学研究科教授(併任)となり現在に至る。VR技術の医療応用の研究に従事。IEEE、電子情報通信学会会員、日本ME学会顧問、日本医療情報学会理事、日本VR医学会副理事長、国際遠隔医療学会理事。工学博士。

[講演概要]

医療においても新しいIT応用として、VR技術が臨床医療分野開拓に貢献する高い可能性を持つものとして展開を見せつつある。X線CTに端を発した診断用医用画像技術は、可視化技術として発展。映像誘導による深部臓器の正確・精密な手術の実現、CTやMRI等のポリウムデータからの3D臓器像と術中目視臓器との融合(AR; Augmented Reality)による深部臓器手術の侵襲微小化をもたらした。さらに極めて巧妙な動きを伴うロボットによる低侵襲・精密な手術法も出現するに及んでいる。またロボット手術の遠隔化や手術教育や術前のシミュレーションのために、手術臓器からの触感のフィードバックが求められ始めた。すなわち人体の形状データのみならず、弾性などの物理的なデータが必要とされはじめている。その他、医学教育にも、医学知識のみならず手技や高度なスキルを体得させる手段としてVR技術が応用され始めている。

招待講演(4) 3月27日(木) 14:30-15:30 [T7A会場(研究棟A 3F 302)]
「An Event-Driven Approach for Human Crowd Simulation」



Sung Yong SHIN (KAIST)

Sung Yong Shin received the BS degree in industrial engineering in 1970 from Hanyang University, Seoul, Korea, and the MS and PhD degrees in industrial engineering from the University of Michigan in 1983 and 1986, respectively. He is a professor in the Department of Electrical Engineering and Computer Science at the Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST), Daejeon, Korea. He has been working at KAIST since 1987. At KAIST, he teaches computer graphics and computational geometry. He also leads a computer graphics research group that has been nominated as a national research laboratory by the government of Korea. His recent research interests include motion capture and retargeting, performance-based computer animation, real-time rendering, and collision detection. He is a member of the IEEE Computer Society.

[講演概要]

A large number of people in streets, parks, or public squares form a crowd to show complicated scenes that have frequently appeared in applications such as computer games, animations, and movie films. Each of these scenes evolves from interaction among the members of the crowd. The interaction of a member with others determines its individual behavior, and the aggregate motion of the members yields highly dynamic and complex behaviors of a crowd that are hard to describe interactively.

In this talk, we present a novel approach for simulating the behavior of each individual member of a crowd efficiently, of which aggregation eventually evolves into a crowd behavior. The backbone of our crowd simulation is the event-driven approach for collision detection among spheres with unknown trajectories. On top of the events for collision detection, we introduce new types of events to facilitate crowd simulation. We take into account two types of events: external and internal events. Guided by the external events according to a given scenario, the internal events are mainly due to the interactions among the members themselves and their interactions with the surrounding environment. We invoke a member to react on an event, based on the behavior rules together with the information perceived from neighbors and the surrounding environment. To generate a natural-looking motion, we exploit live-captured motion clips. We obtain the motion by blending example motion clips and retarget it to a specific character model and situation in an online, real-time manner.

パネル討論(1) 3月26日(水) 15:30-17:30 [T7A会場(研究棟A 3F 302)]
「バーチャル・ヒューマンに求められる技術とキラーアプリケーション」

[討論概要]

ヒューマノイドロボット、擬人化エージェント、アバタなど、擬人的なヒューマンインタフェースを備えたバーチャルヒューマンシステムによる人間とのインタラクションを目指した研究が盛んとなっている。本パネルでは、このようなシステムのキラーアプリケーションや、そのための技術的課題についての考察を深めることを目的とする。このため、バーチャルヒューマンの実現に重要な、コミュニケーション、表情や動作の認識・合成、音声認識、自然言語処理、等の研究分野で活躍中の方々をパネリストに迎え、(1)システムが擬人的なヒューマンインタフェースを備えることの利点、(2)(1)によって新たに開拓されるシステムの利用可能性、(3)(2)の実現のために必要となる技術の現状や課題、(4)(3)の課題の解決へのブレークスルーとして期待されるアプローチや研究の方向性、等について議論する予定である。



司会：角所 考(京大)

昭和63年名古屋大学工学部電気学科卒業。平成5年大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻博士課程修了。平成4～6年日本学術振興会特別研究員、平成5～6年スタンフォード大学ロボティクス研究所客員研究員、平成6年大阪大学産業科学研究所助手、平成9年京都大学総合情報メディアセンター(現学術情報メディアセンター)助教授。博士(工学)。視覚情報メディア、インタラクション、コミュニケーションに関する研究に従事。



パネリスト：森島 繁生(成蹊大)

1987年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。2001年成蹊大学教授。明治大学、新潟大学非常勤講師。ATR音声言語コミュニケーション研究所、同メディア情報科学研究所客員研究員を併任。1995年から1年トロント大学客員研究員。顔の認識・合成、顔を用いたコミュニケーション、擬人化音声対話エージェントの研究開発に従事。1991年電子情報通信学会業績賞受賞。



パネリスト：渡辺 富夫(岡山県大)

1983年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。同年山形大学工学部情報工学科助手。1984年同専任講師。1989年同助教授。1992年～1993年米国ブラウン大学客員研究員。1993年岡山県大学情報工学部情報システム工学科教授。科学技術振興事業団戦略的基礎研究推進事業「心が通う身体的コミュニケーションシステムE-COSMIC」研究代表者。1998年IEEE Ro-Man, the best paper award。2001年。2002年ヒューマンインタフェース学会論文賞等受賞。インタラロボット(株)顧問。



パネリスト：乃万 司（九工大）

1984年早稲田大学理工学部数学科卒業。1989年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。理学博士。神奈川大学工学部工業経営学科助手を経て、1990年九州工業大学情報工学部知能情報工学科助教授。2002年同教授、現在に至る。専門はコンピュータグラフィックス。最近は特に人体アニメーションに関する研究に従事。



パネリスト：徳永 健伸（東工大）

1961年生。1983年東京工業大学工学部情報工学科卒業。1985年同大学院理工学研究科修士課程修了。同年（株）三菱総合研究所入社。1986年東京工業大学大学院博士課程入学。現在、同大学院情報理工学研究科助教授。博士（工学）。自然言語処理、計算言語学、情報検索などの研究に従事。情報処理学会、言語処理学会、人工知能学会、計量国語学会、Association for Computational Linguistics、ACM SIGIR 各会員。



パネリスト：大野 澄雄（東京工大）

昭63年東京大学工学部電気工学科卒。平成5年同大学院博士課程了。同年東京理科大学基礎工学部助手。以来、音声情報処理、特に音声生成・知覚・認識の研究に従事。平成11年東京工科大学工学部講師、現在、同大助教授。博士（工学）。最近では、音声の韻律に関する分析・モデル化について基礎的な研究を行なう一方、音声対話システムへの応用に関して、システム構築等を手掛けている。



パネリスト：齋藤 豪（東工大）

1994東工大工学部情報工学科卒。1996同大学院修士課程了。1999同大学院博士課程了。1999同大精密工学研究所助手現在に至る。画像処理、コンピュータグラフィックスの研究を主として行う。工学博士。

**パネル討論（2） 3月27日（木）15:30-17:00 [T7A 会場（研究棟 A 3F 302）]
「virtual human / augmented human / mixed human」**

[討論概要]

特別トラックのテーマ名として"Virtual Human"と聞いたとき、正直「何それ?」と思った。「擬人化エージェント」と呼ばれてきた研究分野と何が違うんだろう? 何だか"Virtual Reality"というキャッチフレーズと似ているなあ。そう言えば、"Virtual Reality"って最近では"Augmented Reality"とか"Mixed Reality"なんて概念に発展してるなあ...

と言うわけで、短絡的な想像で恐縮だが、VR/AR/MRのアナログで、"Virtual Human"から"Augmented Human"、"Mixed Human"への研究分野の広がりを議論できないだろうか、と考えた。今回は、そういった乱暴なアナログに悪のりしてくれそうな論客の方々にご参加頂き、好き勝手なことを言い合いたいと思う。仮想空間の中で動作する人間のモデルを作るだけではなく、実空間の我々の能力の強化とか、実空間でのVirtual Humanと我々人間の共存など、夢を語り合いたい。



司会：角 康之（ATRメディア情報研）

1968年生。1990年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。1995年東京大学大学院（情報工学）修了。同年より、ATR知能映像通信研究所研究員。現在、ATRメディア情報科学研究所主任研究員。博士（工学）。研究の興味はHCI（Human-Computer Interaction）一般で、特に、知識処理システム、情報可視化、インタフェース・エージェント、コミュニティウェア、ユビキタス/ウェアラブル・コンピューティングなど。



パネリスト：小林 宏（東理大）

1966年生。1995年博士（工学：東京理科大学）。1993-1995年学振特別研究員、1996-1998年学振海外特別研究員（チューリヒ大学）。1998年東京理科大学工学部機械工学科講師、1999年より同助教授。2001年より科技园さきかけ研究21併任。実用的で有用なシステムの開発に興味を持つ。SICE学術奨励賞、佐藤記念知能ロボット研究奨励賞、日本ロボット学会技術賞、日本機械学会賞（論文）、RO-MAN The Best Papers Awards、ICCAS Best Papers Awardsなどを受賞。



パネリスト：長尾 確（名大）

1981-1985 東京工業大学工学部経営工学科。1985-1987 東京工業大学総合理工学研究科システム科学専攻修士課程。1994 東京工業大学理工学研究科情報工学専攻論文博士。1996-1997 米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校ベックマン研究所。1987-1991 日本アイ・ピー・エム株式会社東京基礎研究所（自然言語処理、機械翻訳の研究に従事）。1991-1999 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所（対話システム、インタフェースエージェント、拡張現実感の研究に従事）。1999-2001 日本アイ・ピー・エム株式会社東京基礎研究所（デジタルコンテンツ技術、会話ロボットの研究に従事）。2001-2002 名古屋大学工学研究科情報工学専攻助教授。2002- 名古屋大学情報メディア教育センター教授。



パネリスト：葛岡 英明（筑波大）

平成4年東京大学院情報工学専攻修了、博士（工学）取得。同年筑波大学構造工学系講師、平成12年筑波大学機能工学系助教授、現在に至る。グループウェア、バーチャルリアリティ、その他ヒューマンインタフェースの研究に従事。特に遠隔共同作業支援に興味を持つ。著書は「ヒューマンコンピュータインタラクション」（岡田謙一、西田正吾、仲谷美江、塩沢秀和と共著、オーム社）など。



パネリスト：土肥 浩（東大）

1985年慶應義塾大学理工学部電気卒業。1987年同大学院修士課程修了。同年東京大学生産技術研究所、同大学院工学系研究科電子情報工学専攻助手を経て、現在、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻助手。研究分野はマルチモーダル擬人化インタフェース。ACM、情報処理学会の会員。

特別トラック(8) デジタルコンテンツ制作とIT

チュートリアル 3月25日(火) 13:00-15:00 [T8D 会場(講義実験棟 7F 701)]
「モデリングチュートリアル」



講師：岡本 直樹(東京工科大)

1976年生。1998年武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業。同年(有)スペシャルエフェクスタジオに入社。映画やCM等のCGを用いた特殊効果の制作に従事。1999年より東京工科大学片柳研究所クリエイティブ・ラボに所属。3DCGアニメーションの制作手法、システムに関する研究を進める。第17回ニコグラフ論文コンテスト基礎技術論文審査員特別賞受賞。

[講演概要]

3DCG技術を利用して制作するキャラクターがあらゆるメディアに登場している。これはPCとモデリングソフトが低価格化したこと、またモデリング技術が飛躍的に進歩したことによる。モデリング技術は、絵を描く技術と共通するものもあるが、独特の専門的なテクニックも必要である。そしてアーティストや使用するソフトウェア、モデリングを行うキャラクターデザインなどによって手法は千差万別である。

このチュートリアルでは、こうした3DCGキャラクターを実際に制作しながら、その手法の一例を解説する。具体的には、キャラクターの中でも最も難易度が高いパーツの1つである顔をテーマに取り上げ、モデリング作業を行う。紙に描かれたデザイン画を基に、キャラクターをどの様に立体化していくか、その手法を紹介する。

今回は、安価な3DCG制作支援ソフトウェアであるHash Inc. Animation Master v8.5を用いてモデリングを行う。モデリングの手法に関心を持つ学生、研究者を対象とする。

アトラクション(1) 3月26日(水) 10:00-17:00 [T8B 会場(メディアホール1F 映像スタジオ)]
「バーチャルセット体験」



説明者：植木 隆文(東京工科大)

東京工科大学片柳研究所クリエイティブ・ラボチーフインストラクタ。1998年日本工学院専門学校インターネット科卒業。学生参加型インターネット放送局intebro(<http://www.teu.ac.jp/intebro/>)を運営し、様々なケースでの実証コンテンツ流通やビジネスモデルへの発展を目標にストリーミング技術、インターネット放送の可能性について研究を行う。

[講演概要]

バーチャルセットとは、3DCGで構築した背景セットと、出演者の実写映像をリアルタイムに合成することができる映像技術です。この技術を使うことによって現実空間を超越したセットを組むことができ、これまでにない映像表現が行うことができます。東京工科大学ではバーチャルセットを利用した番組制作を行い、インターネット放送にて配信するという新しい試みを開始しました。当日は実際にバーチャルセットを体験して頂きつつ、インターネット放送による模倣放送のデモンストレーションを行います。また、当日の映像を後日視聴できるように専用Webサイトを立上げ、皆さまへのお土産としてご提供できればと考えています。皆さまのご参加をお待ちしています。

アトラクション(2) 3月26日(水) 10:00-17:00 [T8C 会場(スタジオ棟1F DMCスタジオ)]
「リアルタイムMOCAP体験」



説明者：川島 基展(東京工科大)

東京工科大学片柳研究所クリエイティブ・ラボチーフインストラクタ。1998年慶應義塾大学環境情報学部卒。CGアニメーション教材開発、専門学校への教育支援CGアニメーション制作の効率化に関する研究・開発、および実証制作を行う。論文実績：共著「セルアニメーションの表現手法に基づくモーションキャプチャ活用モデルの提案」(2002年芸術科学会) おもな作品実績：「やってみようよインターネット! ~ ネット家族の大騒動」(2001、総務省) フジテレビステーションID(2001、フジテレビ)

[講演概要]

モーションキャプチャ(MOCAP)システムは、人間の自然な動作を忠実にデジタル情報化することができるので、映像コンテンツでCGアニメーションを必要とする際に、効率的な制作手法の一つとして広く利用されています。東京工科大学では、18台の専用カメラを設置した大規模なモーションキャプチャスタジオを利用して、特にアニメーション制作の効率化に向けた研究開発を進めています。「リアルタイムMOCAP体験」では、このスタジオを使って、人間の演技をCGキャラクターにリアルタイムで反映する様子を体験していただいた後、今後の映像コンテンツでの利用可能性に関して簡単なディスカッションを行います。さまざまな分野からの自由なご意見をいただきましたら幸いです。セッションは1回あたり45分程度を予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

特別トラック(9) 消費者のためのセキュリティ - 技術開発と普及活動 -

招待講演(1) 3月25日(火) 13:00-13:45 [T9 会場(研究所棟 3F 302)]
「Webセキュリティの虚と実」



高木 浩光(産総研)

1994年名古屋工業大学大学院博士後期課程修了、同年同大学助手を経て、1998年通商産業省工業技術院電子技術総合研究所に転任。2001年同研究所改組により、独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員。2002年より、同研究所グリッド研究センター、セキュアプログラミング研究チーム長。並列処理、言語処理系、情報セキュリティの研究に従事。博士(工学)。

[講演概要]

インターネットは今や水道、電力、電話に並ぶ社会基盤となり、World WideWebはそのスタンダードのひとつとなった。電子政府のサービスが国民のWebブラウザの利用を想定していることから、Webはもはや国が認めた仕組みだといえる。それにもかかわらず、Webブラウザの正しい使い方を説く教科書の標準はまだない。「使い方など教わるまでもない」とかというそうではなく、情報セキュリティの観点で正しく使う手順はそう簡単なものではない。セキュリティの仕組みは技術者の暗黙の了解の下で発達し続け、一般消費者の理解は置き去りにされてきた。巷のWebサイトには、消費者を危険に陥れる誤った解説が氾濫し、根拠もなく「安全です」とする無責任な表示がまかり通っている。この講演では、今、世のWebサイトにどんな嘘が溢れているか、技術者の間にどんな暗黙の了解があるのかを具体的に洗い出し、消費者のための情報セキュリティとして何が欠けているのかを整理する。

招待講演(2) 3月25日(火) 13:45-14:30 [T9会場(研究所棟 3F 302)]
「キャンパスネットワークの運用管理」



三木 哲也(電通大)

1970年東北大学大学院博士課程修了。同年日本電信電話公社入社。以来、デジタル伝送、光通信、情報通信ネットワーク等の研究開発に従事。1992年よりNTT光ネットワークシステム研究所長、1995年7月より電気通信大学教授。2000年度IEICE「技術と社会・倫理」研究専門委員会委員長として「組織におけるネットワーク運用ガイドライン作成WG」を開始。1996年度IEICE通信ソサイエティ会長、1998-1999年IEEE ComSoc副会長。IEEE Fellow、IEICEフェロー。

[講演概要]

大学などの高等教育機関におけるネットワーク環境(キャンパスネットワーク)は、一般的な情報化の進展、組織としての運営効率化のみならず、学術情報のオンライン化、e-ラーニングの推進、情報リテラシー教育の推進などあらゆる面で教育研究環境としての重要性を増している。しかし、多くの場合キャンパスネットワークの運用管理の内容や人的措置は企業内のネットワーク運用管理に比べて不十分な場合が多く、依然としてボランティアに頼っている場合も多い。そのため、セキュリティ対策、不正アクセス対策、扱う情報の著作権保護と侵害への対策、など多くの課題への対処が遅れている。また、本来必要である情報リテラシー教育の面での対応もネットワークの運用管理と必ずしも連動せずに不十分な場合も多い。

これらの現状を改善するために、情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、の3学会が協力して、ネットワーク運用ガイドラインを作成してきたが、その概要を紹介するとともに、いくつかの事例を通して今後のキャンパスネットワークの運用管理のあり方を述べる。

特別トラック(10) e-Japanの進展 - 企業活動や社会生活に変革をもたらす電子政府・電子自治体 -

基調講演 3月26日(水) 9:45-10:45 [T10会場(研究所棟 2F 202)]
「e-Japanの行方と展望」



大山 永昭(東工大)

1982年、東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報工学専攻博士課程終了。1983年、同大学工学部附属像情報工学研究施設助手。1988年、同大学工学部附属像情報工学施設助教授を経て1993年、教授となり、2000年4月同大学フロンティア創造共同研究センター情報系研究機能教授となり現在に至る。専門分野は医用画像工学、光情報処理。工学博士。IT戦略の今後のあり方に関する専門調査委員会(内閣官房)委員他を務める。

[講演概要]

現在の「e-Japan戦略」は、平成13年1月に策定公表されたものであるが、これまでの2年間で当初の目標である高速・超高速ネットワークの整備や電子政府の構築などが順調に進捗していることから、現在、IT専門調査会が開催され、「e-Japan戦略」の改訂作業が行なわれている。この改訂における最大のポイントは、国民を中心としたITの利活用であり、その実現を図るために構造改革と新価値創造をあげている。具体的には前者は、官民における業務の見直しによる無駄の排除すなわち社会全体のBPRを、後者は新しい製品やサービスさらには市場等の価値を創造することを意味している。本発表では、上記の専門調査会での議論と考え方を紹介するとともに、電子政府、人材育成、政府認証基盤のセキュリティ向上、知的財産の流通促進などに関する新たな課題とその対応策などについて提示する。

パネル討論 3月26日(水) 15:30-17:30 [T10会場(研究所棟 2F 202)]
「電子政府・電子自治体の基盤整備」

[討論概要]

2005年に世界最先端のIT国家になるというe-Japan戦略に基づき、行政・公共分野の情報化が積極的に進められている。特に、電子政府、電子自治体の構築は、行政・公共分野の情報化の柱であり、その目標は、政府・自治体、企業、市民の間における情報共有を進め、行政サービスをより効率的、効果的なものにするにある。既に、霞ヶ関WAN、総合行政ネットワーク(LGWAN)、住民基本台帳ネットワークなど、電子政府・電子自治体の基盤整備は着実に進展しつつあるが、言うまでもなく、こうした情報基盤が有用なものになるか否かは、これらの情報基盤をどう活用するかにかかっている。このパネル討論では、こうした動きを政治、行政、民間、市民の関係、すなわち社会構造そのものを変えていくプロセスとしてとらえ、パネラーの方々に政治、行政、民間それぞれの立場からご意見をいただき、電子政府・電子自治体の課題を浮き彫りにしたい。



司会：前川 徹(早大)

1955年生まれ、名古屋工業大学情報工学科卒、1978年に通産省に入省、機械情報産業局情報政策企画室長、JETRO New Yorkセンター産業用電子機器部長、情報処理振興事業協会(IPA)セキュリティセンター所長を経て、99年9月より早稲田大学大学院国際情報通信研究科客員教授。<著書・論文>『サイバースペースとアメリカ情報産業』、『ECビジネス最前線』、『ネットバブルの向こう側 ECビジネスの未来戦略』など。



パネリスト：平井 卓也(衆議院議員)

香川県生まれ。1980年上智大学外国語学部英語学科卒業後、(株)電通に入社。テレビ局、国際局、ISL室などで勤務。87年西日本放送(株)代表取締役社長就任。93年スペインの現代美術の粋を集めた丸亀平井美術館を設立。日本人で唯一人スペイン国際現代美術見本市(ARCO)財団会員。2000年の総選挙で初当選。現在、衆議院経済産業委員。HP「ひらくドットコム」(<http://www.hirataku.com>)では自身の日記を毎日公開し好評を得ている。



パネリスト：猿渡 知之(総務省)

昭和60年東京大学法学部卒業後自治省入省。その後、青森県企画部理事、総務省自治政策課理事官を経て現職。



パネリスト：牧内 勝哉(経済産業省)

1959年：北海道札幌市生まれ。1984年：北海道大学電子工学専攻修士課程修了、通産省入省。通産省において、主に情報政策、科学技術政策を担当。1995年：米国イリノイ大学アーバナシャンペーン校客員研究員。1998年：通産省機械情報産業局新映像産業室長。1999年：JETROデュッセルドルフセンター。2002年：現職。主に電子政府とインターネット政策を担当。



パネリスト：三谷 慶一郎 (NTT データ)

1985年新潟大学工学部卒。同年日本電信電話(株)入社,(株)NTTデータを経て,1993年より現職。行政機関や企業における情報化戦略立案に関するプロジェクトを多数実施。近年は電子政府・電子自治体や電子商取引分野,それらの基盤となるセキュリティ分野等に関連したコンサルティング活動に取り組んでいる。1995年より日本システム監査人協会理事。主要著書「電子文書証明～eドキュメントの原本性確保」(NTT出版 2001年)

**チュートリアル 3月26日(水) 11:00-12:00 [T10 会場(研究所棟 2F 202)]
「次世代電子政府技術」**



講師：国分 明男 (ニューメディア開発協会)

電子技術総合研究所(現在は、独立行政法人産業技術総合研究所)において、連想記憶マシンなどのコンピュータシステムの研究開発を20年以上行う。1990年から財団法人ニューメディア開発協会理事・開発本部長。2000年から常務理事・開発本部長。電子公証システム、レイティング/フィルタリングシステム、原本性保証電子保存システム、汎用電子申請システム、次世代ICカードシステムなどの情報化社会における基盤的システムの開発を推進。

[講演概要]

電子政府における業務改革内容の明確化,政府と企業・国民の関係変化,サーバ,ネットワーク,端末環境変化などに伴い,必要となるアーキテクチャ,応用システム,要素技術が変わろうとしている。業務における処理フローの明確化は,ナレッジマネジメントやエキスパートシステムの再登場をうながす。民から官への電子申請における書類添付から参照先添付への方向は,システム的にはクライアント・サーバ構成から,ネットワーク分散環境への移行にほかならない。セキュリティ面の課題を抱えながら官民ポータルを始めとするウェブに基づくシステムやウェブサービスも検討されている。認証とセキュリティの課題をクリアするために,次世代ICカードの普及が進められている。このような,電子政府を実現するためにこれから求められる技術の応用動向を解説すると共に,オープンソースなどのソフトウェア導入に対する考え方などを述べる。

特別トラック(11) 情報技術国際標準化 SC17「個人識別カードの標準化と最新の利用動向」

[全体概要]

電子ネットワーク社会の実現に向けて各国の動きが急展開している。このキーデバイスとして,アクセス用(本人確認)IDカードの開発・整合性及び相互運用性が必要になり,SC17が担当するカードの標準化の重要性が注目され始めた。

社会インフラを構成する官公庁発行予定の住民基本台帳カード,運転免許証,パスポート等に加えて日常生活カードとしての銀行預金カード,交通定期券,電話カード,クレジット・商店街のショッピングカード等あらゆる分野にカードが利用されている。これらのカードは,現在殆どが磁気カードであるが,CPUを搭載した“外部端子付ICカード”や,雨天等環境の悪い屋外で特徴を發揮する“コンタクトレスICカード”の基本規格制定も完了した。

これらのカードの特徴及び各種用途の代表事例を規格開発面から紹介する。

**講演(1) 3月25日(火) 14:50-15:10 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「SC17の標準化組織と各WGの規格開発状況」**



林 義昭 (ニューメディア開発協会)

昭和39年3月:静岡大学卒業。昭和39年4月:大日本印刷(株)入社,中央研究所配属。昭和45年6月:大日本印刷(株)榎町工場技術課(磁気カード開発等)。昭和53年6月:BF事業部システム開発部(磁気カード企画・販促等)。昭和58年3月:上記(S C 17・WG 1委員, WG 4幹事/ICカード企画担当等)。平成04年6月:CB S開発本部企画開発部次長(S C 17・WG 4・WG 8幹事)。平成10年10月:技術本部S C 17標準化への貢献により通商産業大臣表彰。平成14年2月:大日本印刷(株)定年退職。平成14年3月:(財)ニューメディア開発協会(非接触ICカード普及, S C 17幹事等)。

**講演(2) 3月25日(火) 15:10-15:40 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「ICカードの特徴とセキュリティ構造」**



寄本 義一 (凸版印刷)

1970.3.東京理科大学工学部電気工学科卒業。同年4.太陽計測株式会社(横河電機の代理店)入社。開発業務担当。各省庁研究所等の特殊仕様の機器を開発。工場製造自動化システムの開発。1983.10.凸版印刷株式会社入社,中央研究所に配属。インクジェットプリンタ,インタフェースの開発。エレクトロクロミクスディスプレイ,ドライバの開発。ICカード開発。日本クレジット協会,EMV,ICカード仕様作成(主査)。全国銀行協会,ICカード仕様作成(有識者会合委員長)。カード関連の標準化にかかわる記事を業界誌に掲載。現職。凸版印刷株式会社,金融・証券事業本部IC事業推進本部本部長。ICカードシステム利用促進協議会(JICSAP)理事。ISO/IEC,JTC1/SC17委員。同/WG1(物理特性)委員。同/WG4(ICカード)国内主査。同/WG3(パスポート,ピザ)国内幹事。同/WG10(運転免許証)国内幹事。磁気カード,ICカードに関わるJIS規格の作成をリーダーとして担当。平成14年度工業標準化事業功労者表彰経済産業大臣表彰受賞(2002.10.15)。主な功績:ICカード分野で国内初のICカードを開発,関連SC,TCで国内外を主導するなど,我が国の立場を代表して尽力した。

**講演(3) 3月25日(火) 15:40-16:10 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「コンタクトレスICカードの特徴と規格開発動向」**



大谷 佳光 (NTT サイバースペース研究所)

昭和56年東北大学・工学部,金属材料工学科卒,昭和58年同大学院博士課程前期2年の課程修了,同年日本電信電話公社に入社,現在,NTTサイバースペース研究所主幹研究員,グループリーダー。平成10年工学博士(東北大学)。平成12年より,ISO/IEC JTC1/SC17 WG8 国内対策委員会主査。磁気ディスク用薄膜媒体,磁気応用デバイス,非接触ICカードの研究開発に従事。電子情報通信学会,応用物理学会,応用磁気学会会員。

講演(4) 3月25日(火) 16:15-16:45 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「JR東日本におけるICカード(Suica)の導入とIT戦略」



片方 聡 (JR東日本)

昭和60年3月:早稲田大学理工学部機械工学科。昭和60年4月:(株)東芝入社,通信機器の機械設計に従事。平成5年4月:東日本旅客鉄道(株)入社。大宮機械区助役(～H7.3),高崎機械区区長(～H9.5)を経て,ICカードのプロジェクトに発足当時(H9.5)から参画。(現職)鉄道事業本部,Suicaシステム推進プロジェクト,Suicaシステムグループリーダー。社外活動:日本鉄道サイバネティクス協議会。出札システム委員会ICカードWGリーダー。ICカード乗車券規格の制定等を実施

講演(5) 3月25日(火) 16:45-17:15 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「運転免許証の標準化状況とわが国の対応」



牧野 忠由(松下通信工業)

昭和19年生。昭和42年学習院大学理学部物理学科卒業。昭和44年松下電器産業株式会社へ入社。日本音響学会,日本応用物理学会会員。(社)新交通管理システム協会が事務局を担当しているISO TC204/WG4(車両/積載貨物の自動認識)国内分科会主査,ISO/IEC JTC1 SC17/WG10(運転免許証などの国際標準化)国内分科会主査としてICカード,RFタグなどの分野の応用システム国際標準化への対応を行っている。

特別トラック(11) 情報技術国際標準化 SC37 バイオメトリクス技術の国際標準化と日本の対応

[全体概要]

ネットワーク社会における安全性そして利便性の向上に向けて期待されるバイオメトリクス認証、その技術に関する国際標準化への取り組みの幕が切られて落とされた。我が国で培ってきた技術を展開し、さらに世界に向けて発信するために産学官はどのような取り組みをしてきたかに関し、国内外の標準化活動を招待講演により明確にし、各界の代表者により、研究、開発、導入体制のあるべき姿とともに学会がなすべき役割をパネルディスカッションする。

講演(1) 3月26日(水) 9:30-9:50 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「国際標準化活動SC37の概要」



瀬戸 洋一(日立)

1979年:慶応義塾大学工学研究科修了(電気工学),同年(株)日立製作所入社 システム開発研究所配属,以来,衛星画像処理,医療画像処理,地理情報処理,ITS,情報セキュリティの研究開発に従事。セキュリティビジネスセンタセンタ長を経て,現在,同研究所情報セキュリティ担当主管研究員。情報処理学会,IEEE各会員,ISO SC37委員長,ISO SC17 WG11主査。INSTAC JIS化主査,工学博士(慶大),技術士(情報工学)。

講演(2) 3月26日(水) 9:50-10:10 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「バイオメトリクスアプリケーションプログラムインタフェースの標準化状況」



中村 敏男(沖)

1985年芝浦工業大学電子工学科卒業。同年,沖電気工業入社。1998年よりアイリス認識システムの開発に従事。ISO/IEC JTC1 SC17,SC37会員。

講演(3) 3月26日(水) 10:10-10:30 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「精度評価のJIS化活動」



三村 昌弘(日立)

昭和43年生。平成9年東京工業大学大学院 物理情報工学専攻博士課程修了。同年(株)日立製作所に入社。システム開発研究所に所属。以来,指紋画像処理・認識,本人認証システムの研究開発に従事。現在に至る。研究員(工学博士)。情報処理学会会員。電子情報通信学会会員。(財)日本規格協会 INSTAC バイオメトリクス標準化調査研究委員会委員。日本バイオメトリクス認証協議会技術部会脆弱性検討WGリーダー。

講演(4) 3月26日(水) 10:30-10:50 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「運用要求仕様策定のJIS化活動」



新崎 卓(富士通)

1988年(株)富士通研究所入社,現在ペリフェラルシステム研究所に所属。バイオメトリクスによる個人認証装置,アルゴリズム,システムの研究開発を担当。INSTAC 生体認証技術標準化委員会の委員及びワーキンググループ4の主査。

パネル討論 3月26日(水) 10:55-12:00 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「国際標準化に向けていかに取り組むべきか」

[討論概要]

国際標準化に向けていかに取り組むべきかネットワーク社会における安全性そして利便性の向上に向けて期待されるバイオメトリクス認証技術に関し、ISO/IEC JTC1 SC37を中心とした国際標準化への取り組みの幕が切って落とされた。わが国が培ってきた技術を世界に発信するためには産学官はどのような取り組みを今後すればよいのか、本パネル討論では、SC37などにおける国際標準の動きを念頭におき、各界を代表するパネリストとともに、バイオメトリクス技術の研究、開発、標準化のあり方と学会がなすべき役割を議論する。



司会：小松 尚久(早大)

1979年理工学部電子通信学科卒。1981年大学院理工学研究科修士課程了。同年NTTに入社。1987年理工学部助手。1989年同専任講師。1996年同教授。工博。現在、セキュリティと品質を考慮したヒューマン・ネットワークインタフェースに関する研究に従事。特にバイオメトリクス技術とその適用に興味を持ち、日本規格協会バイオメトリクス標準化調査研究委員会、日本バイオメトリクス協議会に携わる。ISO/IEC JTC1 SC37では、SG5国内主査を務める。



パネリスト：辻 義信(経済産業省)

昭和51年3月：横浜国立大学工学部電気工学科卒業。昭和53年3月：横浜国立大学大学院工学研究科電気工学専攻修了。昭和53年4月：通商産業省入省(工業技術院総務課)。昭和61年6月：日本貿易振興会(JETRO)出向。西ドイツ駐在(～平成元年6月)。平成元年6月：資源エネルギー庁公益事業部計画課長補佐。平成2年6月：資源エネルギー庁長官大臣官房総務課技術専門職。平成4年6月：和歌山県庁出向。(工業技術センター所長兼商工労働部参事)。平成6年5月：通商産業省機械情報産業局総務課新映像産業室長。平成7年4月：奈良先端大学院大学客員教授(～平成9年3月)。平成8年6月：国際協力事業団(JICA)出向。(鉱工業開発調査部計画課長)。平成10年7月：通商産業省関東通商産業局産業振興部長。平成13年1月：経済産業省産業技術環境局標準課長。現在に至る。



パネリスト：村山 憲治(新東京国際空港公団)

昭和55年3月：早稲田大学法学部卒業(修士号)専門：海上保険法。慶応大学商学部国際経営学ゼミ交換学生終了。昭和55年4月：新東京国際空港公団入社総務部主事。昭和55年9月：空港計画室主事。昭和57年6月：企画室広報室主事。昭和58年6月：企画室経営管理室主事。昭和60年6月：経理部管財課第二係長。昭和63年6月：旅客ターミナルビル部業務二課第2係長。平成2年4月：全日本空輸出向。成田空港支店旅客部旅客課スーパーバイザー。シドニー支店旅客担当スタントマネージャー。ワシントン支店旅客担当マネージャー。平成4年6月：運用本部管理部総務課課長代理。平成7年6月：企画室国際担当室長代理。平成9年9月：企画室国際業務室副室長。平成14年11月：情報業務部調査役(現在)。



パネリスト：尼子 大介(三菱商事)

1970年2月 広島生まれ。1992年3月 東京大学理学部生物学科卒業。1994年3月 東京大学理学系大学院修士課程終了。同年4月 三菱商事株式会社に入社。主にバイオテクノロジー、IT関連の新規事業立上とベンチャー投資活動に従事。2000年よりバイオメトリクス関連事業を担当。2001年より現職。



パネリスト：鷲見 和彦(三菱)

1984年京都大学大学院工学研究科修士過程電気工学専攻修了。同年三菱電機(株)入社。生産技術研究所、産業システム研究所を経て、現在先端技術総合研究所にて画像パターン認識、特に、監視カメラによる画像解析(交通、セキュリティ)および、指紋・顔による個人認証の研究開発に従事。工博。2003年より京都大学COE 研究員。

パネリスト：瀬戸 洋一(日立)

(略歴は「特別トラック(11) 情報技術国際標準化 SC37・講演(1)『国際標準化活動 SC37の概要』」を参照)

特別トラック(11) 情報技術国際標準化 SC31 データキャリア標準化の最新動向とアプリケーション事例

[全体概要]

インターネットを始めとする、情報、通信技術の飛躍的進歩により、社会生活そのものが大きく変容しようとしている。しかし、いかにネットワークの発達により、世界中の情報を瞬時に手に入れられる時代になるうとも、瞬時に品物を手に入れられることはない。そこには必ず生産・物流という物理的な商活動が存在するのであり、距離及び時間的な制約を受ける。さらに情報化技術が進化し、ビジネススピードが早くなればなるほど、これに対応した生産・物流のスピードが重要になってくる。こうした時代にあって、最も注目すべきものの1つは自動認識技術である。生産・物流において、人の作業や判断を究極的に排除した場合、その品物が持つ情報を自動的に読取り、オンラインでやり取りされている情報と一元化しなければならない。新たなECの時代になって、その必要性はますます大きくなってきている。この自動認識技術を物物一致の手段という視点で、最新の国際動向と応用事例について講演する。

講演(1) 3月26日(水) 15:00-15:20 [T11 会場(講義棟 D 3F 301)]
「自動認識技術の国際動向」



柴田 彰(デンソーウェーブ)

1947年生。1971年日本電装(株)(現在のデンソー)に入社。以後、自動車用アンチスキッド、オートドライブ、エアコンなどの制御機器の設計に従事。1982年頃よりバーコードリーダの設計に従事し、2001年(株)デンソーウェーブ設立と同時に出向。ISO/IEC JTC1 SC31 国内委員会委員長。ISO TC122 WG4, WG7 委員。(社)日本自動認識システム協会技術委員会委員長。(社)電子情報技術産業協会AIDC委員会委員長。

講演(2) 3月26日(水) 15:25-16:05 [T11 会場(講義棟D 3F 301)]
「バーコード、2Dコードの国際動向と応用事例」



小橋 一夫(松下電器)

昭和25年生。昭和48年北海道大学工学部精密工学科卒業。昭和50年同大学大学院修士課程精密工学専攻修了。松下電器産業(株)入社。松下技研、松下通信工業を経て、現在、松下電器産業(株)パナソニックシステムソリューションズ社・社会システムビジネスユニットに勤務。JEITA・AIDC技術標準化委員会・WG2委員長/WG4委員として、AIDC技術の標準化、AIDC技術活用時のデータ記述方式の標準化等の検討に参加。情報処理学会会員。

講演(3) 3月26日(水) 16:15-16:45 [T11 会場(講義棟D 3F 301)]
「RFIDの国際動向」



渡辺 淳(デンソーウェーブ)

昭和32年生。昭和54年名古屋大学理学部化学科卒業。昭和56年同大学院博士前期課程終了。理学修士。同年日本電装株式会社(現、株式会社デンソー)入社。平成13年事業部分社化に伴い、株式会社デンソーウェーブに出向。平成8年よりISO/IEC JTC1/SC31/WG4(自動認識及びデータ取得技術/RFID)国内対応委員会主査として、「物の管理用RFID」の国際標準化活動に従事。

講演(4) 3月26日(水) 16:50-17:30 [T11 会場(講義棟D 3F 301)]
「RFIDの応用事例」



大塚 裕(オムロン)

1984年:名古屋工業大学卒業後、立石電機(株)(現在のオムロン(株))に入社、中央研究所にて光電センサ、視覚認識装置等の研究開発に従事。1987年:RFIDシステム事業の発足に伴い、RFIDシステム開発部に転属し、RFIDシステムの開発に従事。1989年:RFIDシステム商品企画部に転属し、事業企画、商品企画、マーケティングに従事。2001年:ITソリューション事業部発足と同時に転属し、PMM(Product Marketing Manager)としてマーケティング、企画、販促、SE等、RFIDに関する様々な業務を遂行。RFIDに関する世界標準化・業界標準化委員会に参画し、日本代表として活動中。ISO/IEC JTC1 SC31, WG4(RFID)委員、ARP日本委員長、AIDC AMP長、日本規格協会委員、半導体関連 SEMI J300 / I3001 委員。自動認識協会主催「自動認識総合展」における記念講演('00,'01),(社)電子情報技術産業協会(JEITA)、自動認識・データ収集技術標準化委員会主催のADCセミナーにおける記念講演('02.7.5)を始め、各種協会での講演を実施。日本工業出版発行「月刊バーコード」編集委。

特別トラック(11) 情報技術国際標準化 SC34 ISO/IEC における文書記述・処理言語の標準化動向

[全体概要]

ISO/IEC JTC1 SC34は、XMLに代表されるマークアップ言語に関連する。現在の活動の中心は、XMLのためのスキーマ言語DSDLとTopic Mapの二つである。どちらも、業界標準化団体OASISと関係を取りながら標準化が進んでいる。スキーマ言語DSDLは、XML文書の構造・内容についての制約条件を表現する。DSDLの一部であるRELAX NGは、日本から提案されたスキーマ言語RELAXの影響を受けてOASISで最初に制定されている。Topic Mapは、情報や知識を組織化し管理するための標準(ISO/IEC 13250)であり、現在はXMLに関連する仕様として整備が進められている。

講演(1) 3月27日(木) 9:30-10:40 [T11 会場(講義棟D 3F 301)]
「ISO/IECのXMLスキーマ言語DSDLの現状 - 日本発のスキーマ言語RELAXのその後 - 」



村田 真(国際大)

京大文学部卒業。昭和60年より富士ゼロックス(株)において構造化文書の研究に従事。平成9年よりXML 1.0を制定したW3C XML WGのメンバー。平成12年にXMLのためのスキーマ言語RELAX(JIS TRのちにISO/IEC TR)を制定した国内委員会主査。現在、OASISとISO/IECにおいて、スキーマ言語RELAX NGおよびDSDLの制定に従事。日本IBM(株)東京基礎研特別研究員・国際大学研究所併任研究員。

講演(2) 3月27日(木) 10:50-12:00 [T11 会場(講義棟D 3F 301)]
「Topic Mapの現状」



内藤 求(シナジー・インキュベート)

愛知工業大学電子工学科卒業。1995年に(株)シナジー・インキュベートの設立に発起人の一人として参画。現在、KT事業推進 取締役。各種SGML, XML, Topic Mapsプロジェクトに従事し、デジタルドキュメントの共有/流通を推進。ISO/IEC SC34のメンバ、日本規格協会の各種標準化委員として標準化活動に参加。シナジー・インキュベートは、Topic MapsについてOntopia社と提携。OASIS, IDEAllianceの会員。



西川 マリ(シュルンベルジュ)

高校の化学教師、製薬産業の研究生化学者及びテクニカルエディタを経て、現在は、シュルンベルジュ株式会社ジャパンのEDMSのテクニカルアドバイザー。モジュール化構造化文書の利用、システム及びDTDの増強、アルファ及びベータテスト、EDMSに対する社内の要求、仕様のレビュー、及び、文書管理の新しい技術の導入などに従事。エッセティックリアリズム(<http://www.aestheticrealism.org/>)の哲学の研究が、情報システム構築の際のモデルの選択に役立っている。OASISのTopic Maps Public Subjects, XML Vocabularies, 及び、GeoLang Technical committees(技術委員会)のメンバ。また、ISO/IEC JTC1/SC34 WG3の日本代表であり、トピックマップのStandard Application Modelのような、現在策定中の標準のレビュー及び評論を実施中。草月流(華道)のお師匠さんであり、レゴの組立てと、ボードゲームの相手で忙しかせられている男の子1人と女の子1人の母でもある。

シンポジウム 情報および情報関連分野のアクレディテーション活動報告 - IS領域の試行審査を中心として -

[全体概要]

大学における技術者教育プログラムの認定（アクレディテーション）の本格実施が平成14年度から日本技術者教育認定機構（JABEE）により始まった。情報および情報関連分野でも、情報処理学会が電子情報通信学会とともに審査を担当した。情報分野の主な領域はCS, CE, SE, ISである。IS領域の教育プログラムを実施している大学はまだわずかである。アクレディテーション委員会では、本年度本格審査を行うと同時に、IS領域の教育プログラムについて、岩手県大学と新潟国際情報大学の試行審査を実施した。本シンポジウムでは、IS領域標準カリキュラムの紹介、試行審査に於ける審査側と受審側の実施報告、採用側からの見解を中心に、アクレディテーション活動について報告し、これらを受けて総合討論を行う。



司会：牛島 和夫（九州産業大 & ISIT）

1937年生まれ。1961年東大工学部卒。1977年九大工学部教授。1996年九大大学院システム情報科学研究科長。2001年（財）九州システム情報技術研究所（ISIT）所長。2002年九州産業大学情報科学部長。2001年4月から本学会アクレディテーション委員会委員長。本学会フェロー。理事、九州支部長、監事を歴任。

講演（1）3月27日（木）14:35-14:50 [メイン会場（研究所棟 B1F B01）]
「情報および情報関連分野の分野別要件と領域例示（J97, CC2001）」



寛 捷彦（早大）

1970年東京大学工学系大学院計数工学専攻修士課程修了，同年東京大学工学部助手，1974年立教大学理学部講師・助教授，【1986年より現職】。日本ソフトウェア科学会，日本数学会，日本応用数理学会，ACM各会員。本会フェロー。ACM日本支部副会長（ICPC Board 議長），日本学術会議情報学研究連絡委員会幹事，本会情報規格調査会SC22専門委員会委員長，本会アクレディテーション委員会委員，JABEE基準・試行委員会委員。プログラミングの言語，方法，環境に興味を持つ。

講演（2）3月27日（木）14:50-15:05 [メイン会場（研究所棟 B1F B01）]
「情報システム標準カリキュラム」



神沼 靖子（前橋工科大）

1961年，東京理科大学理学部卒業。日本鋼管，横浜国立大学，埼玉大学を経て，帝京技術科学大学情報学部助教授から教授。さらに，1997年より前橋工科大学教授。学術博士。現在の研究対象は情報システムの分析・設計方法論，情報システム専門家教育とその評価。情報処理学会「情報システムと社会環境」研究会主査，アクレディテーション委員会情報システム分科会委員長。情報処理学会，電子情報通信学会，AIS，ほか所属。

講演（3）3月27日（木）15:05-15:17 [メイン会場（研究所棟 B1F B01）]
「岩手県大学のJABEE 審査試行報告（審査長）」

神沼 靖子（前橋工科大）
（略歴は上記参照）

講演（4）3月27日（木）15:17-15:29 [メイン会場（研究所棟 B1F B01）]
「同 受けた側の立場から」



渡邊 慶和（岩手県大）

1987.3：東京工業大学大学院総合理工学研究科（博士後期課程）システム科学専攻単位取得満期退学。1989.3：学位取得・学術博士（東工大）。1987.4：（現）産能大学経営情報学部の講師・助教授を経て，1998.4から現職（2002.4から学科長）。組織論，情報システム学，システム理論を専門分野とし，組織情報ネットワーク論，組織知能，情報システム評価，および情報システムの定性的評価等を研究課題とする。

講演（5）3月27日（木）15:29-15:41 [メイン会場（研究所棟 B1F B01）]
「新潟国際情報大学のJABEE 審査試行報告（審査長）」



都倉 信樹（鳥取環境大）

1968：大阪大学工学部電子工学科卒業。1977：大阪大学教授。2001：鳥取環境大学教授・副学長。情報処理学会フェロー。現在，情報処理学会理事，アクレディテーション委員会副委員長。

講演（6）3月27日（木）15:41-15:53 [メイン会場（研究所棟 B1F B01）]
「同 受けた側の立場から」



竹並 輝之（新潟国際情報大）

新潟国際情報大学情報化学部情報システム学科教授・学科長。1965年：慶應義塾大学大学院工学研究科管理工学専攻修士課程修了。1965年：東京芝浦電気（株）電子計算機事業部入社、勤務を経て1994年：現職。専門分野：情報システム開発。

講演(7) 3月27日(木) 15:53-16:05 [メイン会場(研究所棟 B1F B01)]
「採用側の立場から」



繁野 高仁 (KDDI)

1977年北海道大学工学部電気工学科を卒業し日本NCR入社。SEとして百貨店用全店POSシステムの開発・導入に従事。85年DDI(現KDDI)入社。DDIおよびDDIポケットにおいてシステム部門を立ち上げ、各種情報システムの開発・運用を指揮。2000年の3社合併に伴い、KDDI情報システム本部ネットワークシステム開発部長として、情報システムの構造改革を推進中。情報処理学会、経営情報学会各会員。

講演(8) 3月27日(木) 16:05-16:20 [メイン会場(研究所棟 B1F B01)]
「2002 ABET 年次大会参加報告」



掛下 哲朗 (佐賀大)

昭和37年生。昭和59年九州大学工学部情報工学科卒業。平成元年同大学院博士後期課程修了。工学博士。同年佐賀大学工学部講師を経て、平成3年より同助教授。情報処理学会九州支部庶務幹事。情報処理学会ア krediyation委員会委員。佐賀大学知能情報システム学科 JABEE WG 座長として、JABEE 基準に対応した学科の教育システムを構築中。ACM、電子情報通信学会等会員。

第65回全国大会委員名簿

第65回全国大会組織委員会

委員長 林 弘 副委員長 加藤 聡彦
委員 天野 真家, 萩野 隆彦, 辻井 潤一, 中島 秀之, 東野 輝夫, 真名垣昌夫, 米田 茂, 横井 俊夫

第65回全国大会プログラム委員会

委員長 横井 俊夫 副委員長 塚本 享治
委員 加藤 聡彦, 村上 篤道, 天野 真家, 小柴 健史, 深谷 哲司, 塩見 彰睦, 鈴木 雅実, 青沼 充,
前川 仁孝, 江崎 浩, 青山 幹雄, 木原 民雄, 辰己 丈夫, 白石 洋一, 松永 俊雄

第65回全国大会現地実行委員会

委員長 松永 俊雄
委員 上原 貴夫, 宮村 勲, 越田 一郎, 亀田 弘之, 千種 康民, 大野 澄雄, 埴 敏博, 横井 俊夫,
塚本 享治, 山口 治男, 宮岡伸一郎, 小林 克正, 寺澤 卓也, 渡辺 大地, 藤澤 公也, 飯田 仁,
小田 一博, 天野 直紀

第65回全国大会プログラム編成WG

委員長 横井 俊夫
委員 森 眞一郎, 塩見 彰睦, 木下 俊之, 藤井 誠司, 片桐 孝洋, 垣木 信彦, 宇野 毅明, 中條 拓伯,
杉野 栄二, 村上 昌己, 矢入 健久, 金子 知適, 内元 清貴, 石井 純, 佐藤 俊雄, 小坂 直敏,
佐藤 聡, 原田 隆史, 鈴木 雅実, 小林 栄一, 串田 高幸, 木原 民雄, 藤崎 智宏, 一井 信吾,
秦泉寺久美, 屋代 智之, 楯岡 孝道, 加藤 浩, 市村 哲, 山内 康晋, 松永 賢次, 増原 英彦,
大澤 範高

第65回全国大会特別トラックWG, シンポジウム

T1. 特別トラック(1): ユビキタスコンピューティング - 都市と、家庭と、自動車内と -

森川 博之, 高汐 一紀, 伊藤日出男, 車谷 浩一, 久保田 稔, 天野 真家

T2. 特別トラック(2): IPv6を基盤としたインターネットの新展開

砂原 秀樹, 寺岡 文男, 篠田 陽一, 中山 雅哉, 中村 修, 江崎 浩

T3. 特別トラック(3): セマンティック Web と Web サービス

齋藤 信男, 萩野 達也, 橋田 浩一, 塚本 享治, 津田 宏, 武田 英明, 細見 格

T4. 特別トラック(4): ウェアラブルコンピューティング

塚本 昌彦, 寺田 努, 早川 敬介, 堀 雅和, 大野 健彦, 河野 恭之, 稲見 昌彦, 板生 知子,
河村 智洋

T5. 特別トラック(5): マイニングとサーチング - 情報洪水時代における情報発掘と情報検索 -

森本 康彦, 有次 正義, 深谷 哲司, 日本ソフトウェア科学会データマイニング研究会協賛

T6. 特別トラック(6): 言語バリアフリー技術

飯田 仁, 乾 健太郎, 奥村 学, 菊井玄一郎, 鈴木 雅実

T7. 特別トラック(7): バーチャル・ヒューマン

徳永 健伸, 土肥 浩, 角 康之, 齋藤 豪, 角所 考, 乃万 司, 大野 澄雄, 飯田 仁

T8. 特別トラック(8): デジタルコンテンツ制作とIT

三上 浩司, 金子 満, 岡本 直樹

T9. 特別トラック(9): 消費者のためのセキュリティ - 技術開発と普及活動 -

辰己 丈夫, 高木 浩光, 村山 優子, 山根 信二

T10. 特別トラック(10): e-Japanの進展 “企業活動や社会生活に変革をもたらす電子政府・電子自治体”

国分 明男, 前川 徹, 小野 雅敏, 勝山 光太郎, 塚本 享治

T11. 特別トラック(11): 情報技術国際標準化

情報企画調査会 林 義昭 (SC17), 柴田 彰 (SC31), 村田 真 (SC34), 瀬戸 洋一 (SC37)

シンポジウム: 情報および情報関連分野のアクセシビリティ活動報告 - IS領域の試行審査を中心として -

牛島 和夫

今大会では、東京工科大学様に会場を無償でご提供頂き誠にありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。